



令和6年度



鹿児島市学校支援ボランティア事業

事業報告書



音楽「日本の楽器に親しもう」
(城南小学校)



社会「郡山の農業（水耕栽培）」
(南方小学校)



家庭「地域の方々に学ぼう」
(武岡中学校)



朝の読み聞かせ
(谷山中学校)

鹿児島市教育委員会

はじめに



現代は、少子高齢化や人口減少、グローバル化の進展、子どもの貧困、地域のつながりの希薄化といった社会課題に加えて、新型コロナウイルスの感染拡大の影響やロシアのウクライナ侵攻などによる国際情勢の不安定化など、将来の予測が困難な時代となり、変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の頭文字をとって「VUCA」の時代ともいわれています。そのような中、学校が抱える課題も複雑化・多様化しており、令和5年度からの第4期教育振興基本計画においては、「持続可能な社会の創り手の育成」及び「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」をコンセプトに掲げ、子供たち一人一人が幸福や生きがいを感じられる学びを保護者や地域とともにつくっていくことが求められています。

本市では平成20年度から「学校支援ボランティア事業」として地域コーディネーターを配置し、学校支援地域本部を構築して本事業の推進に努めてまいりました。さらに今年度からその体制を基盤として、コーディネート機能の強化、より多くの地域住民等の参画による多様な活動の実施、活動の継続的・安定的実施を目指した「地域学校協働本部」及び「地域学校協働活動」へ発展させていくための取組を始めました。

現在市内36本部で実施され、今年度は12月末現在で、小・中学校併せて、登録者数9,682人、延べ活動数12,287回、延べ活動者数42,162人と、多くの方々の協力が得られています。

本事業は、子供たちと地域の方々との多様な体験活動を通して、地域への愛着の形成や地域住民とのコミュニケーションを図る場となっており、地域の教育力の向上につながっています。また、ボランティアの方々にとりましては、これまでの学びの成果を生かす機会にもなっており、生きがいづくりや生涯学習の場として大きな役割を果たしているところでもあります。

教育委員会としましては、保護者や地域住民等が学校運営に当事者として参画する「学校運営協議会制度」と地域住民等の参画により地域と学校が連携・協働する「地域学校協働活動」を一体的に推進することで、未来を担う子供たちの成長を支えていく体制の確立に努めてまいりたいと思います。

結びに、これまでご協力いただきました皆様にご感謝申し上げますとともに特色ある実践例を取りまとめたこの報告書が、これからの実践や取組の更なる充実に生かされることを祈念いたします。

令和7年3月

鹿児島市教育委員会
教育長 原之園 哲哉

< 目 次 >

	頁
はじめに	
1 学校支援ボランティア事業の概要	1
2 学校支援ボランティアの登録状況等	2
3 広報等	4
4 成果と課題	5
5 各本部の支援活動例一覧表	6
小学校活動事例	7
中学校活動事例	85
○ 各地域学校協働本部連絡先	

1 学校支援ボランティア事業の概要

(1) 目的

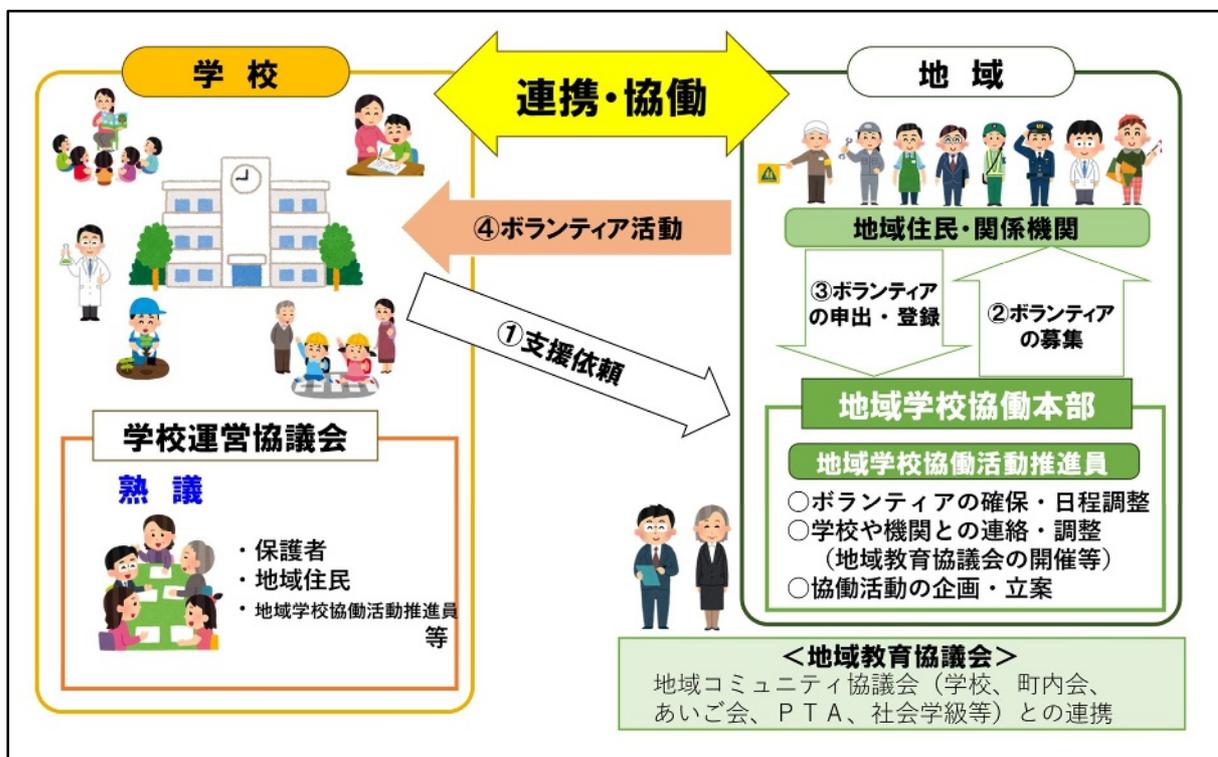
本事業は、地域で学校を支援する体制づくりを整備し、学校からの要望をもとに、地域学校協働活動推進員が登録者の中から対応可能なボランティアを調整の上派遣し、学校の教育活動等を支援するものである。これにより、学校ではより細やかな指導ができるようになるとともに、学びの成果を生かすことで市民の生きがいがづくりや地域の教育力の向上にもつながり、地域全体で子供たちの成長を支えることを目的としている。

(2) 経過

平成20年度に、県から鹿児島市学校支援実行委員会が委託を受けて実施していた事業を、よりスムーズで継続した運営を行うために、21年度より本市の事業として実施した。

県委託事業は22年度を以って廃止となったが、23年度から国の補助制度を活用して継続実施し、26年度には市内全小学校での事業となった。平成29年度からは、中学校への拡充を図っている。令和6年度からは、「地域学校協働活動」への発展を目指し、名称を改めた。

(3) ボランティア活動実施までの流れ



(4) 地域学校協働活動推進員の役割

- ① 学校からの要望の聞き取り
- ② ボランティアの募集、ちらし・ポスター等の作成、広報活動
- ③ 学校運営協議会委員としての役割
- ④ 地域コミュニティ協議会との連携（地域教育協議会の開催）
- ⑤ 学校とボランティアとの連絡調整
- ⑥ 事前打合せの日程調整
- ⑦ 活動終了後の反省
- ⑧ 地域学校協働活動推進員連絡会及び研修会への参加（自己研鑽）
- ⑨ その他（自己研修、情報収集 等）

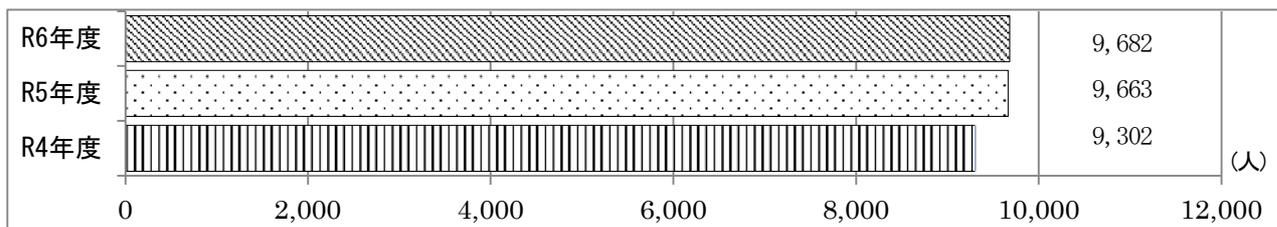


2 学校支援ボランティアの登録状況等（12月末現在）

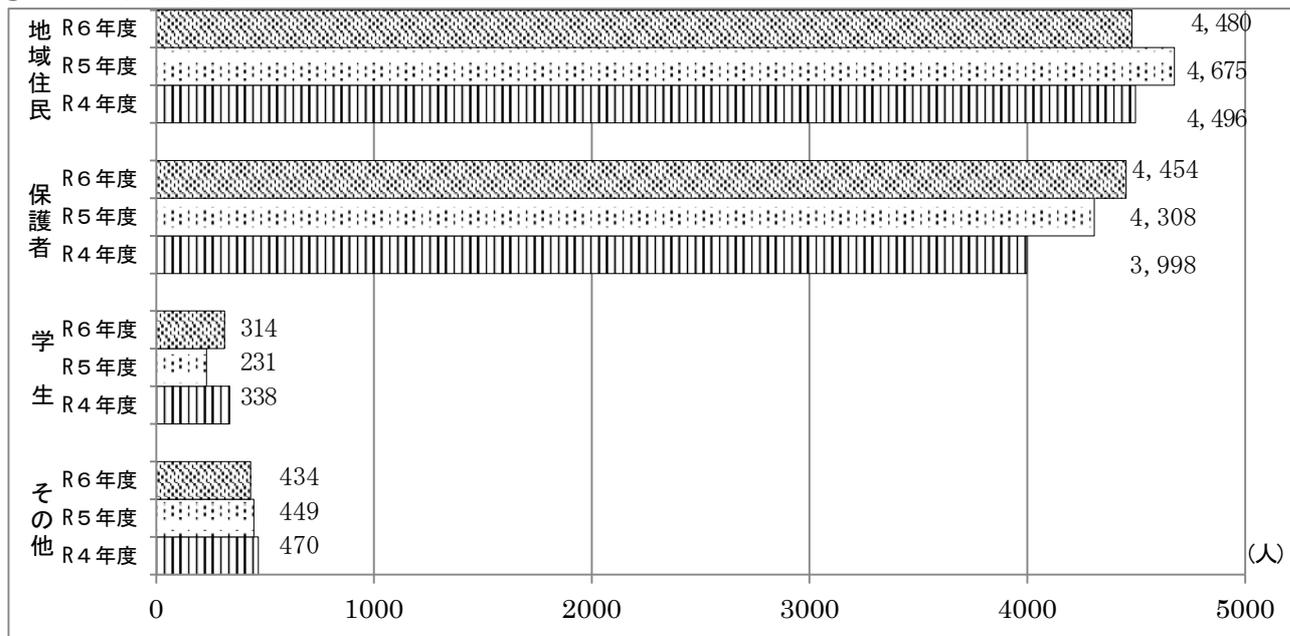


(1) 登録者数

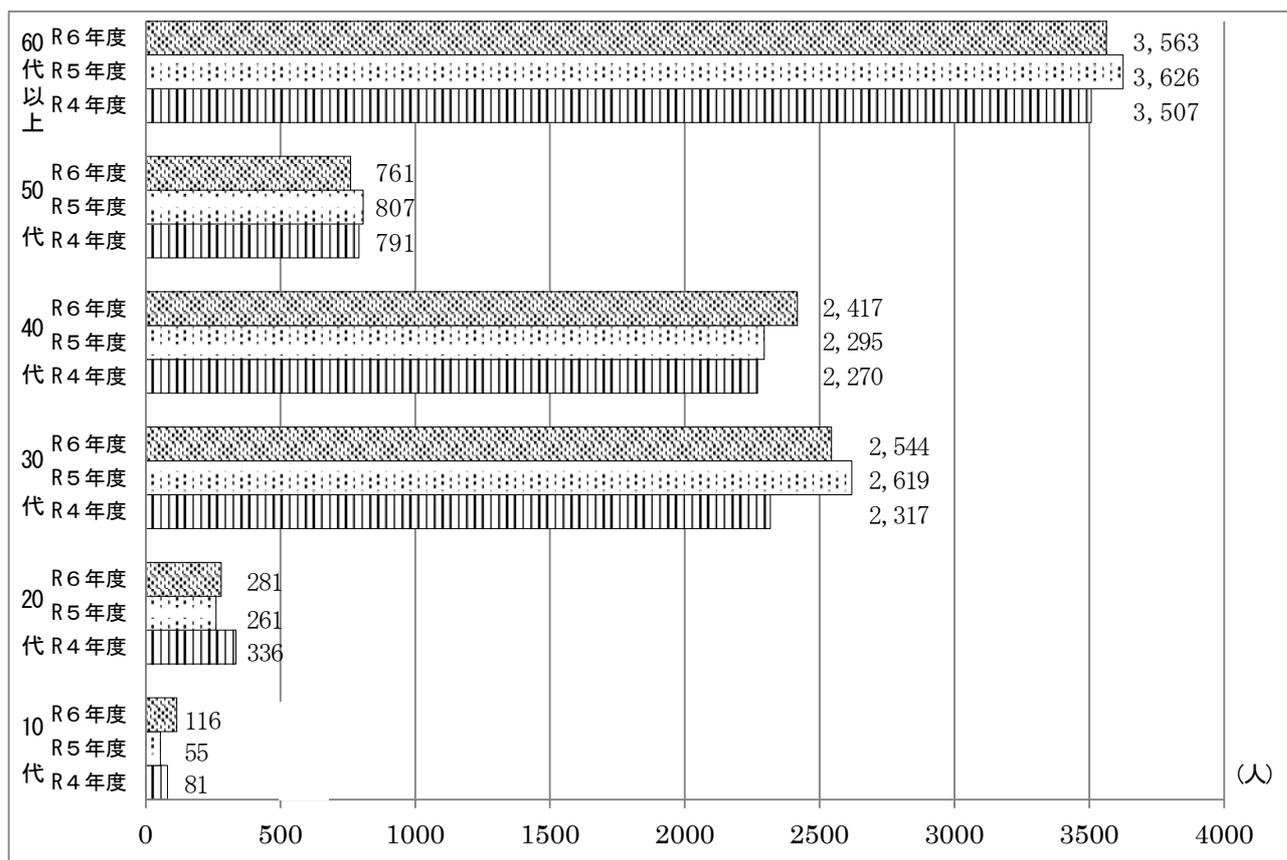
① 総登録者数

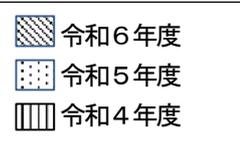


② 区別登録者

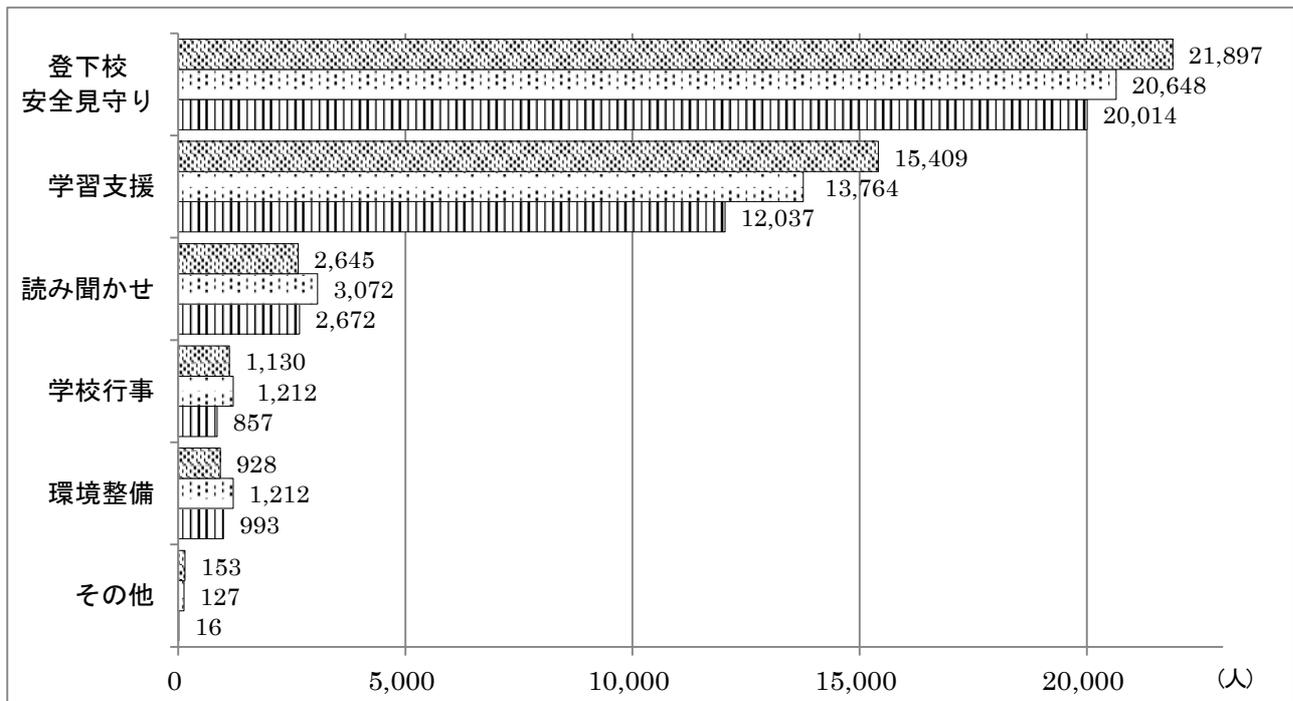
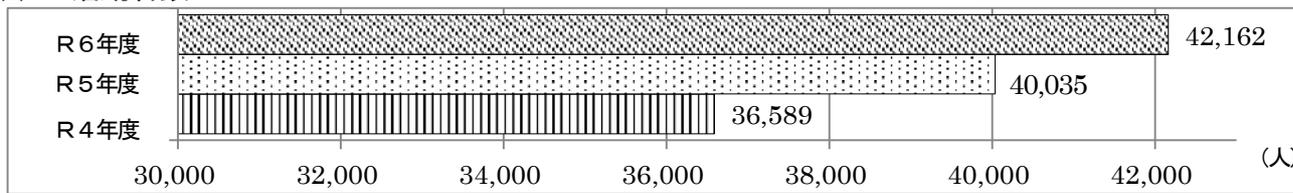


③ 年代別登録者

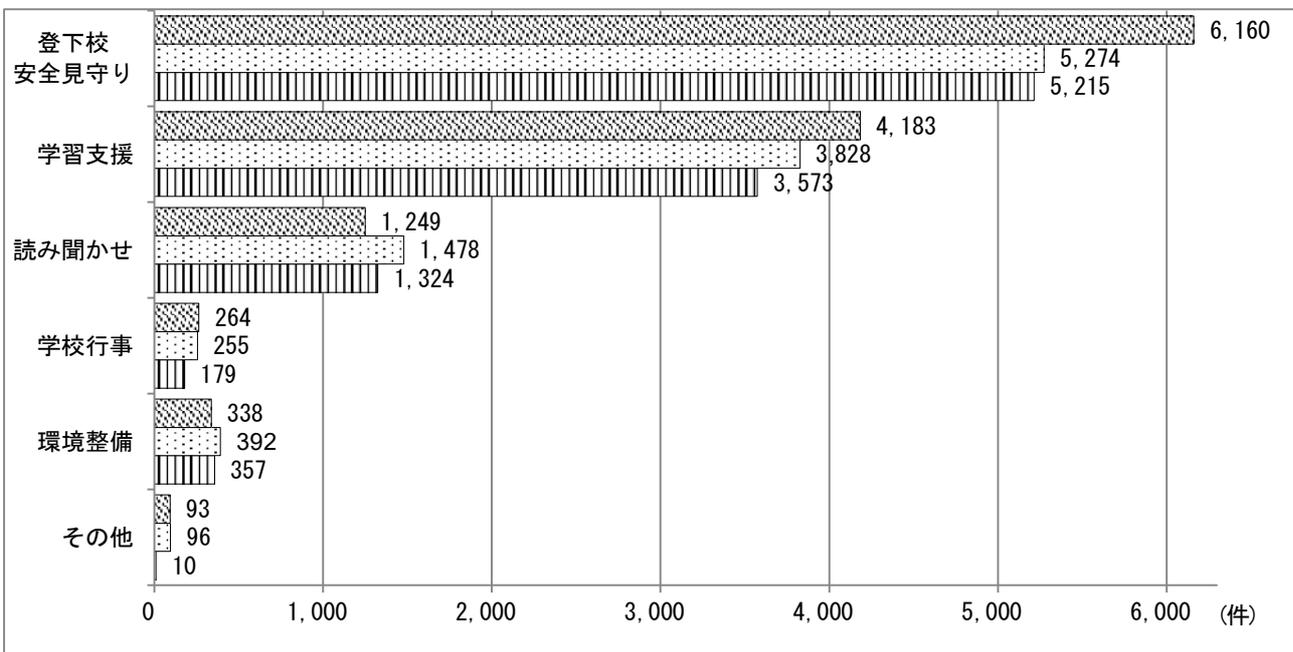
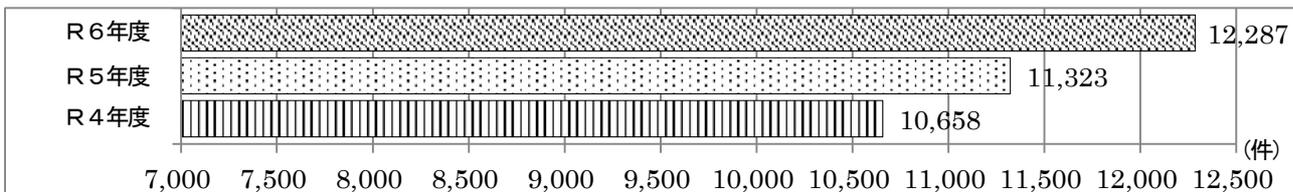




(2) 活動者数



(3) 事業数



3 広報等

(1) ホームページ及びSNS等での広報

市のホームページに事業の目的、ボランティア登録の方法と登録用紙を掲載し、市民への周知とボランティアの募集を行っている。

また、二次元コードの作成とSNSの活用も行い、大学生等若い世代への周知も工夫している。

学校支援ボランティア活動

～未来を担う子どもたちを地域で育てる～

**ボランティア
大募集!!**

**あなたの力を
学校で
生かしてみませんか!**



学校支援ボランティアとは

鹿児島市教育委員会では、平成20年度から地域の方がボランティアとなり、学習支援や読み聞かせ、登下校の安全指導などを行う「学校支援ボランティア活動」を推進しています。学校支援ボランティアは、地域の方々の知識や技能、経験、趣味を子どもたちの教育のために生かして支援活動を行います。子どもたちを温かく見守ってくださる気持ちが一番であり、特別な資格は必要ありません。

現在、ボランティアの募集を行っています。興味や関心がある方は、是非ご連絡してください。

◆こんな支援を行っています◆

<学習>

- 石筆・鉛筆指導の補助
- 社会科見学の見学補助
- 計算帳簿の印刷指導補助
- 実験の準備・指導補助
- 遊遊び道具の制作補助
- 英会話の指導補助
- 音楽器の指導補助
- ミシン操作の指導補助
- 短編、形造等の指導補助
- 水泳指導の補助
- 地域の発展に尽力した施設
- 米作り等の指導補助
- 年け花、茶道等の指導補助

<郵便物>

- 技術的・指導の補助
- 環境整備
- 樹木のせん定
- 花の作り
- 施設・設備の簡易な修理
- 安全確保
- 登下校時の安全確保
- 下校時の校区内巡回

<学校行事等>

- 運動会観望の指導の補助
- 遠足等の引率の補助
- 水の読み聞かせ
- 図書館の整理

◆ボランティアの感想◆

- 子どもたちと楽しく活動して元気をもらった。
- 子どもたちと一緒に、近くの公園で昆虫を捕まえたり観察したりして、小さい頃を思い出して懐かしく感じた。
- 子どもたちの真剣な眼差しに感動を覚え強くなった。
- 自分たちが貢献した授業が、最大の行事である卒業式に前られ、この上ない喜びでした。

<問合せ先> ■各地域学校協働本部(裏面参照)
■鹿児島市教育委員会生涯学習課 TEL 813-0851

「学校支援ボランティア」登録申込書

学校支援ボランティアを希望される方は、必要事項をご記入の上、鹿児島市教育委員会生涯学習課又は各地域学校協働本部(ちらし裏面)へご連絡ください。

後日、担当の地域学校協働活動推進員より連絡をいたします。

氏名(ふりがな)	年代	住所	小学校区
()		〒	
	歳代	鹿児島市	
ボランティア可能な内容 (例) 毛筆、水泳、登下校指導 等(複数記入可)			
連絡先	携帯電話		
	メール		
	FAX		

※ 学校支援ボランティアとして活動される方は、市民奉仕活動賠償傷害保険(鹿児島市負担)に加入します。
※ ご記入いただきました個人情報につきましては、学校支援ボランティア事業に関する事にのみ使用いたします。
※ 不明な点は、教育委員会生涯学習課又は各地域学校協働本部へお問い合わせください。

【連絡先】
鹿児島市教育委員会生涯学習課生涯学習係
電話：099-813-0851
FAX：099-813-0937
Mail：sgaku-syoga@city.kagoshima.lg.jp



←市HPはこちらから

(2) ちらし・たよりの作成

各本部では、地域学校協働活動推進員が「ボランティアだより」を発行し、活動の広報に努めた。また、「学校だより」で活動の様子を紹介していただいた学校もあり、地域学校協働活動推進員との連携も図られている。

(3) 「サンエールフェスタ2025」での活動内容展示

「サンエールフェスタ2025」の会場で、各地域学校協働活動推進員が作成した掲示物を展示し、市民に各本部での活動の様子を紹介した。会場に来られた多くの市民に、事業内容の周知・広報をおこなっている。



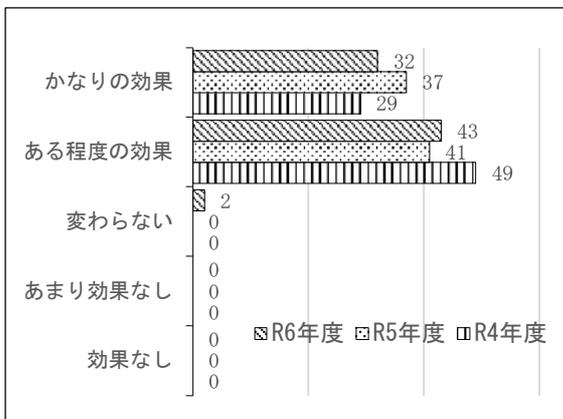
4 成果と課題

(1) 実施校アンケート結果より（12月実施 小学校 78校 中学校 29校）

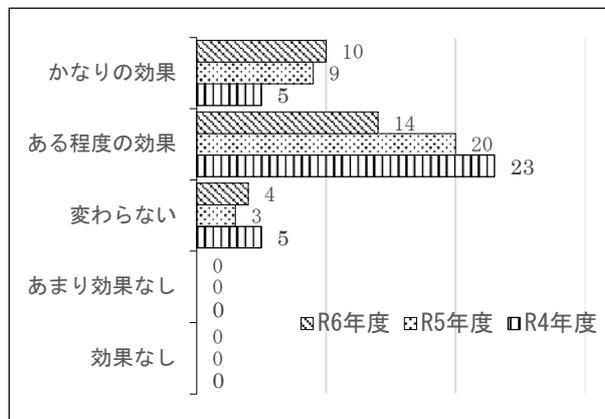
※中学校については、令和6年度から実施校のみ意見を抽出

- ① 子供たちが地域住民と交流することにより、お互いのあいさつや住民からの声掛けが積極的に行われるようになった。

<小学校>

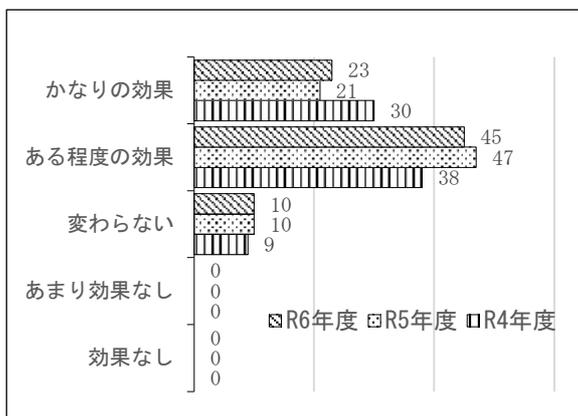


<中学校>

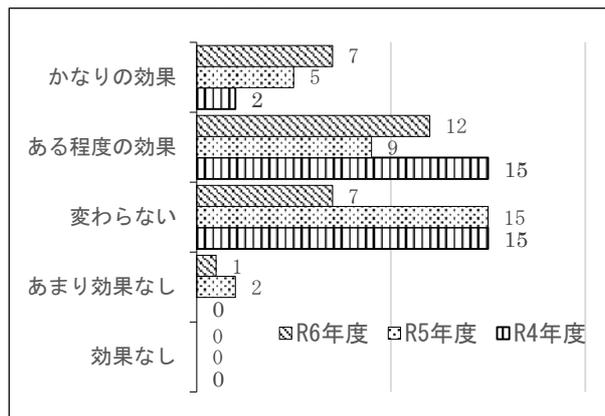


- ② 学力の向上や技術の向上につながった。

<小学校>



<中学校>



(2) 成果

- ・ 地域学校協働活動推進員が、学校運営協議会の委員として委嘱される学校が増えたことで、学校や地域との連携を図りやすくなり、ボランティアの登録者数や事業の増加につながっている。
- ・ 関係団体や大学等と連携することで、ボランティアの確保や柔軟な学習支援につながった。
- ・ 小学校においては、学習支援や読み聞かせ、登下校の見守り、体験活動の補助など、多方面による支援が行われており、充実した事業が展開されている。
- ・ 中学校においては、環境整備や読み聞かせ、登下校の見守りなどを通して、地域住民との交流や教師の負担軽減など効果が上がっている。また、地域学校協働活動推進員が中学校訪問をおこなうことによりつながりが深まるだけでなく、事業内容の周知を図り更なる拡充が期待できる。

(3) 課題

- ・ 活動できるボランティアが高齢化・固定化してきているので、地域コミュニティ協議会等と連携を取りながら、新しいボランティアの発掘をおこなっていく必要がある。
- ・ 特別な支援を必要とする児童生徒及び不登校児童生徒への支援ができる体制づくりを進めるために、教科指導や児童生徒への関わり方など専門的な知識や技能をもったボランティアの育成や発掘をおこなう必要がある。
- ・ 関係課等と連携を取りながら、学校運営協議会制度と地域学校協働活動の一体的な推進が図られるよう情報収集や体制づくりを進める必要がある。

5 各本部の支援活動例一覧表(小学校78校・中学校20校)

(掲載している活動は、令和6年1月から12月までの内容です。)

本 部	小学校	活動名	ページ	本 部	小学校	活動名	ページ
山下・城南	山下小	妙円寺遠行	7	吉田・本名・本城	吉田小	校区の自然と歴史探訪会	57
	城南小	日本の楽器に親しもう	8		本名小	稲刈り体験	58
中郡・鴨池	中郡小	保健に関わる行事への支援	9	中名・瀬々串・一倉	本城小	地域の人とグラウンドゴルフをしよう	59
	鴨池小	水泳学習時の安全見守り	10		中名小	わくわくミシン	60
西紫原・広木	西紫原小	あそび名人になろう	11	星峯西・星峯東	瀬々串小	昔遊び	61
	広木小	ミシンで楽しくソーイング	12		一倉小	米づくり(田植え・稲刈り・脱穀)	62
明和・田上	明和小	町たんけんに行こう	13	星峯西小	ミシンで楽しくソーイング	63	
	田上小	ミシンで楽しくソーイング	14	星峯東小	校内持久走大会試走の安全確保	64	
和田・錦江台	和田小	校区探検	15	宮川・皇徳寺	宮川小	農園見学	65
	錦江台小	集団下校の引率補助	16		皇徳寺小	「しいの木ジョギング大会」試走	66
大明丘・吉野東	大明丘小	水遊び	17	谷山・錫山	谷山小	ソフトバレーボール	67
	吉野東小	学校に関わっている方にインタビュー!	18		錫山小	さつまいもの苗植え付けと収穫	68
西伊敷・皆与志	西伊敷小	「おはら節・ハンヤ節」	19	東谷山・中山	東谷山小	のこぎりひいて ザク、ザク、ザク	69
	皆与志小	たけのこ掘り	20		中山小	ミシンで楽しくソーイング	70
武岡・武岡台	武岡小	郷土のおかしを作ってみよう	21	福平・平川	福平小	町の人の話を聞こう	71
	武岡台小	町たんけん	22		平川小	おはら節	72
桜洲・東桜島・桜峰・黒神	桜洲小	秋たんけん	23	紫原・向陽	紫原小	学生による学習支援	73
	東桜島小	安全登校見守り活動	24		向陽小	校外学習支援	74
	桜峰小	中学生の運動会ボランティア	25	吉野・牟礼岡	吉野小	英会話活動支援	75
	黒神小	音楽発表会の合奏指導	26		牟礼岡小	キャリア教育「消防士の仕事」	76
宮・川上	宮小	収穫祭	27	坂元・坂元台	坂元小	楽しいパズル	77
	川上小	米づくり体験活動	28		坂元台小	スペシャルお話し会	78
喜入・前之浜・生見	喜入小	スケッチ大会見守り支援	29	名山・松原	名山小	夏季休業課題帳の印刷と製本	79
	前之浜小	昔のおもちづくり	30		松原小	歯と口の健康教室	80
	生見小	高齢者との触れ合い学習	31	西陵・西田	西陵小	昔遊び体験交流	81
春山・石谷	春山小	緑陰読書会	32		西田小	さつまいもの苗植え	82
	石谷小	習字(毛筆)	33	松元・東昌	松元小	安全な登下校(JR利用・徒歩)	83
郡山・南方・花尾	郡山小	新1年生下校見守り	34		東昌小	おいしいお茶づくりの秘密	84
	南方小	郡山の農業	35	本 部	中学校	活動名	ページ
	花尾小	雅楽(越天楽今様)	36	山下・城南	甲東中	朝のあいさつ運動	85
清和・西谷山	清和小	ナップサックづくり	37	中郡・鴨池	天保山中	手縫いによるホック付け等	86
	西谷山小	水遊びの見守り・水泳の学習支援	38		鴨池中	個別学習をする生徒への支援	87
桜丘西・桜丘東	桜丘西小	あの人に会いたいな(町たんけん)	39	明和・田上	明和中	小物づくりサポート	88
	桜丘東小	読み聞かせ	40	和田・錦江台	和田中	被服実習基礎縫い	89
大龍・清水	大龍小	あの人に会いたいな(町探検)	41	武岡・武岡台	武岡中	地域の方々に学ぼう	90
	清水小	そろばん(4年)	42		桜島中	インターナショナルデー・調理教室	91
荒田・八幡	荒田小	スケッチ会	43	桜洲・東桜島・桜峰・黒神	東桜島中	仮植作業	92
	八幡小	「昔探しの旅」(昔の遊びをしよう)	44		黒神中	門松づくり	93
宇宿・南	宇宿小	読書まつり	45	清和・西谷山	東谷山中	しょうが焼きを作ろう	94
	南小	新1年生の下校指導	46	荒田・八幡	甲南中	読み聞かせ	95
原良・草牟田	原良小	特別活動(手話クラブ)	47	宇宿・南	南中	期末テスト時の下校指導	96
	草牟田小	箏の体験学習	48	原良・草牟田	城西中	エプロン製作	97
玉江・犬迫	玉江小	ミシンで楽しくソーイング	49	玉江・犬迫	伊敷中	朝の読み聞かせ	98
	犬迫小	読み聞かせ	50	吉田・本名・本城	吉田北中	郷土芸能伝承	99
伊敷・小山田	伊敷小	ミシンで楽しくソーイング	51	谷山・錫山	谷山中	朝の読み聞かせ	100
	小山田小	読み聞かせ・口演童話	52	福平・平川	福平中	定植作業	101
伊敷台・花野	伊敷台小	読み聞かせ	53	紫原・向陽	紫原中	学生による学習支援	102
	花野小	登校支援	54	吉野・牟礼岡	吉野中	書写(毛筆)学習支援	103
武・中洲	武小	お店ではたらく人	55	松元・東昌	松元中	朝の読み聞かせ	104
	中洲小	ソーイングで生活を豊かに	56				

山下小学校【山下・城南本部】

支援活動例

■活動名	妙円寺遠行
■活動分類	学校行事
■場 所	学校から徳重神社まで
■学年・人数	6年 68人
■期 日	10月23日(水)
■ボランティア数	保護者8人、地域住民1人 延べ人数72人
■支援内容	学校から徳重神社までの引率支援及び安全指導



〈児童の感想〉

- ・ 最初の頃は、友達と楽しく会話をしながら歩いていた。チェスト館での休憩後からだんだんときつくなり、足も痛くなってきたが、最後まであきらめずがんばって徳重神社に着いた時の充実感と達成感は最高だった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 今回、ボランティアに参加させていただいて、とても楽しかった。20kmの道のりは長かったが、子供たちと歩いて時間を共有できてとても充実した1日だった。参加させていただきありがたかった。

〈教職員の感想〉

- ・ 多くのボランティアの参加により、安全に実施でき感謝している。

〈成 果〉

- ・ 今年度も6年生のみでの実施であった。参加児童数も程よい人数であり、引率・安全支援に関してはとてもやりやすかった。
- ・ 横断歩道の横断も1学年であったので、横断にあまり時間がかからなかった。

〈課 題〉

- ・ 全行程の中で、途中で歩道の狭い場所等があり、今後の安全な実施に向けては危険箇所の歩行について細かい事前の打合せが重要である。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 実施したボランティア活動の写真を児童用玄関等に掲示し、来校者等へのボランティア事業の広報に努めている。
- ・ ボランティアの方には、活動の写真入りお礼状をお届けし喜んでいただけた。

〈今後の取組〉

- ・ コロナ禍以降の先生方からのボランティア要請が少ない状況である。今後先生方への具体的な説明等を積極的におこない、活用を増やしていきたい。

城南小学校【山下・城南本部】

支援活動例



■活動名	日本の楽器に親しもう
■活動分類	学習支援（音楽科）
■場 所	多目的室
■学年・人数	4年1組 20人 4年2組 20人 計40人
■期 日	2月1日（木）
■ボランティア数	地域住民1人
■支援内容	箏に関する基本的な操作方法や「さくらさくら」の奏法指導

〈児童の感想〉

- ・ 箏の体験をさせていただき、ありがたかった。箏は、曲を覚えるのが難しく、弦もかたくて大変だったが、箏の出す音色はとてもきれいだった。とてもいい勉強になった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 子供たちが楽しそうに箏に触れながら、「さくらさくら」の曲を徐々に弾けるようになっていく様子を、うれしく思いながら見ることだった。

〈教職員の感想〉

- ・ 自分たちではなかなか教えられない学習内容で、実際に10個以上の箏を持って来て、子供たちにじかに触れさせながら教えていただき感謝している。

〈成 果〉

- ・ できるだけ子供たちに、直接「箏」に触れさせることで、箏のよさや演奏方法を理解させながら、学習を進めて行きたいというボランティアの意向から、12台の箏を使って、子供たちも楽しく興味をもって学習することができた。

〈課 題〉

- ・ 非常に貴重な学習であるので、今後も継続してできるようにしていきたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ ボランティアをしていただいた方々に、子供たちや地域学校協働活動推進員からのお礼状をお届けし、学習指導活動に参加したことを喜んでいただいた。
- ・ ボランティア活動の様子を掲載したリーフレットを児童用玄関や校区公民館に掲示したり、ボランティアだよりを発行したりして、広報活動をおこなっている。

〈今後の取組〉

- ・ 特殊な技能をもった方であるので、今後も継続した参加を依頼していく。

中郡小学校【中郡・鴨池本部】

支援活動例



■活動名	保健に関わる行事への支援
■活動分類	学校行事
■場 所	保健室及び体育館・校庭
■学年・人数	全学年 383人
■期 日	4月9日（火）～12月14日（土）
■ボランティア数	地域住民1人、大学生2人 延べ人数18人
■支援内容	健康診断の補助及び運動会・持久走大会の救護補助

〈児童の感想〉

- ・ 健診のときに、頭などを支えてもらったので、安心して受けることができた。
- ・ けがの治療に来たとき、優しいことばをかけてもらったので不安がなくなった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 看護師の知識を生かすことができるので手伝いをさせていただいた。
- ・ 救護の仕事を手伝っているとき、支援の必要性を感じることもできた。

〈教職員の感想〉

- ・ 健診の際に、会場準備・記録・体位固定などのサポートをしていただき、行事をスムーズに進めることができた。
- ・ 複数の子供たちが治療に来たとき、分担して処置することができた。

〈成 果〉

- ・ 定期健康診断や身体・視力検査等の補助、運動会・持久走大会での救護係の仕事において、養護教諭の補助をしてもらうことができた。

〈課 題〉

- ・ 資格を持ったボランティアが協力してくれたが、医療行為に関わることもあるので、どこまで支援できるのかを明確にして対応しなければならない。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 保健に関する各行事への支援が昨年度から定着している。
- ・ 複数学年が在籍する特別支援学級で、国語や算数の学習支援をおこなうことができた。また、生活科（生き物探し）への支援にも協力できた。

〈今後の取組〉

- ・ 教科学習や校外学習の引率などへの支援要請が増えるよう働き掛けていきたい。
- ・ ボランティアが固定化しているので、新規登録者を増やし、多くの支援者による支援活動ができるようにしていきたい。

鴨池小学校【中郡・鴨池本部】

支援活動例



■活動名	水泳学習時の安全見守り
■活動分類	学習支援（体育科）
■場 所	プール
■学年・人数	1年～4年 247人
■期 日	6月3日（月）～7月17日（水）
■ボランティア数	保護者15人 延べ人数81人
■支援内容	安全見守り、用具の準備と片付け

〈児童の感想〉

- ・ 泳ぐのが不安だったけれど、見てもらって安心できた。
- ・ あぶないよと注意をされたが、そばにいてもらったのでうれしかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 安全に授業ができるようにと考えて支援した。無事に水泳の授業が終わったが、見守りが重要であることを改めて実感した。
- ・ 担任だけの授業は苦勞が多いと感じた。見守りや準備に協力できてよかった。

〈教職員の感想〉

- ・ プールの中からでは全体が把握できないこともあったが、見守りをしてもらえたので、授業に集中することができた。

〈成 果〉

- ・ 複数で支援をおこなっているときは、安全見守りと同時にプールサイドへの水かけや用具の出し入れも手伝うことができ、授業の進行に協力できた。

〈課 題〉

- ・ 上学年にも支援を広げていくためには、多くの人材を確保しなければならない。
- ・ 緊急発生時にどのように対応していくべきか、マニュアルを作成して支援者に周知し、敏速に対応できるようにしていきたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 1～6年生の外国語や特別支援学級への授業支援は、多くの学生ボランティアの協力で充実している。
- ・ 社会科と生活科の校外学習引率や昔の遊びの世話を毎年おこなっている。

〈今後の取組〉

- ・ 老人クラブや大学のサークルとの連携による支援も要請内容に応じて実施しているため、今後も関係機関との連携を強化し、支援内容を工夫していきたい。

西紫原小学校【西紫原・広木本部】

支援活動例



■活動名	あそび名人になろう
■活動分類	学習支援（生活科）
■場 所	体育館 校庭
■学年・人数	1年1組～4組 125人
■期 日	12月14日（土）
■ボランティア数	地域住民（高齢者クラブ）24人 延べ人数48人
■支援内容	昔の遊び道具を使った遊びの支援

〈児童の感想〉

- ・ 竹とんぼの飛ばし方を、名人さんがやさしく教えてくれて楽しく遊べた。
- ・ 何回も失敗したけれど、こまが回ったときはうれしかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 昔の遊びを一緒に楽しむことができ、充実した時間を過ごすことができた。
- ・ 子供たちが何回も挑戦してできるようになったとき、自分のことのようにうれしかった。

〈教職員の感想〉

- ・ 子供たちは普段しない遊びを経験でき、充実した時間を過ごすことができた。
- ・ 高齢者の方々との触れ合いは、子供たちにとって良い機会となった。

〈成 果〉

- ・ 竹とんぼや竹馬など、昔は手づくりのおもちゃで遊んでいたことを伝えることができてよかった。
- ・ 高齢者の方から昔の生活の様子など貴重なお話を聞くことができた。

〈課 題〉

- ・ より充実した活動にするために、遊び方や道具の作り方について事前準備の段階からの支援が望まれる。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 常時活動として、ボランティアの日々の登下校見守りで子供たちの安全確保が図られている。
- ・ 地域の大学と連携した学生ボランティアの学習支援が根付きつつある。

〈今後の取組〉

- ・ 学校支援ボランティア事業の円滑な推進のために、教育課程への位置づけや教職員へのさらなる周知を図っていきたい。

広木小学校【西紫原・広木本部】

支援活動例



■活動名	ミシンで楽しくソーイング
■活動分類	学習支援（家庭科）
■場 所	教室
■学年・人数	5年1組～4組 126人
■期 日	11月18日（月）・22日（金）・25日（月）・29日（金）
■ボランティア数	地域住民5人 延べ人数36人
■支援内容	ミシンを使ってのエプロンづくりの支援

〈児童の感想〉

- ・ 困っているときに、ボランティアの方にやさしく教えていただいた。
- ・ 上手にできたとき、褒めてくださってうれしかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 子供たちの手助けをしながら、一緒にエプロンを作り上げることができてやりがいを感じた。
- ・ 自分の特技を生かす機会をいただき、役に立ててよかった。

〈教職員の感想〉

- ・ 子供たちの様々な質問に教師一人では対応が難しいが、ボランティアの支援のおかげで、充実した活動ができた。

〈成 果〉

- ・ 作業が遅れがちな子供に、ボランティアの支援が入ることで個別の対応ができ作品を仕上げることができた。

〈課 題〉

- ・ 4クラス延べ16時間の支援依頼で、5人のボランティアに協力をいただいたが、ボランティアの負担を軽減するためにも、人数確保が課題である。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 地域の大学と連携し、地域貢献事業として学生ボランティアに水泳の学習支援に協力していただき、個別指導や安全確保が充実した。
- ・ 登校見守りグループ「おおぞら会」のメンバーが毎朝通学路に立ち積極的に見守り活動をおこなっている。

〈今後の取組〉

- ・ 学校支援ボランティアの活動内容を地域コミュニティ協議会の広報紙などで紹介し、ボランティアの確保に努めていきたい。

明和小学校【明和・田上本部】

支援活動例

■活動名	町たんけんに行こう
■活動分類	学習支援（生活科）
■場 所	幼稚園・交番・銀行・福祉館 等
■学年・人数	2年 60人
■期 日	11月27日（水）
■ボランティア数	地域住民・保護者6人
■支援内容	移動時の安全確保と学習時の個別支援



〈児童の感想〉

- ・ 安全に気を付けて町たんけんができるよう見守ってくださり、楽しかった。ありがとうございます。
- ・ メモをするとき分からないところを教えてください、うれしかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 子供たちとともに校区内を回り、改めて自分たちも学び直しになった。
- ・ 各施設の見学の際の安全誘導に役立ててよかった。

〈教職員の感想〉

- ・ 教職員だけでは実施が難しいが、ボランティアの方々の協力・誘導で安全に、安心して移動でき、各見学場所での学習成果もあがった。

〈成 果〉

- ・ 1学期と2学期に1回ずつ校区探検を実施しているが、ボランティアの方々の協力で教職員は余裕ができ、児童の指導にあたることができた。

〈課 題〉

- ・ ボランティアを協力してくださる方々が少なく、ぎりぎりの人数での実施となった。担任からも学級の週報等を通じて保護者へ呼び掛けるなどして人数を確保したい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 「お話ポケット」グループによる朝の読み聞かせは伝統的な取組で、毎回、指遊び、手話、クイズ等趣向を凝らして実施されている。内容の充実とともに地域住民、保護者OB等へ声掛けし、更なる会員拡大を図りたい。

〈今後の取組〉

- ・ 年間を通して地域コミュニティ協議会等と連携しながら、学校支援ボランティア事業の趣旨を理解してもらい、新たな人材確保や活動の充実を図りたい。

田上小学校【明和・田上本部】

支援活動例



■活動名	ミシンで楽しくソーイング
■活動分類	学習支援（家庭科）
■場 所	家庭科室
■学年・人数	5年3学級 95人 6年3学級 94人
■期 日	9月10日（火）・11日（水）・19日（木）他計8日間
■ボランティア数	地域住民 延べ人数19人
■支援内容	ミシンの基本的操作への個別支援

〈児童の感想〉

- ・ 分からない時に質問をするとすぐに教えてもらえて、うれしかった。
- ・ できなかったことができるようになり、ほめてもらえて楽しく学習できた。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 初めは不安もあったが、気軽に話し掛けてくれ、分からないことを積極的に質問してくれたので、やりがいがあった。
- ・ 参加することで子供たちから元気をもらっている。今後も協力したい。

〈教職員の感想〉

- ・ 担任だけでは指導が難しいので、支援していただいて大変ありがたい。
- ・ 教科書にでていない裏技（操作法）を教えてもらい、とても参考になった。今後の指導に生かしていきたい。

〈成 果〉

- ・ 担任一人では行き届きにくい細かな作業まで支援を受け、困り感に対応できた。
- ・ 各学級1回だけでなく、2時間続きで2回支援をもらい、学習成果があがった。

〈課 題〉

- ・ 学習内容について、事前の細かな打合せが必要である。
- ・ 活動の日時によりボランティアの確保が難しい時があった。専門的な技術・知識をもった人材の確保が必要である。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 年間を通して、田上地区の民生委員・児童委員、町内会長さん方をはじめとした地域住民の協力・支援が絶大で、教育活動が地域全体に支えられ、見守られて実施されている。

〈今後の取組〉

- ・ 今後も優れた見識・経験・技能を有した地域の人材の発掘と確保に努めるとともに、学校側のニーズに応じて、更なるボランティア活動の内容の充実を図りたい。

和田小学校【和田・錦江台本部】

支援活動例

■活動名	校区探検
■活動分類	学習支援（総合的な学習の時間）
■場 所	和田小学校校区内
■学年・人数	3年 124人
■期 日	5月2日（木）
■ボランティア数	保護者6人
■支援内容	引率補助



〈児童の感想〉

- ・ あまり行かない所にも行ったけど、みんなで歩いておもしろかった。
- ・ お母さんたちも一緒に校区を探検した。とても楽しかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 子供たちをしっかりと見守りつつ、大人も校区を探検できてよかった。
- ・ 普段は歩かない所もあった。歩くことで気付くこともたくさんあった。

〈教職員の感想〉

- ・ 保護者の方がいらっしゃるの、安心して活動できた。
- ・ 学校外での活動は、安全面に十分気を付ける必要がある。保護者の方が参加してくださると大変助かる。

〈成 果〉

- ・ ボランティアの方がしっかりと見守ってくださった。校区探検を無事に終えることができてよかった。
- ・ 校区内を見て歩くことで、危険箇所等を把握することができた。

〈課 題〉

- ・ 多くの参加者を得るために、保護者等に対しての早めの周知が必要である。
- ・ 雨の多い時期でもあり、実施日の検討が必要である。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 交通安全教室、就学時健康診断、家庭科において地域住民の方がボランティアに参加した。
- ・ 4年生算数科「そろばん」、体育科「跳び箱運動」では、大学生による学習支援をおこなった。

〈今後の取組〉

- ・ 地域コミュニティ協議会等と連携し、地域住民及び大学生の参加者を得る。

錦江台小学校【和田・錦江台本部】

支援活動例

■活動名	集団下校の引率補助
■活動分類	登下校安全指導
■場所	錦江台小学校校区内
■学年・人数	1年 97人
■期 日	4月9日（火）～12日（金）
■ボランティア数	保護者10人 延べ人数36人
■支援内容	集団下校の見守り活動



〈児童の感想〉

- ・ 先生やお父さんたちと一緒に帰って楽しかった。
- ・ 途中、お母さんが迎えにきてくれたのでうれしかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 1年生は入学したばかりなので分からないことが多い。無事に集団下校をすることができてよかった。
- ・ 1年生の下校を見守ることができてよかった。これからも気を付けてほしい。

〈教職員の感想〉

- ・ 保護者の参加があり、大変助かった。無事に集団下校ができてよかった。
- ・ 来年度以降も集団下校に参加していただけるとありがたい。

〈成 果〉

- ・ 今回、はじめて集団下校の引率補助に保護者の方が参加した。大変ありがたかった。
- ・ 職員と保護者が協力しながら、集団下校を無事終えることができた。

〈課 題〉

- ・ 保護者による集団下校の見守り活動が定着できるようにしたい。
- ・ 保護者や地域住民への周知や依頼を更に進めていく。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ P T Aのバザーなどで、大学生によるボランティア活動をおこなった。
- ・ 保護者のボランティアグループによる、読み聞かせをおこなっている。

〈今後の取組〉

- ・ 保護者だけでなく、地域住民や大学生の参加による学校支援ボランティア事業が増えるように周知・依頼に努めていきたい。

大明丘小学校【大明丘・吉野東本部】

支援活動例



■活動名	水遊び
■活動分類	学習支援（体育科）
■場所	プール
■学年・人数	1年1組・2組 65人
■期日	6月12日（水）～7月18日（木） 9日間
■ボランティア数	保護者13人、地域住民1人 延べ人数20人
■支援内容	子供たちの着替えの補助、プールまでの行き帰りの引率、プールでの見守りや励まし・声掛けなど。

〈児童の感想〉

- ・ 着替えを手伝ってくれたり、プールで見守ってくれたりしてうれしかった。そのおかげで、楽しいプールができた。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 子供たちの意識や行動が変化する姿を目の当たりにし、言葉選びの難しさと伝え方を工夫することの大切さを痛感した。
- ・ 普段、子供の学校生活（教育）を間近で見守り、関わる機会はなかなかないため、大変良い機会となった。

〈教職員の感想〉

- ・ ボランティアの方々に入っただき、スムーズに着替えができた。また、多数の大人が見守ってくださることで、安心・安全に水泳学習ができてありがたかった。

〈成果〉

- ・ 今年度、初めて1年生の水遊びのボランティア活動をおこなったが、着替えやプールの見守り、子供たちとの触れ合いなど、先生方もとても喜んでいらした。

〈課題〉

- ・ 今後とも学校の新たな要請に応じることができるよう、地域のボランティアの発掘を一層進めていきたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 読み聞かせやお話会、集団下校、通学路探検や町探検、習字・書初め、昔遊び、ミシン縫い、おやじの会の門松・運動会の飾り門作り、図工の金づちや小刀の使い方、和楽器に親しむ、陸上・水泳強化練習、夏の水泳教室、お別れ遠足などのほか、今年度は1年生の水遊びも加わり、年々幅広い支援をいただいている。

〈今後の取組〉

- ・ 地域の方々や地域コミュニティ協議会との連携を図りつつ、特に昔遊びやミシン縫い、朝の読み聞かせなどのボランティアを更に充実させていきたい。

吉野東小学校【大明丘・吉野東本部】

支援活動例



■活動名	学校に関わっている方にインタビュー！
■活動分類	学習支援（国語科）
■場所	体育館
■学年・人数	6年1～5組 201人
■期日	6月7日（金）・10日（月）（計5回）
■ボランティア数	保護者6人、地域住民13人 延べ人数42人
■支援内容	ボランティアの活動内容やボランティアをしている理由など、子供たちのインタビューに応じる。

〈児童の感想〉

- ・ インタビューをして、いろいろな方々の気持ちや思いを知り、勉強になった。
- ・ 工夫していることを聞いて、もっと興味がわくとともに、私たちは、ボランティアの方々ののおかげで学校生活を送れていることを改めて実感した。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 子供たちの緊張が伝わり、がんばっている姿に元気をもらうことができた。
- ・ 子供たちが読み聞かせを通じて、どのように感じたり思ったりしているのかを知ることができた貴重な時間になった。

〈教職員の感想〉

- ・ 1学年200名の子供たちが、インタビューを体験できたこと、各学級に10名ほどのボランティアの方に集まっただけなこと、ボランティアの方々が臨機応変に対応してくださったことなど、大変助かった。

〈成果〉

- ・ 今年度初めておこなった「学校に関わっている方にインタビュー！」のボランティア。19人もの方々が協力してくださり、先生方も喜んでくださり大盛会であった。ボランティアの方々は、子供たちのお礼状をととても喜んでくださった。

〈課題〉

- ・ 今後も新たな学校の要請に対して、真摯に対応していきたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 昼休み後や夏休みの読み聞かせ、お話会、各教科等の学習支援、手縫いやミシン、学校図書館ボランティア、持久走大会の試走、学校まわりの探検、町探検、昔遊び、どんぐり拾い、お店の見学、花作りボランティアなどに加え、今年度は学校に関わっている方にインタビューもおこなった。

年間を通じてますます幅広い支援をいただいている。

〈今後の取組〉

- ・ 学校やまちづくり協議会、地域の方々との更なる連携を図りつつ、学校の要請に応じたボランティア活動を計画的に更に充実させていきたい。

西伊敷小学校【西伊敷・皆与志本部】

支援活動例



■活動名	「おはら節・ハンヤ節」
■活動分類	学習支援（体育科）
■場 所	体育館、運動場
■学年・人数	3年 全学級71人
■期 日	4月27日(土)、5月9日(木)・14日(火)
■ボランティア数	地域住民11人 延べ人数32人
■支援内容	運動会で披露する「おはら節」「ハンヤ節」の踊りの練習

〈児童の感想〉

- ・ 手を丸めて開くやり方を教わり、すぐできるようになった。うれしかった。
- ・ ハンヤ節は難しかったけど、おはら節は上手に踊ることができるようになった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 素直に聞いてくれて、どんどん上手になってこちらもうれしくなった。
- ・ 本番は自分たちも輪になって一緒に踊った。うまく踊っていて楽しかった。

〈教職員の感想〉

- ・ 体育館で2回、運動場で1回計3回教えていただいた。コツをしっかりと教えていただき、うまく踊れるようになった子供たちが多くてありがたかった。

〈成 果〉

- ・ 郷土の踊り「おはら節・ハンヤ節」は今後も踊る機会がたくさんあるので、この時期に細かいところまで教えていただけたのは大変ありがたいことである。
- ・ ボランティアの方々の駐車場を確保できたのは喜ばれた。

〈課 題〉

- ・ 体育館2回運動場1回計3回で支援いただくのは、ちょうどいいと考えている。引き続き次年度も、同様をお願いしていきたいと思う。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 昨年度、西伊敷小学校のボランティア名簿のスリム化を図り、(148人から68人)、今年加入の11人を加え79人の登録がある。

〈今後の取組〉

- ・ 安全ボランティア（集団下校、町たんけん、持久走大会等）の方々の高齢化は、今に始まったことではないが、意外に深刻である。引き続き人材確保の妙案を探り、多方面への声掛け等をしていきたい。

皆与志小学校【西伊敷・皆与志本部】

支援活動例

■活動名	たけのこ掘り
■活動分類	学習支援（生活・総合的学習の時間）
■場 所	支援者所有の竹山
■学年・人数	全校児童 27人
■期 日	4月第2土曜日 4月13日
■ボランティア数	地域住民1人
■支援内容	鍬やスコップを使って丁寧にたけのこを掘り出す活動



〈児童の感想〉

- ・ たけのこから少し離れたところから、鍬で掘り出すことを教えてもらった。
- ・ たけのこを傷つけないで、いっぱい掘れてとてもうれしかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ いっこうに頭を出さないのので気をもんだが、たくさん出ていてくれてよかった。
- ・ 最後掘り起こす活動は、上学年が下学年に教えて協力してくれた。

〈教職員の感想〉

- ・ 竹山の整備等、時間がかかったと思う。大変有り難かった。感謝である。
- ・ 子供たちが真剣な顔をして土を掘る活動ができた。達成感がとてもあった。

〈成 果〉

- ・ 計70本以上のたけのこを掘り出した。自宅への土産と学校給食に使用したが、充分すぎる量を提供していただいた。
- ・ たけのこを傷つけない工夫等、それぞれ体験しながら学習することができた。

〈課 題〉

- ・ 4月の第2土曜日の活動として計画したが、昨今の異常気象等を考えると、今後柔軟に対応する必要がある。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 条件がそろっての「たけのこ掘り」は郷土の学習として有意義なものとする。
- ・ 今後、ボランティア名簿のスリム化（皆与志小編）を考えている。

〈今後の取組〉

- ・ 全校児童対象の「昔のあそびを体験しよう（仮名）」を計画している。各集落の自治会長さんを通してボランティアの募集中である。初めてのことなので、ボランティアが集まるか不安である。

武岡小学校【武岡・武岡台本部】

支援活動例

■活動名	郷土のおかしをつくってみよう
■活動分類	学習支援（総合的な学習の時間）
■場 所	家庭科室
■学年・人数	3年 50人
■期 日	11月27日（水）
■ボランティア数	保護者2人、地域住民10人 延べ人数24人
■支援内容	かるかんづくりの支援



〈児童の感想〉

- ・ おいしいかるかんをつくれたのは、ボランティアの方々のおかげだと思う。
- ・ お店で買ったかるかんよりも、みんなでつくったかるかんの方がおいしかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ ボランティアに参加して、子供たちから元気をもらった。
- ・ 子供たちが、後片付けまで手伝ってくれて頼もしく感じた。

〈教職員の感想〉

- ・ 材料や道具の準備をはじめ、細やかで丁寧なサポートをしていただき、楽しく安全なかるかんづくりを実施することができた。

〈成 果〉

- ・ 子供たちにとっては、初めてのお菓子づくりであったが、ボランティアの方々の温かい適切な支援のおかげで、けがや事故等なく楽しいお菓子づくりを体験させることができた。

〈課 題〉

- ・ ボランティアの内訳は、地域住民（高齢者）10人、保護者2人であった。もう少し保護者ボランティアの人数を増やしたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ ボランティアの方々に、お礼状やボランティアだより、活動写真（A4版）等を届け、感謝の気持ちを伝えるようにしている。
- ・ 1年生から5年生までの算数科学習支援をおこなっている。（毎週1時間程度）

〈今後の取組〉

- ・ 教職員との連携づくりに努め、幅広いボランティア活動に対応できるよう人材の発掘に努めたい。

武岡台小学校【武岡・武岡台本部】

支援活動例

■活動名	町たんけん
■活動分類	学習支援（生活科）
■場 所	校区内
■学年・人数	2年 33人
■期 日	5月21日（火）
■ボランティア数	保護者9人
■支援内容	引率時の安全確保、見学先での支援



〈児童の感想〉

- ・ お店の人に、直接質問することができて楽しかった。
- ・ 校区内のいろいろなお店や町の様子を知ることができた。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 子供たちがお店の人に質問する姿を見て、成長を感じることができた。
- ・ 我が子が学校の友達と接する姿を見られて、安心することができた。

〈教職員の感想〉

- ・ 保護者ボランティアの方々が、各グループに入ってくくださったので、安心して子供主体の学習を実施することができた。

〈成 果〉

- ・ 安全面の心配があったが、ボランティアの方々の協力により事故等なく充実した校外学習を実施することができた。
- ・ 子供たちが質問したり、メモを取ったりする等の学習スキルを高めることができた。

〈課 題〉

- ・ 訪問先への依頼と事前の確認（時間や質問内容等）については、学校（担任）で確実にこなうようにする。今後とも安全面については、事前指導の徹底に努める必要がある。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 年間を通して、読み聞かせグループ「ヤギの森」と保護者ボランティアが合同で読み聞かせをおこなっている。（毎月1回程度）
- ・ 毛筆学習支援についても、地域の方々や保護者の協力をいただき、継続的におこなっている。

〈今後の取組〉

- ・ 教職員・保護者・地域との連携づくりに努め、ボランティア活動数をさらに増やしたい。

桜洲小学校【桜洲・東桜島・桜峰・黒神本部】

支援活動例

■活動名	秋たんけん
■活動分類	学習支援（生活科）
■場 所	溶岩グラウンド周辺
■学年・人数	1年～2年 17人
■期 日	10月12日（土）
■ボランティア数	地域住民2人、保護者1人 延べ人数6人
■支援内容	引率補助、木の実探しの手伝い



〈児童の感想〉

- ・ ボランティアの方がドングリのある場所を教えてくれたので、たくさん採ることができた。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 子供たちといっしょにドングリ探しをして楽しかった。
- ・ 天候もよく、気持ちよく歩くことができた。子供たちが気軽に声を掛けてくれたので楽しかった。ボランティアに参加できて本当によかった。

〈教職員の感想〉

- ・ 子供たちの安全の見守りやドングリ採集の手伝いをしてくださり助かった。秋たんけんを終えて、「楽しかった」と声をあげる子供ばかりだった。ボランティアの支援でけがもなく、子供たちが満足できる活動になった。

〈成 果〉

- ・ 天気もよく、子供たちが楽しく安全にドングリを採集することができた。

〈課 題〉

- ・ 予定していたコースにドングリは少なかったが、別の場所で大量のドングリを見つけた。ドングリ以外種類が少なかったので、葛の花、ススキ、ヌスビトハギ、オナモミなども子供に紹介していきたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 読み聞かせ、遊び名人、昔の遊び、島回り音頭、火の島太鼓、桜島大根の栽培など地域の協力を得て教育活動を進めている。

〈今後の取組〉

- ・ 新たに読み聞かせのボランティアを募るとともに、地域から情報を得て、ボランティアを充実させていきたい。

東桜島小学校【桜洲・東桜島・桜峰・黒神本部】

支援活動例

■活動名	安全登校見守り活動
■活動分類	登下校指導
■場 所	通学路
■学年・人数	1年～6年 25人
■期 日	毎月第2・第4水曜日
■ボランティア数	地域住民6人 延べ人数78人
■支援内容	登校時の安全指導、あいさつ運動



〈児童の感想〉

- ・ いつも地域の方や青パトの方が、温かく声を掛けてくれるのでうれしい。
- ・ 地域の方が、見守ってくださるので、安心して登校できる。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 子供たちとあいさつしたり、言葉を交わしたりしている。子供たちと頻りに顔を合わすので子供たちのことがよく分かる。ちょっとした会話でも子供たちが笑顔を返してくれるのがうれしい。

〈教職員の感想〉

- ・ 子供たちの登下校を見守ってくださり、大変ありがたい。保護者も地域の方々の安全登校見守り活動を見て、見守ることの大切さを感じていることと思う。

〈成 果〉

- ・ 通学路は国道沿いの歩道なので、子供の近くを車が頻りに往来する。特に土砂運搬のダンプが多く、大人が道路わきに立ち安全見守り活動をすることで、運転手も気付いて安全運転に心掛けてくれる。

〈課 題〉

- ・ 通学距離が長いので、子供たち同士の距離が離れないように注意を促して安全に登校させたい。併せて子供たちは登下校時にヘルメットを着用することを忘れずに、非常時はいつでも避難壕に入るように意識付けたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 桜島を約12Km 歩く桜島遠行、東桜島大運動会、昔の遊び・餅つき大会など地域に根差した活動を地域と一体となって進めている。

〈今後の取組〉

- ・ 事業数が減ったので、学校と連携し、学級支援を中心にボランティアの活用を促していきたい。

桜峰小学校【桜洲・東桜島・桜峰・黒神本部】

支援活動例

■活動名	中学生の運動会ボランティア
■活動分類	学校行事（運動会）
■場 所	運動場
■学年・人数	小学生28人 幼稚園児9人
■期 日	5月19日（日）
■ボランティア数	中学生11人
■支援内容	用具の準備、進行、競技の手伝い



〈児童の感想〉

- ・ 運動会で中学生が着いた順に並ばせてくれた。中学生は優しかった。わたしも中学生になったら、やってみたい。

〈ボランティアの感想〉

- ・ みんなといっしょに時間を過ごせて楽しかった。
- ・ 児童や幼稚園児がとても可愛かった。合同運動会で児童や園児の手伝いができてよかった。

〈教職員の感想〉

- ・ 中学生は、PTA会長の指示で用具の準備や競技の説明、児童の誘導など母校の後輩のために張り切って動いていた。児童や園児には頼もしい先輩に映ったことと思う。

〈成 果〉

- ・ 時々大人が指示を与えたが、中学生はてきぱき動いたのでプログラムがスムーズに進んだ。地域住民も中学生のボランティアの様子を見て喜んでいた。

〈課 題〉

- ・ 中学生が地域の行事にボランティアとして参加したが、今後も活躍できる場を見つけて、中学生のボランティア活動を拡げていきたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 読み聞かせ、夏休みの図書館整備、持久走大会の安全確保、リモート交流における桜島大根の栽培、収穫と大根洗い、黒神小と合同で進める椿の実拾いなど地域住民に支えられて進めている。

〈今後の取組〉

- ・ 読み聞かせのボランティアのメンバーがやや固定化しているので、新しく読み聞かせのボランティアを募っていきたい。

黒神小学校【桜洲・東桜島・桜峰・黒神本部】

支援活動例

■活動名	音楽発表会の合奏指導	
■活動分類	学習支援（音楽科）	
■場 所	音楽室	
■学年・人数	5年 1人	
■期 日	9月17日(火)・20日(金)	
■ボランティア数	地域住人1人 延べ人数3人	
■支援内容	鉄琴の指導	

〈児童の感想〉

- ・ 僕のために遠くから音楽発表会の合奏の指導に来ていただきうれしかった。鉄琴をほぼ完璧に演奏することができるようになった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ グループの場合は人数が多いので、短時間でこのレベルまで指導できないが、児童が1人だったので多くのことを指導できた。本人も鉄琴を上手に叩けるようになった。合唱曲では、きれいな声で歌うので驚いた。とても教えやすかったし、楽しく授業ができた。

〈職員の感想〉

- ・ 今回の授業を受けて、児童は音楽が好きになったようだ。いつもの授業では教えられない音楽に関するいろいろな内容を丁寧に教えていただき有意義な時間となった。

〈成 果〉

- ・ 鉄琴の技能向上を図ることができた。児童は音楽の楽しさを味わうとともに興味・関心の向上につなげることができた。

〈課 題〉

- ・ 音楽の技能向上と音楽への興味・関心をさらに高めるために、支援回数を増やしたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 枇杷の収穫や椿の実拾い、桜島大根の栽培・収穫など地域住民が熱心に協力してくれる。

〈今後の取組〉

- ・ 依頼される内容によっては、校区内でボランティアを見つけるのは難しいので、今回の合奏指導のボランティアのように隣接する校区にボランティアを依頼していきたい。

宮小学校【宮・川上本部】

支援活動例



■活動名	収穫祭
■活動分類	学習支援（総合的な学習の時間、他）
■場所	校庭及び家庭科室
■学年・人数	全学年 92人
■期 日	12月14日(土)
■ボランティア数	地域住民18人、保護者・おやじの会20人
■支援内容	低学年「やきいも」、中学年「芋巾着」、高学年「餅つき」

〈児童の感想〉

- ・ 餅つきは難しかったけど、つきたての温かいお餅がおいしかった。
- ・ 宮小学校にたくさんの人が来てくれて、にぎやかで楽しかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 子供たちが指示をよく聞き、積極的に活動してくれたので、楽しく触れ合うことができた。
- ・ 明るく元気な子供が多い。自分の母校でもあるので、今後もできる限り協力していきたい。

〈教職員の感想〉

- ・ 田植えやいも植え、収穫祭まで、年間を通して支援していただき、大変ありがたい。

〈成 果〉

- ・ 自分たちで育てた「さつまいも」や「米」を使い、食農教育の一環として、地域の協力を得ながら、全校態勢で実施している。学校のよき伝統として定着している。
- ・ 保護者や地域の協力が多く、子供たちと触れ合える貴重な時間となった。

〈課 題〉

- ・ さつまいもの生育に問題があり、場所を変える等の対策をしてきたが、まだ不十分であった。来年度に向けて対応を考えたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ これまで実施したボランティア活動の写真を、学校の玄関や校区公民館に掲示し、ボランティア事業への理解・広報に努めている。
- ・ 主なボランティアの行事については、詳細な記録を残すようにした。学校との打合せや次年度への活動に生かしたい。

〈今後の取組〉

- ・ ボランティアの依頼にショートメールを活用したが、備忘録や記録として残せるメリットがある一方、ICTにまだ不慣れな方も多い。慎重に活用したい。

川上小学校【宮・川上本部】

支援活動例



■活動名	米づくり体験活動
■活動分類	学習支援（総合的な学習の時間）
■場所	学校農園
■学年・人数	5年 3クラス93人
■期 日	6月7日(金)代掻き・14日(金)田植え、 10月1日(火)稲刈り・12日(土)脱穀
■ボランティア数	地域住民・長寿会 延べ人数26人
■支援内容	米づくりの一連の作業を体験

〈児童の感想〉

- ・ 最初は田んぼがぬるぬるして苗を植えにくかったけど、ロープを張ってくださったのでみんなで協力して植えることができた。
- ・ 足踏み脱穀機を初めて見た。危なそうに見えたけどどンドン取れて楽しかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 指示をよく聞き、みんなで協力して整然と植えることができていた。
- ・ 体験してみないとわからないことも多い。ご飯を食べるときに、米づくりの喜びや苦労を思い出してくれたらうれしい。

〈教職員の感想〉

- ・ 子供の人数が多く交替しながらの体験となったが、多くのボランティアが参加してくださり、一人一人に声を掛けてくださった。とても助かった。

〈成 果〉

- ・ 長寿会の全面協力があり、多くの参加を得られた。安全面でも安心感があつた。
- ・ 足踏み脱穀機も活用するなど、幅広い体験学習となった。

〈課 題〉

- ・ 一連の体験はできたが、作業の場での交流にとどまっている。教室での座学の場に招待して、米づくりの楽しさや苦労について話を聞く場面も設けたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ ボランティアの内容によっては、登録者だけでなくその都度全保護者に依頼のメールを出した。参加者に声を掛け、新たな登録者の獲得につながっている。
- ・ 学校の玄関や校区公民館に、過去のボランティア活動の写真を掲示している。

〈今後の取組〉

- ・ 地域ボランティアのメンバーが固定化しつつある。関係学年の保護者を優先しつつ、より多くの人に参加できるよう広報を充実させていきたい。

喜入小学校【喜入・前之浜・生見本部】

支援活動例

■活動名	スケッチ大会見守り支援
■活動分類	学習支援（図画工作科）
■場 所	喜入小～喜入駅、喜入駅周辺
■学年・児童数	4年 42人
■期 日	4月30日（火）
■ボランティア数	地域住民3人
■支援内容	駅までの往復、駅周辺での安全確保



〈児童の感想〉

- ・ 駅に行くときや帰るときに車が多いので、地域の方に見守ってもらって安心した。駅でも、道路のはしで絵をかいていたら声を掛けてもらいうれしかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ たくさんの子供さんと触れ合うことができ楽しかった。最後まで気は抜けなかったが、無事に学校に帰り着いてほっとした。

〈教職員の感想〉

- ・ 担任2人だけだったのでとても不安だったが、3人の地域の方に見守っていただき安心して引率することができた。特に、駅周辺は多くの車や電車が通り危ない上、目が届かない所も多かったのがよかったと思った。

〈成 果〉

- ・ 担任だけでは安全確保が十分にできないと、学校から事前に依頼があり対応した。3人のボランティアの支援で、教児ともに安心して学習に臨むことができた。

〈課 題〉

- ・ 先生方には少なくとも3週間前に依頼するようお願いをしているが、諸事情により急な依頼があった時の対応も考えておかないといけない。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 放課後児童見守りや読み聞かせ等、年間を通した支援での事前メール確認や学習支援に関する職員への声掛け、校内掲示等に力を入れている。また、地域への周知を図るため、毎月「事業便り」を発行し、回覧してもらっている。

〈今後の取組〉

- ・ 支援者の高齢化や固定化に伴い、登録者の幅広い依頼・活用及び保護者を含めた新規登録者の確保に一層努めていきたい。

前之浜小学校【喜入・前之浜・生見本部】

支援活動例

■活動名	昔のおもちゃづくり
■活動分類	学習支援(総合的な学習の時間)
■場 所	教室
■学年・児童数	5年～6年生 10人
■期 日	11月1日(金)
■ボランティア数	地域住民1人
■支援内容	「郷土の先人に学ぶ」学習の一環 「紙で作るおもちゃ」5種類の製作指導・支援



〈児童の感想〉

- ・ 「こまづくり」が印象的で、簡単そうに見えたが、いざやってみると、とても細かい作業に苦戦した。できたときの達成感は最高だった。家でもやりたい。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 小さい頃は当たり前のように作っていたものを、子供たちが声をあげて楽しく作っている姿を見てうれしく思った。ぜひ、手づくりのよさを学んでほしい。

〈教職員の感想〉

- ・ ゲームや漫画など流行しているこの時代に、とても貴重な体験をさせていただいた。おもしろい仕掛けのあるおもちゃづくりに、子供たちがキラキラした目で取り組んでおり、充実した時間となった。今後ともよろしくお願ひしたい。

〈成 果〉

- ・ 身近な材料を使ったおもちゃづくりに取り組む子供たちが、嬉々として作り、遊ぶ活動に、地域の方もやりがいを感じており、教育的効果も大きい。

〈課 題〉

- ・ 支援者の高齢化により、今後の活動が難しくなっていくのではないかとと思われる。複数人での実施や学習内容等も考慮していく必要がある。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 学校行事支援、郷土の伝承活動支援、教科学習支援、環境整備支援等、多岐に渡り取組内容が豊富であるので、多くを地域の方々に周知すべく「事業便り」を毎月発行している。

〈今後の取組〉

- ・ 登録していただいている支援者の高齢化から、実際に要請への対応可能な支援者が固定化しており、新規登録啓発の手立ての工夫が今後も必要である。

生見小学校【喜入・前之浜・生見本部】

支援活動例

■活動名	高齢者との触れ合い学習
■活動分類	学習支援（総合的な学習の時間）
■場 所	校庭
■学年・児童数	4年以上 12人
■期 日	11月9日（土）
■ボランティア数	地域住民7人
■支援内容	子供たちと地域の老人クラブ「どんぐり会」の皆さんとの交流を深めるための活動で、グラウンドゴルフを実施



〈児童の感想〉

- ・ 地域の高齢者の皆さんと一緒にグラウンドゴルフができて楽しかった。仲よくなったので、朝のあいさつなど、はかずかしがらずにどんどんしていきたい。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 少ない人数であるが、色々な事に一生懸命取り組んでいる子供たちの姿に元気をもらっている。教えたことを素直に聞き、上達も速くびっくりした。

〈教職員の感想〉

- ・ 地域の皆さんと触れ合う機会が少ないので、子供たちは高齢者の皆さんとの交流を楽しみにしている。優しい言葉を掛けてもらったり、ルールややり方等詳しく教えてもらったりしてうれしそうであった。今後の活動に生かしていきたい。

〈成 果〉

- ・ 高齢者と子供たちが交流することによる相乗効果は大きい。グラウンドゴルフは高齢者も教えやすく、子供たちも高齢者に敬意をもって接していた。

〈課 題〉

- ・ 高齢化及び健康問題により、老人クラブ「どんぐり会」の皆さんの会員数が減ってきている。今後、人数の確保が難しくなってくる。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 総合的な学習の時間での高齢者との交流活動支援や学校行事での運動会前の環境整備作業支援、地域内の史跡巡り支援、持久走大会や試走の安全見守り等多くの支援に協力が得られている。

〈今後の取組〉

- ・ 地域住民の事業への一層の理解を図るとともに、ボランティア新規登録者確保を推進しつつ、学校職員への事業活用意識の啓発にも一層努めていきたい。

春山小学校【春山・石谷本部】

支援活動例

■活動名	緑陰読書会
■活動分類	学習支援（読み聞かせ）
■場 所	屋内運動場
■学年・人数	3年 94人
■期 日	7月13日(土)
■ボランティア数	保護者16人
■支援内容	読み聞かせ・劇等



〈児童の感想〉

- ・ 浦島太郎の人形劇がおもしろかった。
- ・ プロジェクターを使った読み聞かせや手遊び歌等もあって楽しかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 練習の成果を十分に出すことができてよかった。
- ・ 子供たちも喜んでいたので、今後も続けていきたい。

〈教職員の感想〉

- ・ 3年生のこの催しをみんな楽しみにしていて、毎年いい企画だと思う。
- ・ 読み聞かせグループ「れんげそう」の皆さんには、準備から事前の練習まで時間をかけて実施していただき、大変ありがたい。

〈成 果〉

- ・ 何よりも子供たちが喜んで参加していて、心に届く活動である。
- ・ 子供たちが、みんな集中して鑑賞しているのが素晴らしい。
- ・ 読み聞かせグループの皆さんの達成感が感じられる。

〈課 題〉

- ・ 大型扇風機を使用するが、暑さ対策が必要である。
- ・ 今後、他の学年にも広げていけたらよい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 2年生は、「さつまいもの苗植え・収穫」（生活科）、3年生は「そばの種まき・収穫、そば打ち・試食」、4年生は「田植え・稲刈り、餅つき」、5年生は「桜島大根の栽培」、6年生が「お茶の学習」と生活科・総合的な学習の時間の計画がしっかりできている。それぞれにボランティアの方々がしっかり支援してくれている。

〈今後の取組〉

- ・ ボランティアの高齢化が進み、後継者の確保が急務となってきている。

石谷小学校【春山・石谷本部】

支援活動例

■活動名	習字（毛筆）
■活動分類	学習支援（国語科）
■場 所	各教室
■学年・人数	3年 92人
■期 日	5月15日（水）～6月27日（木）
■ボランティア数	保護者36人
■支援内容	毛筆指導の補助



〈児童の感想〉

- ・ ボランティアの方々が教えてくれたので、書き方が分かった。
- ・ いつもより上手に清書をすることができた。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 小学生と一緒に習字の学習をする機会はめったにないので楽しくできた。
- ・ 子供たちが熱心に取り組んでいて、感心すると同時にうれしかった。

〈教職員の感想〉

- ・ 準備や後片付けの時間が短縮できて、指導の時間を十分に確保できた。
- ・ 道具の扱い方など基本的なことを指導してもらったので効果的だった。

〈成 果〉

- ・ 子供たちが、いつもより意欲的に取り組んでいた。
- ・ ボランティアの皆さんに褒めてもらえたことが、子供たちの達成感につながっていた。
- ・ 参加した保護者が、我が子の学習の様子を参観できるよい機会となっていた。

〈課 題〉

- ・ 一クラスに入るボランティアの人数をもう少し確保できるとよい。
- ・ 事前の打合せの時間を、もっと確保したい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 例年の活動以外に、本年度は、調理実習や図画工作科のボランティア活動もこなわれ、活動に広がりがあった。
- ・ 校区の偉人、町田久成ゆかりの地史跡巡りを5年生がおこない、地域と一体となったボランティア活動が推進されている。

〈今後の取組〉

- ・ 登録者の高齢化が進み、後継者の確保が急務である。

郡山小学校【郡山・南方・花尾本部】

支援活動例

■活動名	新1年生下校見守り
■活動分類	登下校時安全指導
■場所	郡山小 → 校区内各所
■学年・人数	1年1組 37名
■期 日	4月9日（火）～5月8日（水）
■ボランティア数	地域住民8人、保護者3人 延べ人数115人
■支援内容	下校時の安全確保



〈児童の感想〉

- ・ おじちゃんやおばちゃんといっぱいお話をして、仲良くなれてうれしかった。
- ・ 交差点では、必ず止まって右と左をしっかり見るように教えてもらった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ かわいい会話にほんのり温かい気持ちになり、参加してよかったと思う。
- ・ 突然走り出す子供がいて、危険を感じた。複数人数で見守りたい。

〈教職員の感想〉

- ・ 入学初期の子供の下校は、他の学年より早い時間帯なので心配だが、見守りの方々が一緒に帰ってくださることで安心でき、感謝している。

〈成 果〉

- ・ 下校時の安全が確保され、保護者も教師も安心できている。
- ・ 新1年生が入学当初に交通ルールを知り、安全に登下校するための貴重な学びの場となっている。

〈課 題〉

- ・ 昨年度よりも、地域ボランティアの方が、高齢や病気等のために5名減っている。来年度に向け、協力者を早急に探す必要がある。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 来校者が通る玄関の掲示板に支援だよりを掲示するようコーナーを設けた。郡山小だけでなく、南方小、花尾小の活動の様子も掲示している。

〈今後の取組〉

- ・ 人材を確保するために、学校運営協議会、入学説明会、PTA総会、地域コミュニティ協議会役員会など各会合の場で啓発し、連絡の仕方を明確にする。
- ・ 人材募集ポスターを多くの事業所に掲示していただくよう働き掛ける。

南方小学校【郡山・南方・花尾本部】

支援活動例

■活動名	郡山の農業
■活動分類	学習支援（社会科）
■場 所	茶園水耕ファーム
■学年・人数	3年 11人
■期 日	7月17日（水）
■ボランティア数	地域住民2人、障害者施設6人
■支援内容	小松菜の育て方



〈児童の感想〉

- ・ スポンジの中に種が入っていて驚いた。小松菜の種を植付ける方法をファームの方が丁寧に教えてくれてうれしかった。
- ・ 給食に野菜が出たら、残さずおいしく食べたい。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 子供たちと触れ合えることで、農園で働いている人たちの自信につながる。
- ・ よい子が多く、決まりを守って、しっかり見学してくれてありがたかった。

〈教職員の感想〉

- ・ 給食センターに卸す野菜ということもあり、子供たちは身近に感じていた。
- ・ 障害のある方々が働いており、子供たちとの貴重な触れ合いの場となった。

〈成 果〉

- ・ 小松菜に限らず様々な野菜を育てており、それぞれに育て方の工夫があり、農業で作物を育てることの大変さを感じることができた。
- ・ 会話をしたり手本を示したりすることで、活動に集中することができた。

〈課 題〉

- ・ 校区内ではあるが、学校からファームまでの道のりが遠く、また移動のための手段確保が難しい。（公共バスの便数）。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 職員に活動メニューを年度初めに提示し、当該学年の教科指導やその他の教育活動の中でのボランティア活用の見通しがもてるようにした。
- ・ 「支援便り」やサンエールフェスタ展示用の掲示物を学校玄関入口に掲示している。

〈今後の取組〉

- ・ 打合せメモを作成し、事前打合せ時間を短縮するように努めていきたい。
- ・ 先生方の実施したい活動をサポートできるよう、様々な機会を捉えて人材探しを継続していきたい。

花尾小学校【郡山・南方・花尾本部】

支援活動例

■活動名	雅楽（越天楽今様）
■活動分類	学習支援（音楽科）
■場所	音楽室
■学年・人数	5・6年 11人
■期 日	3月8日（金）
■ボランティア数	地域住民2人
■支援内容	越天楽今様の歌詞の情景描写、歌唱披露



〈児童の感想〉

- ・ 越天楽は難しそうだけど、昔の時代に流行った曲だと分かり、親しみがもてた。
- ・ 先生の歌の声が大きく、音楽室に響き渡ってすごかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 歌詞は、難しいところもあったが、情景を想像しながら理解できたと思う。
- ・ 谷川俊太郎の作った詩の歌を披露したが、原作本はどこにあるかなど子供から質問があって、興味をもってくれたことがうれしかった。

〈教職員の感想〉

- ・ 歌詞の意味を考えたり、植物や生き物の季節を考えたりしながら当時の情景を想像していた。

〈成 果〉

- ・ ご夫婦で来られた郡山在住のボランティアの方が、音楽教育を専門にされた方で、奥様のピアノ教室に通う子もおり、親しみをもって学習に取り組めた。
- ・ 貴重な生の歌『死んだ男の残したもの』を聴けて大きな感動を得た。

〈課 題〉

- ・ 実施時期が3月中旬であったため、お礼の手紙など書く時間がとれなかった。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 職員に本校で行う活動メニューを年度初めに提示し、アンケートをとった。
- ・ 校舎2階の壁面にコーナーを設け、「ボランティア支援便り」やサンエールフェスタ展示用の掲示物を掲示し、来校者が見られるようにしている。

〈今後の取組〉

- ・ 打合せメモを作成し、事前打合せ時間を短縮するように努めていきたい。
- ・ 先生方の実施したい活動をサポートできるように、様々な機会を捉えて人材探しを継続していきたい。

清和小学校【清和・西谷山本部】

支援活動例

■活動名	ナップサックづくり
■活動分類	学習支援（家庭科）
■場所	家庭科室
■学年人数	6年 159人
■期日	6月24日（月）～7月12日（金） 8日間
■ボランティア数	地域住民24人、保護者22人 延べ人数98人
■支援内容	ミシン操作補助



〈児童の感想〉

- ・ 「上手に縫えるようになったね。」と褒められ、うれしかった。
- ・ 自分で作ったナップサックを修学旅行に持って行って歩き回りたい。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 子供たちが一生懸命取り組み、上手にナップサックを完成させたときの笑顔が素敵だった。お礼を言ってもらい、私もうれしくなり元気をもらうことができた。

〈教職員の感想〉

- ・ 全員がナップサックを作り上げることができてよかった。
- ・ 子供たちだけではなく、私も地域の方々と交流できてうれしかった。

〈成果〉

- ・ ミシンのトラブルが途中で何回か起こることがあったが、トラブルを解消できるボランティアがいたため、全員がスムーズにナップサックづくりを進めることができた。

〈課題〉

- ・ 裁縫やミシン操作を苦手とする保護者が多く、協力者が少なくなっているため、地域ボランティアの協力者を増やしていきたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ クラブ活動として、簡易ラジオの製作を地域住民の協力でおこなっている。
- ・ 校区内の長寿会や高齢者クラブ、女性学級、民生委員児童委員等の団体と連携して「昔の遊び」をおこなっている。

〈今後の取組〉

- ・ 4月当初に1年間の支援要請について、学校側と打合せを綿密におこない、多くのボランティアを活用してもらえるようにしたい。また、日頃から、要望に対応できるように、ボランティアの確保に努めたい。
- ・ 家庭科室の廊下に家庭科や昔遊び、クラブ活動、登下校の安全確保などのボランティア活動の写真を掲示し来校者等へのボランティア事業の広報に努めている。

西谷山小学校【清和・西谷山本部】

支援活動例

■活動名	水遊びの見守り・水泳の学習支援
■活動分類	学習支援（体育科）
■場所	プール
■学年・人数	1・3・5・6年9学級 296人
■期日	6月3日(月)～7月18日(木)
■ボランティア数	地域住民5人、保護者4人 延べ人数121人
■支援内容	プール学習の見守り・水泳指導の補助



〈児童の感想〉

- ・ プールは嫌いだったけど、「こわくないよ。」と言ってもらい、安心して入れた。
- ・ ボランティアの方に泳ぎ方を丁寧に教えてもらい、25m泳げるようになった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 私が教えることで、泳力が向上し、子供たちが喜ぶ姿を見ることができた。また、触れ合うことで元気をもらい、やりがいを感じた。

〈教職員の感想〉

- ・ ボランティアの方が見てくださるという安心感があり、入水して個別指導をおこなうことができるようになった。安全面、技術面で大きく向上できた。

〈成果〉

- ・ 水泳学習の安全が確保され安心して実施でき、個別指導もできるようになった。
- ・ 高学年への技術指導は、個人差への対応に効果があった。特に、平泳ぎが正しくできるようになった子供が多くいた。

〈課題〉

- ・ 水泳学習でのボランティア活用は全体の三分の一程度の学級なので、さらに多くの学級で活用してもらえるように支援のよさを職員に理解してもらいたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 地域コミュニティ協議会の中に、学校から依頼のあったボランティア活動に必要な人材を紹介してくれる担当者があるので、人材確保がスムーズにできている。
- ・ 実施したボランティア活動の写真を校長室近くの掲示板や体育館、校区公民館に掲示し、来校者や職員、子供たち等へのボランティア事業の広報に努めている。

〈今後の取組〉

- ・ 昨年度から、水泳の泳ぎ方指導やプールの見守りなど支援活動が始まったので、新たなボランティアの確保に努めたい。

桜丘西小学校【桜丘西・桜丘東本部】

支援活動例

■活動名	あの人に会いたいな（町たんけん）
■活動分類	学習支援（生活科）
■場 所	校外（校区内）
■学年・人数	2年 59人
■期 日	11月1日（金）
■ボランティア数	地域住民5人 延べ人数15人
■支援内容	班別の児童引率支援と安全見守り



〈児童の感想〉

- ・ 地域の方が一緒だったので、安心して歩くことができとても助かった。
- ・ ボランティアの方と校区内の店や施設などの町たんけんができて楽しかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 子供たちと町の様子について楽しく学習しながら、たくさんの元気をもらった。
- ・ 安全面に配慮して、子供たちと楽しく触れ合うことができよかった。

〈教職員の感想〉

- ・ ボランティアの方々にグループごとについてもらい、しっかりと後ろから安全確認をしつつ移動できたので、とてもありがたかった。

〈成 果〉

- ・ 各グループにボランティアの方々に入ってもらい、移動途中での安全確保及び施設や店等の外で待機する児童の安全管理をしっかりとおこなうことができた。
- ・ 学習を通して子供たちが地域の方々を知り、楽しく触れ合うよい機会となった。

〈課 題〉

- ・ 交通量の多い道路や横断歩道について、今後もさらに地域の方々の協力をいただき、しっかりと安全確保に努めていきたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 読書月間（11月）に、読み聞かせグループ「さくらっこ」のみなさんの協力により、全学年において読み聞かせを実施している。子供たちの読書への興味・関心の高まりがみられ、豊かな情操の育成へとつながっている。

〈今後の取組〉

- ・ 支援要請に応じた新規ボランティア登録者の確保に努め、学校との連携を工夫しながら事業の拡充を図りたい。

桜丘東小学校【桜丘西・桜丘東本部】

支援活動例

■活動名	読み聞かせ
■活動分類	学習支援（読み聞かせ）
■場 所	教室
■学年・人数	全学年 404人
■期 日	6月～3月（11回）
■ボランティア数	地域住民 延べ人数71人
■支援内容	朝の読書タイムでの読み聞かせ



〈児童の感想〉

- ・ 毎回、地域の方々にいろいろな本を読んでいただき、とても楽しい時間だった。また、手遊び歌に合わせてみんなで手や体を動かして遊ぶのも楽しかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 子供たちが、目を輝かせてお話の世界に入り込んでくるのを感じながら、楽しく読み聞かせをさせてもらった。また、手遊び歌も一緒に楽しくできてよかった。

〈教職員の感想〉

- ・ 子供たちは、毎回の読み聞かせをとっても楽しみにしている。読み聞かせグループ「やまもの木」の方々が、学年や季節に応じて本の選定や準備に工夫をしてくださり、子供たちが本の世界を楽しむよい時間になっている。

〈成 果〉

- ・ 読み聞かせの時間を毎回楽しみにしている子供たちが多い。
- ・ 学年に応じた内容で読み聞かせを工夫してくださり、子供たちの本への関心や読書意欲が高まった。

〈課 題〉

- ・ 実施回数が、以前よりも減少傾向にあるが、学年に応じた読み聞かせの工夫・改善をさらに図っていきたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 読み聞かせグループ「やまもの木」のみなさんによる朝の読み聞かせ活動が、年間を通して計画的におこなわれている。
- ・ 毎年、おやじの会制作の「緑門」により運動会を盛り上げている。

〈今後の取組〉

- ・ 学校や地域との連携・協働により、ボランティア事業の改善・充実に努め、支援要請に対応していきたい。

大龍小学校【大龍・清水本部】

支援活動例

■活動名	あの人に会いたいな（町探検）
■活動分類	学習支援（生活科）
■場 所	大龍小校区内
■学年・人数	2年1組・2組 48人
■期 日	10月18日（金）
■ボランティア数	保護者7人、地域住民9人 延べ人数32人
■支援内容	グループ毎に町探検をする児童の引率や安全管理 お店や施設等での見学や質問の支援



〈児童の感想〉

- ・ ボランティアの人が一緒だったので、お店などで自信をもって質問ができた。
- ・ 道路を歩くときや横断歩道を渡るとき、安全に気を付けてくれたので、安心して町探検ができてよかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 一緒に店や施設を回りながら、子供たちと楽しく触れ合うことができた。
- ・ 子供たちの活動や質問するときの様子を知ることができてよかった。

〈教職員の感想〉

- ・ ボランティアの方々に各グループと一緒に回ってもらい、安全に活動することができた。また、回る時の時間配分や店等での支援をしてもらい大変助かった。

〈成 果〉

- ・ 道路の歩き方や横断歩道の渡り方など、校外学習における安全指導ができた。また、あいさつの仕方や質問するときのアドバイスをもらうことができた。

〈課 題〉

- ・ グループごとに活動するため、事前の打合せを十分にしておき、子供たちの活動が安全で、さらに充実したものになるようにしたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 町探検や昔遊び、持久走大会の安全確保などでは、多くの支援が得られた。また、福祉体験や自主研修学習、NHK放送局見学の引率などのボランティア活動も実施できた。毎月の読み聞かせ活動や朝の見守り運動などが定着している。

〈今後の取組〉

- ・ 読み聞かせや教科学習、校外学習など、特定のボランティアに依頼することが多いので、新たなボランティアの人材確保に努めたい。

清水小学校【大龍・清水本部】

支援活動例



■活動名	そろばん（4年）
■活動分類	学習支援（算数科）
■場 所	4年教室
■学年・人数	4年1組・2組・3組 96人
■期 日	1月10日（水）・12日（金）
■ボランティア数	地域住民3人、保護者2人 延べ人数27人
■支援内容	そろばんの数の表し方や指の使い方の支援 たし算やひき算の仕方の支援

〈児童の感想〉

- ・ 繰り上がりや繰り下がりの計算の仕方など、ていねいに教えてもらい、分かりやすかった。数の表し方や指の使い方もできるようになってうれしかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 子供たちが懸命に取り組む姿や成長の様子を見ることができてうれしかった。
- ・ 子供たちと一緒に自分自身もそろばんの使い方などを学ぶことができた。

〈教職員の感想〉

- ・ そろばんの指の使い方や難しい計算の仕方を教えてもらいながら指導ができた。
- ・ 担任一人では個別の指導が十分に行き届かないところを、ボランティアの方々が支援してくださったので、大変助かった。

〈成 果〉

- ・ そろばんの基本的な使い方や計算の仕方などの技術が向上した。特に、難しい計算等の学習において個別に対応できるため、子供たちへの指導が行き届いてよかった。

〈課 題〉

- ・ 効果的に指導を進めるために、事前の打合せの時間が確保できるとよい。要請する時期や日程等が早めに分かるように連絡・調整をしていきたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 家庭科の学習支援や体力テストの補助、スケッチ大会等の校外学習の引率、保健関係の行事の補助など、ボランティアの活用が推進されている。また、朝の読み聞かせ活動も計画的に実施している。

〈今後の取組〉

- ・ 昨年度からの校舎改修工事の影響で一部の活動が調整されたが、充実した活動が実施された。学校の支援要請に対応できるように連絡・調整していきたい。

荒田小学校【荒田・八幡本部】



支援活動例

■活動名	スケッチ会
■活動分類	学習支援(図画工作科)
■場所	甲突川畔 武之橋公園 荒田八幡 加治屋まちの杜公園
■学年・人数	4年・5年・6年 215人
■期日	5月10日(金)
■ボランティア数	地域住民6人
■支援内容	スケッチ場所への経路及びスケッチ場所での安全見守り

〈児童の感想〉

- ・ ボランティアの方々が見守ってくださったので、安心して描くことができました。おかげで自分で満足する絵が描けた。

〈ボランティアの感想〉

- ・ のびのびと絵を描く子供たちの姿を見て、安らぎを覚えた。子供たちから元気をもらった。

〈教職員の感想〉

- ・ スケッチ場所が広範囲で、しかも河畔であったことから、安全面に細心の注意を払う必要があったが、ボランティアの皆様の見守りがあり、無事に実施できた。大変ありがたかった。

〈成果〉

- ・ 4か所に分かれたが、多くのボランティアの方々が分担・支援してくださり、校外での活動を無事に実施できた。

〈課題〉

- ・ 筆が進まない子供への声掛けなど、担任による指導を必要とする児童がいる。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 民生委員児童委員協議会や校区コミュニティ青少年育成部会、保護者、大学生等の協力をいただき推進している。

〈今後の取組〉

- ・ 地域住民の高齢化、保護者の就業等によるボランティアの減少について、対応を検討していきたい。(広報や募集の仕方の工夫等)

八幡小学校【荒田・八幡本部】

支援活動例



■活動名	「昔探しの旅」(昔の遊びをしよう)
■活動分類	学習支援(総合的な学習の時間)
■場 所	体育館
■学年・人数	3年 105人
■期 日	2月15日(木)
■ボランティア数	地域住民13人
■支援内容	高齢者から昔の話を聞いたり、昔の遊びを体験したりする。

〈児童の感想〉

- ・ 地域のおじいちゃん・おばあちゃんから、紙鉄砲・竹とんぼ・けん玉・あやとり・おはじき・かぶと等、たくさんの昔の遊びを教えてもらい、一緒に遊ぶことができ、とても楽しかった。また遊びたい。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 孫のような子供たちと一緒に、童心に帰って、楽しい時間を過ごすことができました。夢中になって遊ぶ子供たちの姿がほほえましかった。

〈教職員の感想〉

- ・ 昔の八幡校区の様子や昔の遊び方などを教えていただいたり、一緒に遊んでいただいたりして、楽しく活動できた。子供たちも満足していた。

〈成 果〉

- ・ お達者クラブの皆様をはじめ、たくさんの方々に支援していただき、12種類の昔の遊びに子供たちが熱中して楽しく活動ができ、地域の方々との交流もできた。

〈課 題〉

- ・ 遊びの種類ごとのグループ編成や活動の時間配分、遊び道具の準備(種類・数量等)、支援者の確保について検討していく必要がある。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 民生委員児童委員協議会や校区コミュニティ協議会の部会、保護者・大学生等の支援により、多くの学校支援活動ができている。

〈今後の取組〉

- ・ 学校からの多様な支援要請に対応できるようにボランティアの確保に努めたい。

宇宿小学校【宇宿・南本部】

支援活動例

■活動名	読書まつり
■活動分類	学習支援（読み聞かせ）
■場 所	体育館
■学年・人数	全校児童 550人
■期 日	6月21日（金）
■ボランティア数	地域住民7人
■支援内容	読み聞かせ



〈児童の感想〉

- ・ みんながよく知っているお話でも、劇を交えながら進めてくれたのでとても楽しかった。
- ・ 近所の方が読み聞かせをしてくれたのでいつもと違った雰囲気興味深かった。これからもいろんな本を読みたい気持ちになった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 子供たちが楽しそうに聞き入る様子を見て、とてもうれしかった。この日のために練習した成果が出せてよかった。

〈教職員の感想〉

- ・ ボランティアの方々が子供たちのためにいろいろ工夫をしてくださり、ありがたく感じている。

〈成 果〉

- ・ 読書まつりは毎年恒例の行事となっている。ボランティアの方々が意欲的に活動してくれており、子供たちの読書意欲の向上につながっていると感じる。

〈課 題〉

- ・ ボランティアとして協力してくれるメンバーが固定化している。誰でも気軽に参加してくれるような広報のあり方を考えていきたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 「宇宿の子供は地域で守り、地域で育てる。」という言葉が示すように、地域ぐるみで子供を見守るという意識が高い校区である。登下校時の安全指導や学校行事のほか地域のイベント等でボランティアが活動する場が多い。

〈今後の取組〉

- ・ 学校や地域コミュニティ協議会との連携を深めながらボランティアの新規登録を増やすとともに学校職員へのボランティア活用も促進していきたい。

南小学校【宇宿・南本部】

支援活動例

■活動名	新1年生の下校指導
■活動分類	登下校安全指導
■場所	校区内通学路
■学年・人数	1年 40人
■期 日	4月9日（火）～12日（金）
■ボランティア数	地域住民7人、保護者4人、計11人 延べ人数31人
■支援内容	下校時の安全確保、通学路の危険箇所確認



〈児童の感想〉

- ・ 安全な道路の渡り方や登下校中に気を付けないといけないことをいろいろ教えてもらった。
- ・ ボランティアの人と話しながら楽しく帰ることができた。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 先生方や児童クラブの方々が帰るコースごとに子供たちを集めてくださり、スムーズに進めることができた。
- ・ この時期は毎年協力させてもらっている。かわいい新1年生と話しながら歩くことが楽しみである。

〈教職員の感想〉

- ・ 交通量の多い通学路があり、子供たちが安全に下校できるよう協力してくださるボランティアの方々には感謝している。

〈成 果〉

- ・ 毎年、この時期になると民生委員や保護者の方々が中心となって、新1年生が安全に登下校できるよう指導して下さっている。子供たちの交通安全に気を付けようとする意識を高める機会となっている。

〈課 題〉

- ・ 今後も、地域住民や保護者、校区コミュニティ協議会との連携を図りつつ、登下校時の安全指導を徹底していきたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

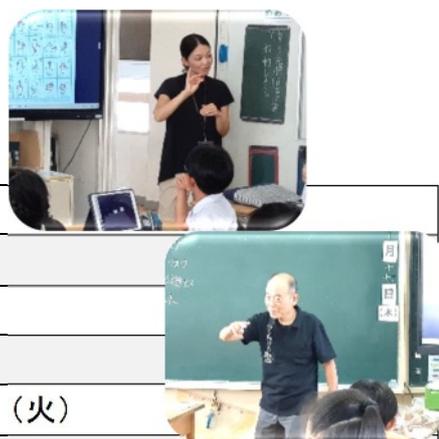
- ・ 本校区は交通量の多い場所に位置しており、事故防止のため、登校時には地域住民や企業の方々が自主的に見守り活動をしてきている。

〈今後の取組〉

- ・ ボランティア登録者が様々な活動で協力することができるよう、学校職員への呼び掛けを今後も進めていきたい。

原良小学校【原良・草牟田本部】

支援活動例



■活動名	特別活動（手話クラブ）
■活動分類	学習支援（クラブ活動）
■場 所	5年3組教室
■学年・人数	4年～6年 16人
■期 日	10月16日（水）、1月28日（火）
■ボランティア数	地域住民1人、保護者1人 延べ人数4人
■支援内容	「手話クラブ」で手話の補助支援

〈児童の感想〉

- ・ 聴覚障害者の方と直接話ができ、手話をもっと身近に感じる事ができた。
- ・ 聴覚障害者の方が来られたおかげで新しい手話をより知ることができた。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 手話で勉強した名前を聴覚障害者に自己紹介したとき恥ずかしそうだったことや、自信がなさそうな子供たちが、手話に通じた時に見せるうれしそうな笑顔がとても印象的だった。

〈教職員の感想〉

- ・ 聴覚障害者の方とコミュニケーションをとることでやりがいを感じられた。
- ・ 指導の難しい手話について実際に教えていただくよい機会となった。

〈成 果〉

- ・ 実際に聴覚障害者の方が教えてくださり、教師だけでは、指導の難しい手話を学ぶことができた。また、子供たちは、手話を学ぼうと意欲的で真剣に楽しく取り組むことができた。

〈課 題〉

- ・ クラブ活動日の日程調整を確認し、ゆとりをもって活動できるよう支援者との連携をより密に図っていききたい。（校時変更の確認・連絡）

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 保護者・地域住民による支援（生活…昔の遊び、家庭…ソーイング・ミシン操作、体育…水泳・持久走大会、総合…原良の昔、特別活動…手話クラブ、読み聞かせ…全学年、運動会…おはら節の全校ダンス）をおこなっている。

〈今後の取組〉

- ・ 地域住民と保護者の新規登録者の募集・事業の啓発を推進していききたい。
- ・ 継続的支援（毎年実施）の充実や支援授業計画の改善を図っていききたい。

草牟田小学校【原良・草牟田本部】

支援活動例



■活動名	箏の体験学習
■活動分類	学習支援（音楽科）
■場 所	音楽室
■学年・人数	4年 77人
■期 日	2月14日（水）
■ボランティア数	地域住民1人、大学生1人 延べ人数6人
■支援内容	「日本の楽器に親しみましょう」で箏の体験学習



〈児童の感想〉

- ・ 箏を弾けたときの喜びが心に残った。先生の演奏がとてもきれいだった。
- ・ 貴重な体験ができうれしかった。優しく分かりやすく教えてくれた。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 「さくらさくら」を弾けるよう、集中して取り組む姿を見て感心した。「楽しかった。きれいな音で弾けた。」などの感想にやりがいを感じ、授業だけでなくクラブ活動等できたらと思った。

〈教職員の感想〉

- ・ 支援の先生が各班を回り、演奏の仕方のコツなど丁寧に教えてくださりありがたかった。「もののけ姫」の演奏で箏の音色に真剣に耳を傾ける姿が印象的だった。

〈成 果〉

- ・ 箏の演奏を生で聴き、「さくらさくら」を実際に弾く貴重な経験ができた。
- ・ 初めて箏の音色を聞き美しく素敵な音色に驚き感動する児童が多く、一生忘れられない体験活動になった。

〈課 題〉

- ・ 支援者の多忙な日程の中で箏の体験活動ができるよう日程調整をおこなう。
- ・ 体験時間が充実するように箏の数を確保する必要がある。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 保護者・地域住民による支援（国語科…毛筆、生活科…町探検、体育科…水泳運動、総合的な学習の時間…郷土の行事、校区史跡巡り、クラブ活動…生花・茶道）をおこなっている。

〈今後の取組〉

- ・ 継続的支援者の確保と新規登録者の啓発をさらに推進していきたい。
- ・ 各学年のボランティア事業内容の拡大をより一層図っていきたい。

玉江小学校【玉江・犬迫本部】

支援活動例



■活動名	ミシンで楽しくソーイング
■活動分類	学習支援（家庭科）
■場 所	家庭科室
■学年・人数	5年 125人
■期 日	9月10日(火)～9月13日(金)（各学級2時間ずつ）
■ボランティア数	地域住民10人、保護者4人 延べ人数14人
■支援内容	ミシンの基本的操作

〈児童の感想〉

- ・ たくさんのボランティアの方がいて、いろいろ手助けしてもらいよかった。
- ・ 親切に教えてもらい、ミシンの基本的な操作ができるようになった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 子供たちが真剣にミシンに向かう姿が大変うれしかった。
- ・ 明るく、素直な子供たちで、一緒に活動できて楽しかった。

〈教職員の感想〉

- ・ 糸かけの一番大切で難しいところを教えていただき、大変助かった。
- ・ ミシンの不具合などのアクシデントにも適切に対応していただき、大変ありがたかった。

〈成 果〉

- ・ 何年ぶりかのボランティア要請であったが、地域・保護者の協力を得ることができ、子供たちの基本的なミシン操作の手助けができたのはよかった。
- ・ ミシン操作など技術的な面での支援は、担任だけでは届かず不十分であるため、今後も是非ボランティアの要請をしていただくよう働き掛けたい。

〈課 題〉

- ・ 家庭科室の空調の故障で、予定していた残りの4日間が中止となり残念だった。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 読み聞かせ・下校指導、算数科学習支援などは、継続的に実施でき、活動も定着してきている。他の分野についても支援要請を拡大していきたい。

〈今後の取組〉

- ・ 昨年度まで恒例として実施してきた書き初め大会が、終了することとなった。伝統的な行事がまた1つ終了したのは、たいへん残念なことである。
- ・ 登録者の高齢化に伴い、人材バンクの見直しを随時進めていく。

犬迫小学校【玉江・犬迫本部】

支援活動例

■活動名	読み聞かせ
■活動分類	学習支援（読み聞かせ）
■場所	各教室
■学年・人数	1～6年 69人
■期 日	5月～3月 年間11回
■ボランティア数	保護者5名 延べ人数50人
■支援内容	読み聞かせ



〈児童の感想〉

- ・ パンジーのお母さん方が、いろいろな本を選んでくれて、みんなが喜ぶように工夫してくださっている。楽しい時間をいつもありがとうございます。
- ・ 月1回の読み聞かせ、今日はどんな話かなあと毎回とても楽しみだ。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 子供たちが真剣に、目を輝かせて聞いてくれるので、毎回読み聞かせを楽しんでいる。会員をもっと増やしたい。
- ・ 子供たちに楽しんでもらえるよう、次はどんな本にしようか選書も楽しみにしている。

〈教職員の感想〉

- ・ 子供たちは、毎回読み聞かせを楽しみにしている。大変ありがたいことである。

〈成 果〉

- ・ 「お話やパンジー」の読み聞かせ当日の打合せ等により、時期に合った、子供たちにとって内容の濃い読み聞かせが実施できている。
- ・ 今年も夏休みに家庭教育学級で読み聞かせを実施した。子供たちもたくさん参加してくれたが、保護者の会員確保につながってくればありがたい。

〈課 題〉

- ・ 読み聞かせ会員をもっと増やしたい。会員の確保が課題である。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 毎年、学校の花壇や学校近くのふれあい農園を活用して農作物の栽培を実施している。今後、学校と連携しながら、どのようなものを、どのような形で栽培していくか検討しながら進めていきたい。

〈今後の取組〉

- ・ これから、学校が支援を希望する分野の開発に努め、それに必要な校区の人材の確保に努めていきたい。

伊敷小学校【伊敷・小山田本部】

支援活動例



■活動名	ミシンで楽しくソーイング
■活動分類	学習支援（家庭科）
■場所	伊敷小学校家庭科室
■学年・人数	5年 66人
■期 日	9月30日（月）～11月15日（金） 計10日間
■ボランティア数	保護者・地域住民 延べ人数120人
■支援内容	ソーイング・ミシン操作指導及び補助

〈児童の感想〉

- ・ ミシンは初めてで困っているとき、すぐに詳しく教えてもらって助かった。
- ・ 失敗したとき、助けてもらった。トートバッグが仕上げられてうれしかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 毎年参加しているので、ミシンの操作や制作の流れが分かっているため子供たちと楽しく活動することができた。これからも参加したい。

〈教職員の感想〉

- ・ 今年は、ソーイングからミシン操作まで1カ月半に渡って支援していただき本当に助かった。全員が素晴らしい作品を製作することができて満足していた。

〈成 果〉

- ・ ソーイングからミシン操作補助まで一貫して支援していただいたことで、計画した時間内に円滑にソーイングが進み、課題のトートバッグを上手に作成することができた。

〈課 題〉

- ・ ミシン独特の微妙な調整が必要な場面が多かった。夏季休業中にミシンの状態を点検していたが、使用中に糸が絡むことがあった。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 年間を通してコンスタントに支援依頼があり、支援活動が充実している。特に、ふるさと先生から生活科や総合的な学習の時間に指導していただいている。

〈今後の取組〉

- ・ 本年度は、新規に6年生の家庭科でミシン操作補助が始まった。昨年度も5年生への支援経験があり、保護者も引き続き協力的であった。学校支援ボランティアの新規登録のきっかけにしていきたい。

小山田小学校【伊敷・小山田本部】

支援活動例

■活動名	読み聞かせ・口演童話
■活動分類	学習支援（読み聞かせ）
■場 所	教室
■学年・人数	1年 8人、2年 12人
■期 日	毎月1回、年11回
■ボランティア数	地域住民4人 延べ人数22人
■支援内容	朝読書の時間での読み聞かせや口演童話



〈児童の感想〉

- ・ たくさんの絵本をいつも楽しく読んでもらってとても楽しかった。
- ・ 本を使わない口演童話はいろいろな方言があっておもしろかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 毎回、楽しく熱心に聞いてくれるのでありがたい。もっと読み聞かせの方法を改善して子供たちを楽しませてあげたい。

〈教職員の感想〉

- ・ 毎回、子供たちが楽しみにしている朝読書なので、ボランティアの方に負けなように私たちも読み聞かせについて学ばせていただいた。

〈成 果〉

- ・ 読み聞かせをしてもらうことによって、図書室の利用促進につながっている。
- ・ 子供たちの読書に対する意欲や姿勢が向上していることを感じる。

〈課 題〉

- ・ 昨年度まで週2回実施していたが、本年度回数が大きく減少した。今後の朝読書の継続依頼と、学校支援ボランティアの方々の意欲の向上、後継者の育成に努めたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 郷土芸能の指導、安全見守り活動、読み聞かせなど多くの活動で地域の人材を活用している。

〈今後の取組〉

- ・ 他の教育活動にも多くの地域の方々の協力を得て、充実した学習活動を実践している。今後、地域学校協働活動がさらに充実するよう学校支援ボランティア事業の活用を図っていきたい。

伊敷台小学校【伊敷台・花野本部】

支援活動例

■活動名	読み聞かせ
■活動分類	学習支援(読み聞かせ)
■場 所	図書館
■学年・人数	転入生 8人
■期 日	4月8日(月)
■ボランティア数	保護者1人、地域住民3人
■支援内容	転入生への読み聞かせ



〈児童の感想〉

- ・ 最初は緊張していたけど、読み聞かせを聞いてだんだん落ち着いた。
- ・ 絵本の読み聞かせや人形を使った話、指遊びが楽しかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 子供たちが楽しそうに指遊びをしてくれたり、読み聞かせを聞いてくれたりしたので、私たちも楽しく活動できた。

〈教職員の感想〉

- ・ 転入生にとって、読み聞かせをしてもらうことで緊張した気持ちもほぐれるのではないかと思う。
- ・ 毎年お願いしているが、今後も続けていきたいと考えている。

〈成 果〉

- ・ 短い時間で3つほどのプログラムを実施できた。
- ・ 子供たちに読み聞かせへの興味・関心をもってもらう機会になった。転入生の保護者に対しても活動の一端を紹介することができた。

〈課 題〉

- ・ 絵本の選定やプログラムの内容をさらに充実していきたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 朝の読み聞かせは特色ある取組の一つであるが、保護者と卒業生保護者の連携、学校の理解と協力があって、継続できている活動である。
- ・ 教育活動への関心が高く、保護者のボランティアが充実している。

〈今後の取組〉

- ・ 地域の関係機関や団体との連携を一層深め、新しい人材の発掘に努めていきたい。(学校運営協議会、地域コミュニティ協議会、退職校長会、民生委員等)

花野小学校【伊敷台・花野本部】

支援活動例

■活動名	登校支援
■活動分類	学習支援
■場 所	心の居場所はぴねす
■学年・人数	4年 1人 5年 2人
■期 日	4月～3月（毎週火曜日）
■ボランティア数	保護者2人、地域住民3人、大学生3人
■支援内容	不登校支援



〈児童の感想〉

- ・ 自由に活動できて楽しい。
- ・ 幸せな場所、安心できる場所だと思う。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 不登校で悩んでいる子供たちが笑顔で活動したり、いろいろとお話をしてくれてうれしい。

〈教職員の感想〉

- ・ 子供たちが安心して学習や交流をおこなえる環境が整備されており、学校とのつながりを維持し、継続して登校できるようになっている。とてもありがたい。

〈成 果〉

- ・ 保護者や地域の方、大学生の支援をいただいて、事業数が著しく増加した。
- ・ さまざまな支援により、子供たちも意欲的に活動するようになってきている。

〈課 題〉

- ・ 特定の方に負担をかけがちになる。協力してくださる方が増えるように手立てを講じていきたい。
- ・ 今後とも人材の掘り起こしに努めていきたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 地域の関係機関や団体との連携により、ボランティア事業が円滑に推進できている。
- ・ 学校の先生方に本事業の趣旨が浸透しつつあり、幅広い活動ができるようになってきている。

〈今後の取組〉

- ・ 地域との連携を更に深め、人材の発掘、内容の充実に努めたい。

武小学校【武・中洲本部】

支援活動例

■活動名	お店ではたらく人
■活動分類	学習支援（社会科）
■場 所	近隣のスーパーマーケット
■学年・人数	3年 109人
■期 日	9月26日（木）・27日（金）
■ボランティア数	保護者20人 延べ人数20人
■支援内容	グループごとの引率補助、店での見守りや補助



〈児童の感想〉

- ・ ボランティアの方が、見つけた工夫を分かりやすく書くためにアドバイスをしてくれて、とても助かった。みんなで楽しく社会科見学ができた。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 子供たちと一緒に店の工夫を知ることができて、自分も大変ためになった。
- ・ 楽しかったので、また機会があったらこのような活動に参加したいと思った。

〈教職員の感想〉

- ・ ボランティアの方々のおかげで、子供たちは店内をグループで回り、積極的にインタビューや活動ができ、仕事の工夫を調べることができた。

〈成 果〉

- ・ 2クラスずつの校外学習であったが、多くのボランティアの支援や近隣のスーパーマーケットの皆様方の協力で、安全で充実した社会科見学になった。
- ・ 参加されたボランティアの方々にとっても有意義な支援活動になった。

〈課 題〉

- ・ 交通量の多い道路を通っていくために、多くのボランティアが必要になるので保護者だけでなく、ボランティア登録者にも幅広く協力を呼び掛けていきたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 地域の関係機関や団体の皆様方の本事業への理解と協力が深まり、本校の学校支援ボランティア事業が円滑に推進できるようになってきている。
- ・ 保護者や登録者からのボランティア活動への参加申込みが増えてきつつある。

〈今後の取組〉

- ・ 保護者や若い世代の地域住民の、ボランティア活動に対する理解と参加協力がもっと多く得られるように、啓発活動や参加協力依頼をおこなう必要がある。

中洲小学校【武・中洲本部】

支援活動例



■活動名	ソーイングで生活を豊かに
■活動分類	学習支援（家庭科）
■場 所	家庭科室
■学年・人数	6年 64人
■期 日	5月20日（月）・21日（火）
■ボランティア数	地域住民3人、学生1人、保護者12人 延べ人数32人
■支援内容	ミシンの操作補助、ナップサックづくりの補助

〈児童の感想〉

- ・ ミシン操作の仕方が分からなかったときに優しく教えてもらったので、それから上手に縫えて、丈夫なナップサックができた。とてもうれしかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 言うことを素直に聞いてくれ、また友達と協力しながら仲良く進めていたので、私たちも支援がしやすく、充実した時間になった。
- ・ ナップサックが完成した時の子供たちの笑顔がとても印象的だった。

〈教職員の感想〉

- ・ 進捗状況に差があるなかでボランティアの方々の支援により、ほとんどの子供たちが作品を完成させることができた。ご支援に大変感謝している。

〈成 果〉

- ・ 毎回協力してくださる方が、初めて支援に入る保護者にも適切なアドバイスをしながら支援してくださるので、ミシン操作の支援活動がスムーズにできている。

〈課 題〉

- ・ 支援中にミシンの不具合や下糸の不足などが時々あるので、担当教諭への事前のミシンのチェックや下糸の準備等細かな配慮をお願いしておきたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ ミシン操作支援活動や昔の遊びの支援活動では、毎回校区の女性学級長や成人学級長が会員に呼び掛けてくださるので、ボランティア活動への協力者の確保ができています。

〈今後の取組〉

- ・ 今後も比較的若い世代のボランティア登録者に積極的に協力を依頼したり、保護者への啓発活動や協力依頼をおこなったりしていきたい。

吉田小学校【吉田・本名・本城本部】

支援活動例

■活動名	校区の自然と歴史探訪会
■活動分類	学習支援（総合的な学習の時間）
■場 所	校区内
■学年・人数	3年 9人
■期 日	5月8日（水）
■ボランティア数	地域住民1人
■支援内容	地域の自然、遺跡や歴史についての説明



〈児童の感想〉

- ・ いつも何だろうと思っていた小野田用水のことが分かってよかった。
- ・ 吉田のことをたくさん教えてもらってよかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 旧吉田小跡地では、センドンの大樹の下にある「疎開の碑」の説明を特に熱心に聞いてくれた。
- ・ 小野田用水路の説明では、昔の人々の技術力の高さに感動していた。

〈教職員の感想〉

- ・ 吉田地域の歴史について、詳しく教えていただき、子供たちの学びになった。
- ・ ルートの事前調査や打合せなどをしていただき助かった。

〈成 果〉

- ・ 子供たちが講師の話をよく聞き、意欲的に学習できた。
- ・ 吉田地域を巡り、地域の遺跡や歴史を知ることで、地域への理解が深まった。
- ・ 子供たちが知っている講師であったので、つながりが深まった。

〈課 題〉

- ・ 多くのことを教えていただいたが、子供たちが後日まとめるのが難しかったのでまとめの手立てを講じていく必要がある。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 校区の自然や人材を生かした支援ボランティア活動が進められており、依頼に対し協力を惜しまないボランティアが多い。
- ・ 今年度は水害の体験から環境教育（防災）が新しい取組としてできた。

〈今後の取組〉

- ・ ボランティアが固定化しているので幅広い人材確保に努めていきたい。
- ・ 活動が広げられるよう学校と連携を深めていきたい。

本名小学校【吉田・本名・本城本部】

支援活動例

■活動名	稲刈り体験
■活動分類	学習支援（総合的な学習の時間）
■場所	校区内
■学年・人数	5年 34人
■期 日	10月30日（水）
■ボランティア数	保護者・地域住民3人
■支援内容	田植えや稲刈りの指導及び補助



〈児童の感想〉

- ・ いつも食べている米が長い時間かけて作られていることを知った。
- ・ 米を作るのにたくさんの人が関わっていることが分かった。感謝して食べたい。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 稲刈りのときみんなで協力する姿に感心するするとともに、子供たちの楽しそうな様子を見て田植えから稲刈りまで支援をしてよかったなと思った。

〈教職員の感想〉

- ・ 米づくり体験を通して農作業や食材への感謝、収穫の喜びなど多くのことを学ぶことができた。

〈成 果〉

- ・ 社会科の内容について、体験を通して深く理解できた。
- ・ 地域の方々の力添えを受け、地域に支えられていることを再認識できた。
- ・ 食材を生産している地域の方々への感謝の気持ちを育てることができた。

〈課 題〉

- ・ 田の管理について、子供たちの役割を適切に設定するのが難しく、地域の方に頼りきりになった。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 登下校の安全指導や学校行事（運動会や持久走大会等）の補助など、PTAによる支援が積極的におこなわれている。
- ・ 読み聞かせ、リコーダー指導など、校区外からの支援ボランティアの協力がある。

〈今後の取組〉

- ・ 教科の学習支援ボランティアは人材の高齢化が進んでいる。校区の団体や組織と連携し人材確保に努めたい。

本城小学校【吉田・本名・本城本部】

支援活動例



■活動名	地域の人とグラウンドゴルフをしよう
■活動分類	学習支援（総合的な学習の時間）
■場所	校庭
■学年・人数	全児童15人
■期日	9月27日（金）
■ボランティア数	地域住民54人
■支援内容	触れ合い活動

〈児童の感想〉

- ・一緒にグラウンドゴルフをやって楽しかった。
- ・ホールインワンを決めている人がいてすごいなと思った。

〈ボランティアの感想〉

- ・初心者の先生がいきなりホールインワンして子供たちがびっくりしていたのが印象的だった。
- ・子供たちの出し物は元気があってすばらしいものだった。

〈教職員の感想〉

- ・例年子供たちも楽しみにしているグラウンドゴルフを今年度も多くの方に参加していただき、実施することができた。

〈成果〉

- ・児童、職員を合わせた数よりも多くの方に参加していただき、普段できないような交流活動を実施することができた。
- ・特認校の児童も多く、地域の方々となかなかふれあう機会がないのでよかった。

〈課題〉

- ・グラウンドゴルフだけでなく、交流する時間も設定したい。
- ・この時期と一緒にグラウンドゴルフをする意義についてもっと認識させたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・吉田支所、吉田公民館と隣り合わせという学校環境から、これらの施設と連携した支援ボランティア活動がおこなわれている。
- ・小規模校であることから行事等が地域の組織と連携しておこなわれることが多い。

〈今後の取組〉

- ・P戸数、地域の世帯の減少などが地域の支援ボランティアの減少にもつながっているため、学校や地域組織との連携をさらに深めていきたい。

中名小学校【中名・瀬々串・一倉本部】

支援活動例

■活動名	わくわくミシン
■活動分類	学習支援(家庭科)
■場 所	家庭科室
■学年・人数	5年 18人
■期 日	10月10日(木)
■ボランティア数	地域住民7人、保護者1人 延べ人数16人
■支援内容	ミシンの実技指導等



〈児童の感想〉

- ・ エプロンを一緒に作ってくださりありがたかった。ミシンでまっすぐ縫うところが難しかったけれど、地域の方のアドバイスのおかげでだんだんと早く縫えるようになった。上手にできあがった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 子供たちは、分からないところをボランティアだけでなく友だち同士で手伝ったり相談したりしながら楽しそうにエプロンを製作していた。

〈教職員の感想〉

- ・ ボランティアの協力で、全員が時間内にエプロンを仕上げることができた。特に、ミシン操作の細かい作業や安全面について配慮をいただき、ありがたかった。

〈成 果〉

- ・ 班編成(3人×6班)に配慮し、ボランティアも8名で対応した。特に、ミシン操作における安全面や個別指導が適切になされた。時間内に仕上がり手づくりの良さを実感し、興味関心が深まり自宅でミシンを使ってみたいという声もあった。

〈課 題〉

- ・ 当日、ミシンの不備がないように、メンテナンス等を定期的にする必要がある。また、事前に実習内容をボランティアと情報共有をすることが大切である。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 本校は地域の多くのボランティア協力を得て、2年生が町探検・昔遊び、3・4年生がイモの栽培、5年生が米づくり(田植え・稲刈り・脱穀)・餅つき体験を実施している。
- ・ 校区内にあるENEOS喜入基地の事業として、「わくわく環境・科学教室」を5年生対象に実施し、エネルギーについて理解を深めている。

〈今後の取組〉

- ・ 地域コミュニティ協議会と一層の連携を図り、ボランティアの確保に努めたい。特に、地域学校協働活動という視点から再構築を図りたい。

瀬々串小学校【中名・瀬々串・一倉本部】

支援活動例

■活動名	昔遊び	
■活動分類	学習支援（総合的な学習の時間）	
■場 所	体育館	
■学年・人数	4年 21人	
■期 日	11月5日（火）	
■ボランティア数	地域住民8人 延べ人数16人	
■支援内容	昔の遊びの製作、遊び方の支援等	

〈児童の感想〉

- ・ 一番楽しかったのはささ船だ。ぼくにとって、家でゲームをするより昔遊びの方が楽しかった。これから、サッカーのバスを待つときにささ船を作りたい。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 思っていた以上に子供たちの製作意欲、技術が上がった。素直にアドバイスを聞き入れてもらったのでやりやすかった。

〈教職員の感想〉

- ・ 今の子供たちは、ゲーム以外の遊びを知る機会も少ないため、自然や身の周りのものを使って遊ぶ機会ができ、よかったと思う。子供たちがのびのびと楽しんでいる姿がとても素敵だった。

〈成 果〉

- ・ 児童を7名の3グループ編成にし、ボランティア8名で対応した。あやとり、風車、竹とんぼなど9種類の遊びをして楽しんだ。多くの遊び道具が身の回りの材料からできており、手づくりの喜びを感じたようだ。

〈課 題〉

- ・ 昔遊びは、1年時にも実施している。発達段階に応じて複雑な遊び道具を製作している。さらに、子供たちが昔遊びを生活化できるように、担任やボランティアと情報交換に努めたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 新1年生の下校指導、折り紙遊び、昔遊び、校区歴史巡り、ENEOS科学教室、高齢者とのグランドゴルフ交流会、年間を通した読み聞かせなど多分野におけるボランティア事業が特色である。地域コミュニティ協議会の協力を得ながら実施している。

〈今後の取組〉

- ・ 学校が新たに要望する事業についても期待に応えられるように、ボランティアの募集・確保に努めたい。

一倉小学校【中名・瀬々串・一倉本部】

支援活動例



■活動名	米づくり（田植え・稲刈り・脱穀）
■活動分類	学習支援（生活科・総合的な学習の時間）
■場所	地域の方の棚田
■学年・人数	1年1人、4年1人、5年1人
■期日	6月24日(月)、10月11日(金)・21日(月)
■ボランティア数	地域住民5人、延べ人数15人
■支援内容	苗の植え方・稲刈り・脱穀の仕方の説明、実際の補助

〈児童の感想〉

- ・ 稲刈りをして、大変だったことは、機械をコントロールすることだ。両手に力を入れて動かした。稲をかまで切るのが気持ちよかった。米は、どうしたらおいしくなるのかも分かった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 子供たちには米づくりの楽しさだけでなく、食べるまでにはいろいろな苦労があることも知ってほしい。

〈教職員の感想〉

- ・ 田起こしから脱穀まで全ての準備をしていただいた。子供たちには米づくりの大変さも指導したい。子供に温かい声掛けをしてくださりありがたかった。

〈成果〉

- ・ 地域の方々の協力で、最上部の棚田で3人の児童が田植え、稲刈り、脱穀と米づくり過程を通して、管理することの大切さを学べた。また、精米した米は、協力をいただいたボランティアの方々に差し上げ感謝の気持ちを伝えた。

〈課題〉

- ・ 指導してくれる方や参加してくれる方々が高齢になってきているので、連携や情報交換を丁寧にしていく必要がある。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 年間を通した読み聞かせ、竹太鼓、カヌー教室、喜入音頭の練習、高齢者施設訪問、ボランティア活動など少人数でも多様な活動を実施している。

〈今後の取組〉

- ・ ボランティアが特定の方になっているので、一層のボランティア確保に努めたい。また、事業は分野や手段・方法等を考慮しながら実施していきたい。

星峯西小学校【星峯西・星峯東本部】

支援活動例

■活動名	ミシンで楽しくソーイング
■活動分類	学習支援(家庭科)
■場 所	第2家庭科室
■学年・人数	5年2組 34人
■期 日	11月20日(水)・27日(水)
■ボランティア数	地域住民4人、保護者4人 延べ人数10人
■支援内容	ミシン操作の補助



〈児童の感想〉

- ・ 糸のかけ方など「ここはこうするんだよ」とやさしく教えてもらった。
- ・ 家庭科が好きになった。家でもミシン縫いをやってみたい。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 作業に個人差があったが、エプロンが完成してよかった。
- ・ 子供たちは、機種の違いミシンの調整が難しく、苦労していた。

〈教職員の感想〉

- ・ 保護者の支援もあったが、最近はミシンを使う機会が減っていて対応が難しい場面があったため、ボランティアの方々が慣れた手つきで教えてくださり、大変助かった。

〈成 果〉

- ・ 子供たちにとっては初めてのミシン縫いだったが、ボランティアの支援によって、全員がエプロンを完成することができた。
- ・ ボランティアの方々との交流も価値があった。

〈課 題〉

- ・ 機種の違いミシンの事前調整が必要である。
- ・ ミシン操作で座る位置や道具等の置き方の指導も大切である。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 2001年9月発足の読書ボランティアは、子供たちのアンケートで「星西あんころもち」と命名された。親しみやすい名前でも、ますます読み聞かせ活動が定着発展しそうである。

〈今後の取組〉

- ・ 活動者が固定化し、高齢化しているのでボランティア発掘が重要である。
- ・ 学年部におけるボランティア活用計画の検討が必要である。

星峯東小学校【星峯西・星峯東本部】

支援活動例

■活動名	校内持久走大会試走の安全確保
■活動分類	学習支援(体育科)
■場所	運動場及び学校外周
■学年・人数	全学年 254人
■期 日	2月9日(金)
■ボランティア数	地域住民11人
■支援内容	試走の安全確保



〈児童の感想〉

- ・ ボランティアの方々が応援してくれたおかげで、力がわいて、最後までがんばれた。
- ・ 走っている時はとても安心で、これまでの実力が発揮できる。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 必死にがんばる子供に、いつも元気をもらっている。
- ・ 事故やけが防止のため、車や縁石などに気を付けて安全確保に努めている。

〈教職員の感想〉

- ・ それぞれのポイントで、安全に配慮して、適切に見守っていただいた。
- ・ ボランティアの応援や励ましの声が、子供たちのパワーになっている。

〈成 果〉

- ・ 例年どおりそれぞれのポイントに立っていただき、教職員にとっても何より子供たちにとっても励みになっている。
- ・ ボランティアの方々の励ましで、子供との交流ができています。

〈課 題〉

- ・ 児童数や教職員の減少に伴い、持久走大会の運営と試走の実施方法の検討が必要になり、ボランティアによる支援について学校との打合せが予想される。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ ボランティア登録者のなかで民生委員の方々は機動的に協力してくださり、本事業の中心的支援者となって、連携がよく取れている。
- ・ 「読書旬間」の取組では、かごしま文庫の会の協力を得て、継続的に実施されている。

〈今後の取組〉

- ・ 学校において、継続したい活動、削除する活動、復活させたい活動を検討し、ボランティアを活用する学年の時期とバランスに留意していきたい。

宮川小学校【宮川・皇徳寺本部】

支援活動例



■活動名	農園見学
■活動分類	学習支援・引率補助（社会科）
■場所	校区内（みかん農園、野菜農園＝ビニールハウス）
■学年・人数	3年1組・2組 38人
■期 日	10月28日（月）
■ボランティア数	地域住民3人、保護者5人 延べ人数56人
■支援内容	農園の仕事の説明、農園までの引率補助



〈児童の感想〉

- ・ 野菜やみかんが商品になるまで、草の手入れなど毎日大変な仕事だと思った。
- ・ 土づくりから農薬を少なくするなど、食べる人のことを考えているのが分かった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 普段歩かない地域を、子供たちと話しながら無事に歩いて楽しかった。
- ・ 野菜やみかんを栽培されている農家の方の、ご苦労や喜びのお話を一緒に聞き勉強になった。地域の施設で販売されていることを知って行こうと思った。
- ・ 現地まで往復2時間以上の行程を安全に引率することができて安心した。

〈教職員の感想〉

- ・ 地域の農家の方々には毎年、積極的にご協力していただき、心から感謝したい。
- ・ 保護者の皆さんの引率補助があつてこそ実施できる学習だと思う。

〈成 果〉

- ・ 本校では、毎年社会科の学習の一環で「農園見学」を指導計画に位置付け、子供たちも高い関心と興味をもって参加している。これは、地元の農家の方々のご理解と、見守りボランティアの保護者の皆さんのおかげと深く感謝している。

〈課 題〉

- ・ クラスによって、ボランティアの参加者数に差がある。教師だけでは長い往復の安全見守りは難しいため、より多くのボランティアを確保する必要がある。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 本校では、社会科・総合的な学習の時間を中心に地域に根差した教育活動が幅広く展開されている。特に、地域有志により結成されている「宮川の子どもを育てる会」は学校との緊密な連携を図り、他に類を見ない貢献をされている。

〈今後の取組〉

- ・ 地域住民の高齢化は顕著になっている状況にある。現在のような学校支援のサポート体制をどのように継続していくか、新たな模索を進める必要がある。

皇徳寺小学校【宮川・皇徳寺本部】

支援活動例



■活動名	「しいの木ジョギング大会」試走
■活動分類	学習支援・安全見守り補助（体育科）
■場所	校区内（小学校近くの住宅街）
■学年・人数	1年～6年 362人
■期日	11月19日（火）
■ボランティア数	保護者29人 延べ人数45人
■支援内容	「しいの木ジョギング大会」本番に向けての試走の安全見守り

〈児童の感想〉

- ・ 保護者の方々が、あちこちで見守ってくださり、安心して走ることができた。
- ・ 学校の外に出て1週目で息があがって苦しかったが、保護者の方が何人も「がんばれー」と応援してくれて、元気が出て最後まで走ることができた。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 最初に地図で立哨場所を示していただいたので分かりやすく、子供たちにも声援を送りながら無事に試走が終えられてホッとした。
- ・ 見守りボランティアの人数が少ない学年もあって、場所によっては車の出入りに気がついた。子供たちのがんばっている姿に感動した。

〈教職員の感想〉

- ・ 職員だけの試走だと、人数不足で校外を走る際の安全確保が困難だ。保護者の皆さんの安全見守りと、子供たちへの声援に心から感謝している。

〈成果〉

- ・ 児童の体力向上の取組（体育科）として、12月初旬に全学年で「しいの木ジョギング大会」を伝統としておこなっており、本番に向けての試走も保護者ボランティア協力のもとに実施している。保護者には、児童のがんばる姿を見ていただく機会となり、児童には自分に負けない心の育成と体力の向上に役立っている。

〈課題〉

- ・ ボランティアの学年ごとの人数確保、立哨場所の打合せ確認、場所に応じた安全確保上の必要な人数の配置など、今後とも十分な計画立案が必要である。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 教職員のボランティア活動に対するニーズは高く、地域住民・保護者ともにそれに応えようとする協力体制がある。ボランティアの不足する活動には、PTA執行部や保体部からも全面的な支援を得ることができて大変助かっている。

〈今後の取組〉

- ・ 今後とも、学校・保護者・PTA・地域と緊密に連携し事業の充実を図りたい。

谷山小学校【谷山・錫山本部】



支援活動例

■活動名	ソフトバレーボール
■活動分類	学習支援（体育科）
■場 所	体育館
■学年・人数	6年1組・2組・3組・4組 165人
■期 日	10月24日（木）1～4校時
■ボランティア数	保護者1人 延べ人数4人
■支援内容	レシーブやトスの基礎指導

〈児童の感想〉

- ・ 今まで球技は苦手だったけど、バレーの基本を教えてもらい、グループでのパス回しの回数が増えていった。楽しくなり、みんなでもっとつながりたいと思った。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 子供たちと楽しい時間、貴重な時間を過ごすことができた。
- ・ ソフトバレーボールの技術習得に向けて、積極的に取り組む姿を見られてうれしかった。

〈教職員の感想〉

- ・ バレーボールに対して難しいというイメージをもっていた子供たちが、できることやできそうなことを一つずつ増やすことで、興味をもち意欲的になった。

〈成 果〉

- ・ 視点をしぼった技能ポイントの指導によって、子供たちがきめ細やかな動きのコツを感じ取っていた。
- ・ ペアやグループでの活動の中で励まし合いや認め合いが活発になり、自然と友だちへポジティブな声掛けができるようになった。

〈課 題〉

- ・ 体育のカリキュラムの中で、どのような支援が必要となるかボランティアの役割や位置付けを明らかにしていきたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 朝の読み聞かせボランティアをしているグループ「よみきかせたい」が、今年度から昼休みにも活動を企画し実施するなど、積極的に子供たちに対する読書活動の場を広げている。

〈今後の取組〉

- ・ 校区内の各種団体および保護者に本事業の周知を図り、新しいボランティアの方を募集し、より充実した支援体制をつくっていきたい。

錫山小中学校【谷山・錫山本部】

支援活動例



■活動名	さつまいもの苗植え付けと収穫
■活動分類	学習支援（総合的な学習の時間）
■場所	学校農園
■学年・人数	全児童・生徒（小学生16人・中学生13人）
■期日	5月14日（火）、10月23日（水）
■ボランティア数	地域住民5人 延べ人数18人
■支援内容	さつまいもの苗の植え付けの指導支援 さつまいもの収穫手伝い

〈児童の感想〉

- ・ 収穫した時にうれしい気持ちでいっぱいになった。地域の方から、さつまいもの「もとくされ病」について話を聞いて、怖いと感じた。
- ・ わくわくしてさつまいもを掘ったら、手のひらより大きくてうれしかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 地域の子供たちに道具の使い方や育て方のコツを教えることができ、この活動を通して子供たちや学校から感謝されていることに喜びを感じる。

〈教職員の感想〉

- ・ 地域の方の力を借りて、子供たちに自然体験をさせることができ感謝している。
- ・ 毎年の活動で全員が楽しみに参加し、触れ合いの中で多くのことを学べる良い機会となっている。

〈成果〉

- ・ ボランティアの方々の指導と個別のアドバイスのおかげで、子供たちは意欲的に農作業体験をおこなうことができた。
- ・ 小中学生が助け合いながら活動に取り組んでいる。
- ・ 地域の方との触れ合いによって、豊かな心が育っていると感じた。

〈課題〉

- ・ 地域ボランティアの高齢化が進んできており、後継者発掘が必要である。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 小規模校ならではの行事として、小中学校と地域が合同開催している運動会などがあり、地域ぐるみで地域の子供を育む体制ができています。

〈今後の取組〉

- ・ 少子高齢化が進んでいる地域ではあるが、「錫山地域づくり協議会」と連携をしながら地域に関わる新たな人材の発掘に努めていきたい。

東谷山小学校【東谷山・中山本部】

支援活動例

■活動名	のこぎりひいて ザク、ザク、ザク
■活動分類	学習支援（図画工作科）
■場 所	3年生教室・図工室
■学年・人数	3年 140人
■期 日	1月30日（火）
■ボランティア数	地域住民8人 延べ26人
■支援内容	鋸の安全な使い方



〈児童の感想〉

- ・ 初めはなかなか切れなかった。分かりやすく教えてもらったので上手にできた。
- ・ 教えてもらって楽しくできた。手伝ってもらってうれしかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 鋸を初めて使った子供たちも、時間の経過とともに扱い方に慣れてきてうまく切れるようになってよかった。
- ・ 合体して物を作るのだとしっかり考えて、木片を切っていたので感心した。

〈教職員の感想〉

- ・ 鋸を使う際のコツを教えてもらったので、子供たちがうまく木を切ることができ、技能面が向上した。また、安全面への配慮は大変ありがたかった。

〈成 果〉

- ・ ボランティアの方々のサポートで、鋸の安全な使い方を習得できた。
- ・ この題材は、子供たちの安全面や技能面への配慮が必要。地域の方々の協力により、安全に実施でき、子供たちは技能面で向上が見られてよかった。

〈課 題〉

- ・ 活動場所を検討する必要がある。教室での活動では木片の固定が難しく切りにくかった。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 3年の毛筆学習支援は年間を通しておこなっている。また、1年の昔遊び、環境整備等を継続しておこなっている。

〈今後の取組〉

- ・ 地域コミュニティ協議会等との連携を深め、人材や団体等の発掘に努める。また、支援内容に応じた新規登録者の募集に努める。
- ・ 多くの教職員にボランティアを活用してもらう必要がある。

中山小学校【東谷山・中山本部】

支援活動例



■活動名	ミシンで楽しくソーイング
■活動分類	学習支援（家庭科）
■場 所	家庭科室
■学年・人数	5学年 237名
■期 日	9月19日(木)・20日(金)・27日(金)
■ボランティア数	地域住民6名、保護者1名 延べ34名
■支援内容	作品製作への個別支援（ミシンの使い方、縫い方等）

〈児童の感想〉

- ・ ボランティアの方からアドバイスをもらったので上手に縫えた。
- ・ 教え方が分かりやすかった。また、気軽に声を掛けてもらってうれしかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 縫い方など困っている子供へ手伝いがあった。短時間で充分ミシンの操作ができたので感心した。一生懸命に取り組む子供たちに励まされた。
- ・ 子供たちが教え合ったり、助け合ったりして活動しているのがうれしかった。

〈教職員の感想〉

- ・ ミシンの使い方や縫い方など細やかに教えてくださり、とても助かった。子供たちは自分で縫える楽しさを味わいながらエプロンを作っていた。

〈成 果〉

- ・ 教師はゆとりをもって子供たちに向き合え、子供たちも作業能率が上がった。
- ・ ボランティアの方々に巧みな技を伝えてもらったり、ミシンの修理をしてもらったりして教職員の業務改善にもつながった。

〈課 題〉

- ・ 個に応じた支援の在り方等を事前に打ち合わせておけば、もっと効果的な支援ができる。保護者の支援も積極的に呼び掛けたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 安全面に配慮がある活動への支援依頼が多い。下校見守りやカッターナイフ・彫刻刀の扱い方の支援は毎年行っている。ミシンの使い方や給食着の修繕等もおこなっている。

〈今後の取組〉

- ・ ボランティアの要請人数が多い。要請の多い分野や新規内容のボランティア募集に努める。
- ・ 多くの教職員にボランティアを活用してもらう必要がある。

福平小学校【福平・平川本部】

支援活動例



■ 活 動 名	町の人の話を聞こう
■ 活 動 分 類	学習支援（生活科）
■ 場 所	福平小学校 2年各教室
■ 学 年 ・ 人 数	2年 220人
■ 期 日	10月3日（木）
■ ボランティア数	保護者6人、地域施設関係者2人 計8人
■ 支 援 内 容	それぞれの施設の役割や仕事内容、やりがいについて話す

〈児童の感想〉

- ・ お話を聞いたお仕事を大人になったらしたいと思った。
- ・ どうなっているのかなと思っていることが分かってうれしかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 真剣な子供たちの眼差しがとても印象的でした。次から次に質問してくれてとてもうれしかった。話したことをすぐにメモしていく子供がいて、感心した。これからも、協力できることがあったらしていきたいと思う。

〈教職員の感想〉

- ・ 私の方がいろいろ聞きたくなった。子供たちにとってもいい機会となり、また、お仕事についても、より知ることができ大変ありがたかった。

〈成 果〉

- ・ 校区内の郵便局長さん、福祉館の方、おやじの会との連携で、英会話講師、音楽家、美容師、消防士、110番の家、ガソリンスタンド等様々な施設の役割や仕事の内容についてお話を聞くことができてよかった。

〈課 題〉

- ・ 1学期の町探検では、人数が多すぎて、外から見るだけ、場所を確認するだけだったが、施設との打合せや見学の方法を工夫してインタビューできるようにする。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 平川動物園を利用した生活科学習の引率補助、通学路探検、生活科まち探検等、安全確保に関する事業が多くなされている。朝の読み聞かせ活動、11月のお話会、手縫い支援、ミシン操作支援等保護者や地域の方が積極的に協力してくれる。

〈今後の取組〉

- ・ 教職員との連携をさらに図り、ボランティア事業の拡大を図るとともに、広報活動をおこない、ボランティアの確保に努めたい。

平川小学校【福平・平川本部】

支援活動例

■ 活 動 名	おはら節
■ 活 動 分 類	学習支援（体育科）
■ 場 所	屋内運動場
■ 学 年 ・ 人 数	1・2年 27人
■ 期 日	10月12日（土）
■ ボランティア数	地域住民3人
■ 支 援 内 容	地域との合同運動会総踊りで踊る「おはら節」の指導



〈児童の感想〉

- ・ 最初は難しかったけれど、ゆっくり丁寧に何度も教えてくださったので、分かりやすかった。
- ・ 手本の踊りを見ながら踊ったので、最後は曲に合わせて踊れるようになってよかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 子供たちが真剣に取り組んでくれて、楽しく活動できた時間だった。

〈教職員の感想〉

- ・ 子供たちは、運動会での踊りを楽しみにしていて、教師だけでは十分指導できなかったので大変助かった。

〈成 果〉

- ・ 地域との合同運動会で、地域住民と一緒に踊るので、一年生を中心に事前に覚えることができよかった。最初から最後まで、細やかに所作を指導していただき、最後は通しまでできた。

〈課 題〉

- ・ 情緒的に配慮の必要な子供もおり、全体練習だけでは難しい面もあるので、支援の仕方を工夫する。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 枇杷栽培、海岸清掃活動等特色ある活動を地域と連携して伝統的に実施している。ボランティア事業として、「おはら節の練習」「校外行事の引率」「ミシン操作支援」「朝の読み聞かせ」などを実施した。

〈今後の取組〉

- ・ 読み聞かせやミシン操作支援にそれぞれ一人新しい方が登録して下さった。さらにボランティアを確保し、幅広い活動支援ができるようにしたい。

紫原小学校【紫原・向陽本部】

支援活動例



■活動名	学生による学習支援
■活動分類	学習支援（各教科）
■場所	紫原小学校各教室
■学年・人数	全学年
■期 日	前期・後期
■ボランティア数	学生17人 延べ102人
■支援内容	近隣の大学生による学習の支援

〈児童の感想〉

- ・ 分からないところを教えてもらってありがたかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 5年生では学習に自分でしっかりと取り組んでいる様子がとても印象的だった。
- ・ 興奮してしまう児童にどのように接することが大切かを学ばせてもらった。

〈教職員の感想〉

- ・ 支援学級の児童も学生ボランティアの方が横で声掛けをしてくださるので、いつも以上に学習に集中して取り組むことができた。
- ・ 子供に臨機応変に対応していたので助かった。ありがたかった。

〈成 果〉

- ・ 開かれた学校への一助としての側面を担うことができた。
- ・ 子供たちが率先して、学習支援の学生に分からないところを聞いていた。
- ・ なかなか手の届かない個別指導の一部を補うことができた。

〈課 題〉

- ・ あくまで学生の講義の合間をぬっての支援活動であるために、必要に応じた定期的な学習支援をすることができない。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 校区内にある大学の学生が、前期後期に分けて向陽小・紫原小・紫原中に学習ボランティアとして講義の合間を利用して参加している。
- ・ 地域とのつながりの深い郷土芸能等の保存に向けた活動に取り組んでいる。

〈今後の取組〉

- ・ 平成27年度から継続している大学との連携を引き続き図っていききたい。
- ・ 地域の活性化に向けた取組を引き続き図っていききたい。

向陽小学校【紫原・向陽本部】

支援活動例

■活動名	校外学習支援
■活動分類	学習支援（社会科）
■場 所	市内一円
■学年・人数	4年 109人
■期 日	7月11日(木)、12月6日(金)・20日(金)
■ボランティア数	保護者10人 延べ87人
■支援内容	総合的学習の時間の見学の見守りボランティアの実施



〈児童の感想〉

- ・ ボランティアの人が友達のお母さんやお父さんだったので、安心して学習することができた。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 私も鹿児島島の魅力を改めて考えて学ぶことができた。学校の教育の一環でこのような体験ができると「体験格差」の解消につながると感じた。4年生の素直さに終始癒やされた。子供たちにとって大変貴重な体験だと思う。

〈教職員の感想〉

- ・ 各班に1名はボランティアがいてくださったので児童の安全確認（道路横断時・交通機関からの下車時等）スムーズにおこなうことができ、ありがたかった。

〈成 果〉

- ・ 校外での、教室とは違う学習の様子を、保護者に参観してもらう機会にもなりよかった。

〈課 題〉

- ・ 確保できるボランティアの人数が各クラスの保護者の事情により違うので、他のクラスや地域住民からも募る必要がある。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 校区内にある大学の学生が、前期後期に分けて向陽小・紫原小・紫原中に学習ボランティアとして講義の合間を利用して参加している。
- ・ 地域とのつながりの深い郷土芸能等の保存に向けた活動に取り組んでいる。

〈今後の取組〉

- ・ 平成27年度から継続している大学との連携を引き続き図っていきたい。
- ・ 地域の活性化に向けた取組を引き続き図っていきたい。

吉野小学校【吉野・牟礼岡本部】

支援活動例

■活動名	英会話活動支援
■活動分類	学習支援（外国語活動）
■場 所	6年教室
■学年・人数	6年2組38人、3組40人
■期 日	11月（4時間）、12月（7時間）
■ボランティア数	大学生3人
■支援内容	英会話活動での個別指導支援



〈児童の感想〉

- ・ 文の初めの大文字やピリオドなど丁寧に、やさしく教えてくださいとても分かりやすかった。ありがとうございます。また、来てください。
- ・ 来てくださって、いっそう授業が楽しくなった。大学もがんばってください。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 子供たちが元気でとても楽しかった。先生方の指導の技も学んでいきたい。子供たちは友達と協力しながら意欲的に活動しており、外国語が好きだと感じた。

〈教職員の感想〉

- ・ 子供たちは親近感をもって楽しく支援者とコミュニケーション活動をする事ができた。支援者の特性を生かす授業を組み立てるとより効果的だと思った。

〈成 果〉

- ・ インタビューなど個別の活動では、支援者が増えることで、子供たちは多様な相手とコミュニケーション活動をする事ができた。
- ・ 小学校の先輩である大学生に親近感をもち、楽しく、意欲的に活動する事ができた。

〈課 題〉

- ・ 支援の時間帯が朝の1校時に限られて、全部の学級に経験させる事ができていない。今後は時間割などの調整が必要と考える。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 学期1回、ボランティアだよりを発行し、地域町内会を通じて、地域や保護者に配布するとともに、学校・公民館・吉野支所に掲示し、学校支援ボランティア事業の広報に努めている。

〈今後の取組〉

- ・ 校区の方々に、学校支援ボランティア事業の目的を知ってもらい、新しいボランティアの方を発掘していきたい。（PTAや校区コミュニティ協議会との連携）

牟礼岡小学校【吉野・牟礼岡本部】

支援活動例

■活動名	キャリア教育「消防士の仕事」
■活動分類	学習支援（総合的な学習の時間）
■場 所	6年生教室
■学年・人数	6年 20人
■期 日	10月29日（火）
■ボランティア数	保護者1人
■支援内容	鹿児島市消防局の仕事内容



〈児童の感想〉

- ・ 消防士の仕事は3隊あり救急隊員や消防士で女性もいると初めて知った。
- ・ 消防士の装備はとても重かった。消防士は生命・身体・財産を守る仕事だと分かった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 6年生の皆さんがよく聞いて、質問してくれてよかった。消防という特殊な仕事ですが、やりがい伝われば幸いだ。

〈教職員の感想〉

- ・ 映像を活用しての説明が分かりやすく、話の構成も素晴らしかった。
- ・ 仕事を選んだきっかけ、仕事への誇りや思いが子供にしっかり伝わり感動した。

〈成 果〉

- ・ 自分の夢や目標の実現に向けて、将来の仕事に対する理解が深まった。
- ・ 消防の仕事を知ることで、今後の生き方を考えるよい機会となった。

〈課 題〉

- ・ キャリア教育として、「消防士」や「警察官」「空港職員」「保育士」「パン職人」等について話をいただいているが、どの職種をどの学年に位置付けるか検討する必要がある。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 学期1回、ボランティアだよりを発行し、地域町内会を通じて、地域や保護者に配布するとともに、学校・公民館・吉野支所に掲示し、学校支援ボランティア事業の広報に努めている。

〈今後の取組〉

- ・ 校区の方々に、学校支援ボランティア事業の目的を知ってもらい、新しいボランティアの方を発掘していきたい。（PTAや校区コミュニティ協議会との連携）

坂元小学校【坂元・坂元台本部】

支援活動例

■活動名	楽しいパズル
■活動分類	学習支援（図工科）
■場 所	図工室
■学年・人数	5年 50人
■期 日	7月3日（水）・5日（金）
■ボランティア数	地域住民3人 延べ人数10人
■支援内容	パズル製作時の電動糸鋸の操作補助



〈児童の感想〉

- ・ ボランティアの方のおかげで、安全に使えてきれいに仕上がった。
- ・ アドバイスが分かりやすく、曲がったところも上手に切ることができた。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 器用に使える子も、そうでない子もどちらも一生懸命で可愛かった。
- ・ 初めての電動糸鋸の経験ながら、使い方が上手で作品のでき上がりが楽しみだ。

〈教職員の感想〉

- ・ 一人だと安全に使えているかどうか見るのに限界があるが、大人の目がたくさんあることで安心して作業を進めることができた。
- ・ 初めての電動糸鋸に不安を感じていたが、丁寧に教えてもらえて心強かったようだ。

〈成 果〉

- ・ 電動の工作機械であるので、操作を間違えるとケガなどの事故の心配があったが、複数の大人が付くことで作業を安全に進めることができた。
- ・ 子供たちは大人がそばにいるので、頼りにして安心して作業を進めていた。

〈課 題〉

- ・ 電動糸鋸の台数に対してボランティアの人数が少なく、一人で2台以上を見なければならなかった。より多くのボランティアの協力を得られるとよい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 年度初めのボランティア募集チラシによる募集のほかに、ボランティア活動要請のあった学年の保護者を対象にその都度募集をおこなっている。
- ・ 毎月第2土曜日の登校下校時のあいさつ声かけ・安全見守りを、小中学校の双方の要請を受けて、ボランティアと民生委員が協力しておこなっている。

〈今後の取組〉

- ・ 多くの団体と連携した学校支援ボランティア活動を進めていきたい。

坂元台小学校【坂元・坂元台本部】



支援活動例

■活動名	スペシャルお話会
■活動分類	学習支援（読み聞かせ）
■場 所	体育館
■学年・人数	全校児童 425人
■期 日	6月21日（金）、1月31日（金）
■ボランティア数	地域住民1人、保護者5人 延べ人数10人
■支援内容	読書月間中の昼休みに全校児童を対象にした読み聞かせ

〈児童の感想〉

- ・ 先生や友達が、お母さんたちの読み聞かせと一緒に出了のはおもしろかった。
- ・ 歌や英語のいろいろな読み聞かせなどがあった楽しかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 子供たちと先生参加型の読み聞かせは、盛り上がっていいなあと思った。
- ・ 子供たちが話をしっかり聞いて、笑顔になってくれたのでうれしかった。

〈教職員の感想〉

- ・ わらべ歌や身体遊び、音楽絵本や英語絵本の読み聞かせ、紙芝居などバラエティーに富んだ内容で、子供たちをぐっと惹きつける素敵な時間だった。
- ・ 鹿児島弁の紙芝居で郷土の言葉に触れることができ良かった。

〈成 果〉

- ・ 先生も役割の一端を担う読み聞かせは、地域と学校の一体感の醸成に役立った。
- ・ 身体遊びや音楽絵本、英語絵本、紙芝居など多様な内容で、全学年の子供たちが楽しめ、保護者や地域住民と触れ合う機会となった。

〈課 題〉

- ・ 複数人で1つの読み聞かせをしたので、内容を決める話合いや役割分担、練習の時間の設定が難しく、ライン等での連絡や直前の練習となった。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 読み聞かせは、地域住民のボランティアと親子読書グループ“ちいさいおうち”の保護者ボランティアが協力しながらおこなっている。
- ・ ボランティア募集ちらしやボランティアだより等を職員室廊下に掲示している。

〈今後の取組〉

- ・ ボランティア登録者の一層の増加を図るために、要請のあった学年の保護者を対象に、ボランティア募集をおこなっていく。

名山小学校【名山・松原本部】

支援活動例



■活動名	夏季休業課題帳の印刷と製本
■活動分類	学習支援（その他）
■場 所	印刷室 理科室
■学年・人数	全校 328人
■期 日	7月9日（火）・10日（水）・11日（木）・12日（金）
■ボランティア数	保護者7人、地域住民1人 延べ57人
■支援内容	全学年の課題帳の印刷と製本

〈児童の感想〉

- ・ 私は前の学校でやったことがあるので大変さが分かる。毎年私たちのため大変な作業をしていただき感謝している。今年も夏休みは宿題をがんばりたい。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 多岐にわたる先生方の業務が少しでも軽減できたらという思いで活動している。
- ・ ボランティア同士で楽しく話をしながらの活動で、先生方からも「ありがたいです。」と声を掛けていただき、関わってよかったなと感じた。

〈教職員の感想〉

- ・ 毎年感じることだが、この忙しい時期の課題帳の印刷や帳合は本当にありがたい。この支援活動が他の学校にも広がっていくことを願っている。

〈成 果〉

- ・ 学期末の多忙な時期に教職員と児童と向き合う時間が確保され、学力の定着や生徒指導の充実を図ることができた。また働き方改革の一助にもなった。

〈課 題〉

- ・ ペーパーレスが多くなり、タブレットによる課題を出すことが多くなっている。それぞれのよさを見極め、児童にとっても教職員にとってもよりよい教育的効果が図られる方策を考えていく必要がある。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 今年度も学校周辺の歴史ある名所や公共施設、城山を活用した伝統的で特色ある活動が展開された。低学年の保護者の新規登録者が増えている。保護者も地域住民も学校教育活動への協力心や意識が高く、支援の輪がさらに広がっている。

〈今後の取組〉

- ・ 専門的立場で支援できる方もいる。教育効果を上げる一助にするため幅広い分野から支援できることを教職員に周知し、積極的な活用を働き掛けていきたい。

松原小学校【名山・松原本部】

支援活動例



■活動名	歯と口の健康教室
■活動分類	学習支援（学級活動）
■場所	各教室
■学年・人数	1年～3年 101人
■期 日	5月14日（火）
■ボランティア数	保護者5人、地域住民2人 延べ7人
■支援内容	歯磨き指導の補助

〈児童の感想〉

- ・ 近くにお母さんたちがいたので安心感があった。歯磨きの仕方を教えてもらい、上手にできるようになり、ほめられてうれしかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 「ほら見て。」と自慢げに歯磨き後の様子を見せる子供に、「上手に磨けたね。きれいだね。」と声掛けすると笑顔があった。歯と口の健康づくりを意識させる一助の支援になったのだなと感じた。

〈教職員の感想〉

- ・ 事前準備や戸惑っている子供へのさりげない声掛け、個別のブラッシング指導、後片付けと、意欲的に支援していただきありがたかった。

〈成 果〉

- ・ ボランティアと養護教諭が綿密な打合せをおこなうことで、学習の流れを理解し、どんな支援をすればよいのかが明確になり、学習のねらいを達成する支援ができた。
- ・ ボランティアが個に応じた丁寧な支援やアドバイスをすることで、子供たちには安心感が生まれた。また、楽しく会話をすることで交流も深まったようだ。

〈課 題〉

- ・ 健康や安全に関する学習では、保護者も子供たちと一緒に学ぶ場があった方がより充実すると考えられる。ボランティア登録者以外の方の支援も願いたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 「歯と口の健康」や「就学時健康診断」と長年にわたって支援している。登録者が少ない中、毎年支援要請に快く応じてくださる方が多く、支援意欲も高い。

〈今後の取組〉

- ・ 英検や数検、図工、習字、調理師資格等をもち専門的立場で支援できる方もいる。教育効果をさらに上げるため、幅広い分野から支援できることを教職員へ周知し、積極的な活用を働き掛けていきたい。

西陵小学校【西陵・西田本部】

支援活動例



■活動名	昔遊び体験交流	
■活動分類	学習支援（生活科）	
■場 所	体育館、1年教室	
■学年・人数	1年 110人	
■期 日	11月6日（水）	
■ボランティア数	地域住民20人	
■支援内容	昔の遊び（11活動）の実演と遊び方の指導支援	

〈児童の感想〉

- ・ 竹とんぼをはじめはうまく飛ばせなかったが、だんだん飛ばせるようになりうれしかった。
- ・ あやとりのいろいろなやり方を教えてもらい、おもしろかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 今の子供たちはゲームばかりしていると聞く。自分で工夫して遊ぶ経験を知ってもらえてよかった。

〈教職員の感想〉

- ・ 地域の方と子供たちがいっしょに昔の遊びをしながら楽しく活動することができた。地域の方とのよい触れ合いの機会となった。

〈成 果〉

- ・ 地域の方から伝承遊びを教えてもらうことを通して、人との関わりを豊かにするよい機会となった。
- ・ 多くの地域の方が参加してくださり、子供たちも昔遊びを堪能できた。

〈課 題〉

- ・ 充実した体験交流にしていくため、今後も早めの日程周知に努め、多くのボランティアの確保を目指していく必要がある。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 2年生の「町探検」や5・6年生のミシン学習など、多くのボランティアが参加してくださっている。そのおかげで、子供たちは安心・安全に学習を進めることができている。先生方もボランティアの積極的な学習支援に感謝している。

〈今後の取組〉

- ・ 各方面へのPRに努め、学校支援ボランティア事業への理解をさらに深めるとともに、新たなボランティア支援者を掘り起こしていきたい。

西田小学校【西陵・西田本部】

支援活動例

■活動名	さつまいもの苗植え
■活動分類	学習支援（生活科）
■場所	学校農園
■学年・人数	2年 96人
■期 日	5月11日（土）
■ボランティア数	地域住民4人、保護者8人 計12人
■支援内容	さつまいもの苗植え指導、学校－農園間の引率補助



〈児童の感想〉

- ・ さつまいもの種類や苗の植え方などいろいろ教えてもらって、みんなで楽しく苗を植えることができた。収穫が楽しみ。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 西田小の子供たちは農作業の経験があまりないと思われるが、本県特産のさつまいもについての知識を深めたり、貴重な体験活動をさせたりする学習の手助けをすることができてうれしい。

〈教職員の感想〉

- ・ 苗の植え方だけでなく、さつまいもの種類や歴史などについても分かりやすく説明してくださり、大変ありがたい。
- ・ 苗植えについては、準備に時間と労力がかかるのでありがたい。

〈成 果〉

- ・ 教職員だけでは専門的な作業の知識も時間もないので、ボランティアの方々の支援がなければできない貴重な体験学習となっている。

〈課 題〉

- ・ 今後も継続していきたいが、ボランティアの方々の高齢化が課題である。
- ・ 学校農園までの道幅が狭く、交通量も多い。交通安全への十分な配慮が必要。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 先生方のボランティア事業への理解が進み、全学年を通じてボランティア事業を積極的に活用していただいている。また、保護者や地域住民もボランティアに非常に協力的である。

〈今後の取組〉

- ・ ボランティアの新規登録者や、子供が卒業した後もボランティア活動を継続してくださる支援者を増やしていきたい。

松元小学校【東昌・松元本部】

支援活動例



■活動名	安全な登下校（JR利用・徒歩）
■活動分類	学習支援（特別活動）
■場所	体育館（JR）・家庭科室（徒歩）
■学年・人数	3～4年児童 151人（JR利用80人・徒歩71人）
■期日	10月12日（土）3校時
■ボランティア数	松元校区あいご会会長等 2名（協働先・・校区あいご会）
■支援内容	KYT実践による登下校の安全指導（ショート→ロング）

〈児童の感想〉

- ・ ホームでの安全な待ち方、公共の場であることを考えて静かにすること、走らないこと、押さないことをちゃんと守ろうと思った。
- ・ KYT学習のおかげで危険な場面が分かった。身近なところにたくさん危険があることをあらためて知った。「命」を最優先にじゅうぶん気を付けていきたい。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 子供たちが自分事にとらえ、懸命に考えたり話し合ったりしていたことがうれしかった。定期的におこなえるとよい。

〈教職員の感想〉

- ・ 子供たちは、自分たちのこれまでの行動を振り返ることを通して、明日から命を守る行動をしようという強い気持ちをもつことができた。大変有意義だった。

〈成果〉

- ・ JR利用児童の安全確保が地域と学校共通の課題だったため、学校運営協議会で話し合い、協働活動の一つとして、KYT実践授業ができたことはよかった。
- ・ JR利用以外の児童も、別室でKYT実践授業をおこなえたことはよかった。

〈課題〉

- ・ 他の学年も含め、子供たちの心に届く継続的な安全指導が必要である。次年度の教育課程に位置付け、時間と場の設定を具体化したい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 福山水土里地域資源保全隊やまちづくり協議会の方々を中心に、学校と一体となった食農体験や校区の伝統文化伝承に力を入れている。
- ・ ミシンや昔遊びの指導補助、水泳学習や校外指導時の安全見守りボランティアとして、保護者が積極的に関わっている。

〈今後の取組〉

- ・ 体験活動に必要な苗や肥料等の高騰に鑑み、今後はこれまで以上に学校予算や学級費等からの支出を検討していく必要がある。（体験精選か継続かも要検討）

東昌小学校【東昌・松元本部】

支援活動例

■活動名	おいしいお茶づくりの秘密	
■活動分類	学習支援（総合的な学習の時間）	
■場 所	茶畑・体育館・家庭科室	
■学年・人数	3～4年 15人	
■期 日	5月2日(木)、6月24日(月)、9月17日(火)	
■ボランティア数	企業・行政・大学・地域住民 延べ人数19人	
■支援内容	お茶摘み・工場見学・手もみ・お茶の入れ方体験補助	

〈児童の感想〉

- ・ 1芯2葉の摘み方や、茶葉のもみ方、おいしいお茶の入れ方を知って、お茶が好きになった。お茶どころで育ってよかったなと思った。
- ・ 同じお茶の葉が、製法によって紅茶になるのが不思議だった。お茶は体によいことが分かったので毎日飲みたい。お茶のことをもっと調べてみたい。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 興味をもってどんどん質問してくれたので、こちらも楽しかった。

〈教職員の感想〉

- ・ 体験と併せ、分かりやすい資料やクイズ形式の学びで、子供たちは楽しく理解を深めることができた。多忙な時期に工場見学をさせていただきありがたかった。

〈成 果〉

- ・ 全国・県レベルでのお茶の歴史や、生産、産業、成分等についての理解が深まるとともに、東昌校区への誇りと、地域を大切にする気持ちが高まった。

〈課 題〉

- ・ 隔年で実施しているので、単式・複式の状況を見据え、重複や未習がないよう調整する必要がある。関係機関との早めの連携確認をしていきたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 規模を生かした学校づくりを展開しており、お茶やさつまいもの食農体験学習、ミシンやそろばん等の指導補助、お茶音頭や棒踊りの継承、校外学習時の安全見守り、環境整備・行事の合同開催等、地域との協働体制で活動している。

〈今後の取組〉

- ・ 新しい人材の発掘に努め、今年度創設した、地域・学校・PTAが連携した「フレフレ東昌応援団」をさらに充実させていく。
- ・ 地域住民の「特別支援教育」への理解を深め、3学期から始めた「地域ボランティアによる、授業中困り感のある児童を支援する活動」を充実させていく。

甲東中学校【山下・城南本部】

支援活動例

■活動名	朝のあいさつ運動
■活動分類	登下校安全指導
■場所	正門
■学年・人数	全校生徒
■期 日	毎週月曜日
■ボランティア数	地域住民1人 延べ人数30人
■支援内容	学校正門での登校してくる生徒へのあいさつ



〈生徒の感想〉

- ・ 朝のあいさつは、してもされてもとても気持ちがいいものだ。一日の始まりに気持ちのよいあいさつをされると、一日を楽しく過ごせそうになる。いつも感謝している。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 自分が卒業した中学校の生徒さんとあいさつを交わすことで、私も一日を楽しく過ごすことができ、生徒の皆さんから元気をいただくことができるので、これからも続けていきたいと思っている。

〈教職員の感想〉

- ・ 毎週月曜日を中心にしてくださるあいさつ運動だが、生徒や職員そして地域の方々へもあいさつ運動の輪が広がっているようで感謝している。

〈成 果〉

- ・ 生徒の登校時間に合わせてあいさつ運動を推進してきた。徐々に生徒たちの方から朝のあいさつや会釈をしてくれるようになってきた。

〈課 題〉

- ・ 現在は、あいさつ運動のみであるが、様々な機会をとらえて学校の管理職との事前打合せなどをおこない、他の領域でのボランティア活動を実施できるよう進めていきたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ ボランティアをしていただいている方とできるだけ一緒に参加しようと思うが、今年度もなかなかであった。

〈今後の取組〉

- ・ あいさつ運動にとどまらず、他の領域へボランティア活動を広げていく取組を推進していく。まずは、奉仕作業的な内容から進めていき、徐々に学習の支援活動へ広げていきたい。

天保山中学校【山下・城南本部】

支援活動例

■活動名	手縫いによるホック付け等
■活動分類	学習支援（家庭科）
■場 所	被服室
■学年・人数	1年1組～4組 計134人
■期 日	11月8日（金）・25日（月）
■ボランティア数	保護者3人 延べ人数7人
■支援内容	手縫いのホック付けやスナップボタン付けの個別支援



〈生徒の感想〉

- ・ 玉結びや玉どめなどのやり方を忘れていたので、ボランティアの方に教えてもらって、とても助かった。後の作業がスムーズにできるようになった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ とても真面目で一生懸命だったので、教える方も子供たちに関わりやすかったです。分からない事も友達と教え合って取り組んでいたのも、私は見守る事が多かった。とても貴重な体験をさせていただいた。ありがとうございました。

〈教職員の感想〉

- ・ 保護者の方がボランティアに参加してくださることで、生徒も積極的に質問をして、進んで作業に取り組むことができたと思う。ありがとうございました。

〈成 果〉

- ・ なかなか質問できない生徒にも、積極的に話し掛けてくださったことで、ほとんどの生徒が時間内に、その日の作業内容を終わらせることができた。
- ・ 今年度は、2年生の家庭科「調理実習」で新たにボランティアの要請をいただいた。今後も、学校側への働き掛けを続けていきたい。

〈課 題〉

- ・ 年度によりボランティアに参加してくださる方の人数に差が出てきている。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ ボランティアをしていただいた方に、お礼状や生徒の感想等をお届けし、支援活動したことを喜んでいただいた。

〈今後の取組〉

- ・ 初任で来た1年生家庭科の担当の先生が、異動になる予定である。引き続き学習支援の要請を年度当初の管理職との打合わせでお願いしていきたい。

鴨池中学校【中郡・鴨池本部】

支援活動例



■活動名	個別学習をする生徒への支援
■活動分類	学習支援（各教科）
■場 所	心の教室
■学年・人数	1年～3年 14人
■期 日	9月18日（水）～12月19日（木）
■ボランティア数	大学生3人、保護者1人 延べ人数18人
■支援内容	生徒への教科支援及び相談相手

〈生徒の感想〉

- ・ ボランティアに来てくれた方はとても話しやすく楽しかった。相談にも乗ってくださってありがたかった。
- ・ 大学生と話す機会がなかったので、貴重な体験をすることができた。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 接し方に不安があったが、趣味や今までの経験などの話をする事で打ち解けることができ、学習面にも力を入れることができた。

〈教職員の感想〉

- ・ ボランティアが支援に入ってくれることで、生徒たちの表情が明るくなったように感じた。人との関わりが大切な時期なので、今後もサポートをお願いしたい。

〈成 果〉

- ・ コミュニケーション能力を高めるために、支援者との会話は効果的であった。
- ・ 学習支援だけでなく、先輩として進路についての質問に答えることで、今後の心構えについてヒントを与えることができた。

〈課 題〉

- ・ 年度当初から学校と連携しながら生徒の状況を把握し、個に応じた支援を積み重ねていくことが大切であると感じた。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 英語科への学習支援は定着している。
- ・ 毎朝校内の清掃活動とあいさつ運動に取り組んでいる地域の方の存在は大きい。

〈今後の取組〉

- ・ 学生ボランティアを確保し、他教科へも支援の幅が広がるようにしたい。
- ・ 校外学習の引率や環境整備等の支援にも協力できるよう、保護者や地域の登録者を増やしていきたい。

明和中学校【明和・田上本部】

支援活動例

■活動名	小物づくりサポート
■活動分類	学習支援（家庭科）
■場 所	家庭科室
■学年・人数	1年 60名 3年 66名
■期 日	10月23日（水）、11月13日（水）
■ボランティア数	保護者13名
■支援内容	3年（布の絵本づくり）1年（ブランケットステッチ）支援



〈生徒の感想〉

- ・ 初めは話し掛けづらかったが、慣れてくると丁寧に教えてもらえた。
- ・ 家庭科は苦手意識があったが、ボランティアの方々親切に教えてもらい好きになった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 中学生ということで初めは戸惑いもあったが、気軽に話し掛けてくれ、熱心に取り組んでくれてうれしかった。
- ・ 普段から顔なじみの生徒もおり、いっしょに活動できて元気をもらった。

〈教職員の感想〉

- ・ ミシン指導は一人での指導が難しい。技術面で助けてもらい、大変ありがたい。

〈成 果〉

- ・ 技術面の向上と合わせて、地域とのつながりも深まり、成果が上がった。
- ・ ここ数年、継続的に実施することでボランティアの協力者も増えつつあり、学校、地域学校協働活動推進員、ボランティアの連携体制がとれつつある。

〈課 題〉

- ・ 3年連続の取組であるが、教育課程への位置付けが必要である。
- ・ 小学校に比べ、ボランティアの登録者数が少ない。小中連携を基盤としたボランティアの拡大が求められる。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 一小一中で小学校から継続してボランティアに協力してくれる保護者がおり、生徒と顔なじみであり、信頼関係が築かれている。

〈今後の取組〉

- ・ 裁縫だけでなく、調理実習、キャリア教育、英語指導等専門的な見識や技能を有している保護者や地域住民も多い。人材の発掘と更なる活用に今後も努めたい。

和田中学校【和田・錦江台本部】

支援活動例

■活動名	被服実習基礎縫い
■活動分類	学習支援（家庭科）
■場 所	家庭科室
■学年・人数	1年 270人
■期 日	6月25日(火)～7月11日(木)
■ボランティア数	保護者9人 延べ人数70人
■支援内容	基礎縫いの補助



〈生徒の感想〉

- ・ 少し難しい縫い方もありましたが、いろいろと丁寧に教えていただいた。
- ・ 最後まで教えてもらいました。ボランティアの方に感謝です。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 生徒がいつも素直に聞いてくれます。みんなとても上手になったと思います。
- ・ 集中して授業に取り組んでいました。教えがいがあります。

〈教職員の感想〉

- ・ 全学級に入ってくださいるのでとてもありがたいです。
- ・ 毎年、保護者や地域の方に協力をお願いしています。生徒にとっては、少し難しい縫い方もありますが、できるようになるのでうれしいです。

〈成 果〉

- ・ 生徒が意欲的に取り組んでおり、縫えるようになる生徒も多い。
- ・ ボランティアの参加によって、家庭科の授業が一層充実している。
- ・ 生徒が保護者や地域の方を知るよい機会となっている。

〈課 題〉

- ・ 保護者や地域住民の人材をさらに確保する。
- ・ 保護者や地域住民への学校支援ボランティア事業の周知を図る。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 毎年、家庭科での学習支援をおこなっている。本年度から大学生による学習支援をおこなった。
- ・ 地域住民による定期テスト等下校時見守り活動がおこなわれている。

〈今後の取組〉

- ・ 各教科での学習支援ボランティアがおこなえるよう、保護者・地域住民・学生への周知・依頼をさらに進める。

武岡中学校【武岡・武岡台本部】

支援活動例



■活動名	地域の方々に学ぼう
■活動分類	学習支援（家庭科）
■場所	1年生教室 家庭科室 図書室
■学年・人数	1年 98人
■期 日	10月22日（火）～10月24日（木）
■ボランティア数	地域住民9人
■支援内容	家庭や地域、中学生の役割等についての話合い

〈生徒の感想〉

- ・ 自分たちの地域という自覚をもって、地域活動に参加したい。
- ・ これから、あいさつをしっかりとしたり、お年寄りに親切に接したりしたい。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 生徒たちの成長した姿を見ることができ、大変うれしかった。
- ・ 生徒たち一人一人の表情がよく、素直さが感じられた。
- ・ 学校全体の雰囲気がよく、先生方のかねてからの努力を感じることであった。

〈教職員の感想〉

- ・ ボランティアの方々の愛情あふれるお話に聴き入っている生徒たちの様子を見て感謝することであった。

〈成 果〉

- ・ 地域ボランティアの方々との話合いを通して、地域における中学生の役割に気付かせることができた。
- ・ 生徒たちから、「あいさつをしっかりとしたい。」「どんな時でも笑顔でいたい。」という声を聞くことができた。

〈課 題〉

- ・ 協力してくださったボランティアを見ると、武岡校区の方が多かった。今後は武岡台校区のボランティアの人数を増やすようにしたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 家庭科ボランティア活動と音楽ボランティア活動（箏の演奏指導）に継続的に取り組んでいる。
- ・ 生徒たちが、ボランティアの方々へお礼として色紙を届け、大変喜ばれている。

〈今後の取組〉

- ・ 今後とも、技能教科の先生方からのボランティア要請が継続的に行われるよう学校との連携を密にしていきたい。

桜島中学校【桜洲・東桜島・桜峰・黒神本部】

支援活動例

■活動名	インターナショナルデー・調理教室	
■活動分類	学習支援（家庭科）	
■場 所	調理室	
■学年・人数	2年 13人	
■期 日	7月9日（火）	
■ボランティア数	地域住人2人 延べ人数6人	
■支援内容	調理実習の準備・調理中の支援・片付け	

〈生徒の感想〉

- ・ ボランティアの方が食材や調理で使う道具を準備してくださったので、スムーズに調理実習ができた。豚汁づくりは作るのも楽しかったけど、食べるときにALTの先生と「おいしい」、「豚汁食べるのは初めて」など話をしてとても楽しかった。
- ・ ボランティアの方に味噌を入れるタイミングを教えてもらってとても助かった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 中学校でのボランティアは初めてだったが、顔見知りの生徒が何人かいたので、気楽に調理ができた。オーストラリアの人が美味しいと言っていた。
- ・ 生徒たちが素直に聞いてくれたので楽しくできた。

〈教職員の感想〉

- ・ ALTに伝統的な和食について伝えようと時間をかけて準備をしてきた。ボランティアのおかげで、ALTとの会話を楽しみながら調理実習をおこなうことができた。

〈成 果〉

- ・ 事前に食材と道具の準備をしたので、決められた時間で調理・会食ができた。
- ・ 具材の切り方、アクの取り方など助言をもらいながら楽しく調理ができた。

〈課 題〉

- ・ 調理はALTに好評であった。生徒には家庭での調理体験を呼び掛けたい。
- ・ 家庭での調理経験のない生徒が結構いたので、家庭での調理を呼び掛けたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 高校入試模擬面接やボランティアガイド学習の事前練習、インターナショナルデー・調理実習、中学生の小学校・幼稚園合同運動会でのボランティアなど実施した。ボランティア事業が拡がりつつある。

〈今後の取組〉

- ・ 観光客への案内や小学生・幼稚園児の手伝い、環境ボランティア（地域清掃）など中学生によるボランティア活動が増えており、地域のボランティアが関わっている活動もある。今後、中学生の活動を充実させるために協力していきたい。

東桜島中学校【桜洲・東桜島・桜峰・黒神本部】

支援活動例

■活動名	仮植作業
■活動分類	環境整備
■場 所	温室
■学年・人数	3年 6人
■期 日	11月13日(水)
■ボランティア数	地域住民2人
■支援内容	卒業式に向けた花の苗の仮植



〈生徒の感想〉

- ・ 地域の方が私たちのために花を植えてくださってうれしい。その気持ちを心にとめて、夢に向かってがんばろうと思う。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 自分の子供も卒業生なので、学校の手伝いはできるだけやりたい。自分の植えた花が式場に咲いているのを想像すると楽しい。卒業生と保護者を祝ってあげたい。

〈教職員の感想〉

- ・ 子供たちのために仮植をしてくださりありがたい。その気持ちを大切にして、学校生活に目標を持ってがんばっていくように子供たちに声掛けしたい。

〈成 果〉

- ・ たくさんの仮植ができた。卒業式用の花の準備は大変だが、今年は地域のボランティアの協力で花の苗の量と種類が増えた。

〈課 題〉

- ・ 今回初めて仮植のボランティア事業を実施した。学校から喜ばれたので、継続した事業にしていきたい。そのためには、協力者を増やす必要がある。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 高校入試模擬面接は毎年おこなっている。小中地域合同運動会は地域と一体となって進めている。

〈今後の取組〉

- ・ 学校の敷地が広いため、除草・剪定などの学校環境の整備は大変である。これら環境整備や今回実施した緑化作業をボランティア事業として継続していくために、地域への広報活動や協力者の募集を進めていきたい。

黒神中学校【桜洲・東桜島・桜峰・黒神本部】

支援活動例

■活動名	門松づくり
■活動分類	環境整備
■場所	正門
■学年・人数	2年 2人
■期 日	12月23日（月）
■ボランティア数	地域住人6人
■支援内容	門松づくり



〈生徒の感想〉

- ・ 地域の方と話をしながら一緒に門松づくりができて楽しかった。とてもきれいな門松ができたのでうれしい。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 生徒たちといっしょに正月を迎える準備ができたのでよかった。毎年作っているが、今年もいい門松ができた。

〈教職員の感想〉

- ・ 毎年、門松づくりは地域の方にお世話になっている。今回も地域住民の協力で立派な門松ができた。改めて本校は地域の方々に支えられていると感じる。

〈成 果〉

- ・ 校門に立派な門松ができた。県道沿いで地域住民の誰の目にも留まるので、地域全体が新年への意識が高まるのではないかと思う。

〈課 題〉

- ・ 門松を作ってくださるボランティアは高齢者ばかりなので、若い人材が加わって門松づくりを継承してもらいたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 極小規模校なので、地域住民の協力のおかげで多くの教育活動が成り立っている。特に、椿の実学習では、椿の実拾いにおいて地域住民の協力を得て実施している。運動会の緑門づくりも地域住民の協力を得ている。

〈今後の取組〉

- ・ 生徒数2人の極小規模校であるので、生徒が多様な意見に触れたり、人との交流を増やしたりできるような学習支援を学校と連携して進めていきたい。

東谷山中学校【清和・西谷山本部】

支援活動例

■活動名	しょうが焼きを作ろう
■活動分類	学習支援（家庭科）
■場所	家庭科室
■学年人数	第1学年（8学級）304人
■期日	12月2日（月）・4日（水）・9日（月）・11日（水）（4日間）
■ボランティア数	地域住民7人 保護者2人 延べ34人
■支援内容	調理実習の補助



〈生徒の感想〉

- ・ 包丁や火を使う時、見守ってくださったので、安心してできた。
- ・ 調理手順に迷ったときなど、やさしく教えてもらい、うれしかった。

〈ボランティアの感想〉

- ・ おいしそうな仕上がりのしょうが焼きができ、子供たちが喜んでいる姿に、私までうれしくなった。グループで協力する姿に微笑ましく思い、楽しかった。

〈教職員の感想〉

- ・ 包丁とガスを使う関係で安全面には特に気を付けて授業を進めたが、ボランティアの方々に見守っていただいたおかげで、安心・安全が確保され、順調に調理実習ができた。助かった。

〈成果〉

- ・ 一番の課題は安全に実施することだったが、課題を達成できただけでなく、調理手順などで個別に対応し、生徒とボランティアの方が交流することもできた。
- ・ 中学校と連携を図ることができ、今回家庭科の調理実習支援が実現できた。この流れを来年度につなげていきたい。

〈課題〉

- ・ 小学生と中学生の支援の在り方が違うので、事前にもっと支援の仕方について打ち合わせる必要がある。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 5年ぶりの中学校における授業での学校支援ボランティア活用であったが、2つの小学校区（東谷山小・清和小）の地域学校協働本部が連携することで円滑に対応できた。

〈今後の取組〉

- ・ 今回の家庭科学習支援の成果をもとに、他分野・他教科等へ連携して理解を広げていきたい。また中学校への情報提供を継続していきたい。

甲南中学校【荒田・八幡本部】



支援活動例

■活動名	読み聞かせ
■活動分類	学習支援(読み聞かせ)
■場所	各教室
■学年・人数	1年～3年 372人
■期 日	通年(15分活動9回)(50分活動3回) 計12回
■ボランティア数	地域住民6人 延べ72人
■支援内容	学級単位で、読み聞かせ

〈生徒の感想〉

- ・ 読み聞かせで心が穏やかになるし、自分の知らなかった本やジャンルに出会えるので、とてもうれしい。
- ・ 皆で一つの本を聞く空間ができるため、一体感ができたり、話題の一つになったりするので、クラスの人と話すきっかけになる。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 素直に聞いてくれる生徒たちから元気をもらっている。大切な時間を提供してくださる学校に感謝している。同じ本を同じ時間に聞くことで思い出を共有し、ホッとできる時間として残っていてくれたらうれしい。

〈教職員の感想〉

- ・ 歌を歌ってから読み聞かせが始まるので、生徒たちもほのぼのとした雰囲気の中で聞いている。

〈成 果〉

- ・ 心穏やかな雰囲気の中で心豊かに一日をスタートできる。話題が豊かになる。

〈課 題〉

- ・ 中学生の発達段階、興味関心、季節、テーマ等を考慮した選書に努めていく。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 「せんだんの木」の皆様に、「すばなし」をしたり、わらべ歌で遊んだりするなど、工夫を凝らした感情豊かな読み聞かせを20年間継続していただいている。
- ・ 年間計画を立て、教育課程に位置付けて活動している。

〈今後の取組〉

- ・ 今後も継続できるように、ボランティアの負担軽減(後継者育成等)を検討していきたい。

南中学校【宇宿・南本部】

支援活動例

■活動名	期末テスト時の下校指導
■活動分類	安全指導
■場所	学校周辺の横断歩道
■学年・人数	全校生徒 446人
■期 日	11月26日(火)・27日(水)
■ボランティア数	地域住民 8人
■支援内容	学校周辺道路の安全歩行指導、見守り活動



〈生徒の感想〉

- ・ 期末テストの後、全校生徒が一斉に下校するので、ボランティアの方が安全指導をしてくださった。事故につながるような歩き方をしないよう気を付けたい。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 交通量の多い道路を多くの生徒が横断するので、今回のように一斉下校するような場合にはできるだけ協力したい。

〈教職員の感想〉

- ・ 定期テスト期間中、全校生徒が一斉下校するため、道路歩行のルールやマナーが守られているか心配であった。安全指導に協力してくださったボランティアの方々に感謝している。

〈成 果〉

- ・ 見守り支援活動を中心に、学校側からボランティアとして協力してほしいとの要望が増えつつある。

〈課 題〉

- ・ ボランティア登録者の支援したい内容には学習支援に関するものがあるが、残念ながら学校側からの要請がない。地域の人材をさらに活用できるようにしていきたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 生徒の登校時には地域住民や保護者が学校周辺の交差点や横断歩道に立ち、安全に登校できるよう自主的に活動してくれている。

〈今後の取組〉

- ・ 学校や校区コミュニティ協議会との連携を図りながら、ボランティア募集及び登録者を増やす手立てを進めていきたい。また、学校側にもボランティアの活用を呼び掛けていきたい。

城西中学校【原良・草牟田本部】

支援活動例



■活動名	エプロン製作
■活動分類	学習支援（家庭科）
■場 所	家庭科室（被服室）
■学年・人数	1年 233人
■期 日	10月8日（火）～10月28日（月） 計8回
■ボランティア数	地域住民8人 延べ人数20人
■支援内容	エプロン製作被服実習（ミシン操作）の学習補助支援

〈生徒の感想〉

- ・ ボランティアのおかげで日常生活でも使う大切な知識を学ぶことができた。
- ・ ボランティアの方が、優しく丁寧に教えてくださり安心して授業が受けられた。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 少しだが担任の先生の支援ができ、楽しく授業に参加できた。人数の多い生徒に担任お一人では大変だと思った。教えたらミシンも上手にかけていました。

〈教職員の感想〉

- ・ 1学級39人の被服実習では、一人の指導では限界がある。ボランティアの方のおかげでより細かい指導ができた。また、ほめていただいたり優しく丁寧な声掛けをしていただいたりしたので、集中して取り組んでいた。

〈成 果〉

- ・ 本年度は、ミシン操作を中心に生徒の進捗状況に合わせてボランティア支援をおこない、製作をスムーズに進めることができた。

〈課 題〉

- ・ 2時間続きの時間確保の調整が難しく、学級の進度に差が生じた。フットコントロール式ミシンのため力加減が難しく、縫い直しに時間がかかる 때가あった。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 地域住民の支援で、家庭科「ミシン操作」・音楽科「箏の体験学習」をおこなった。

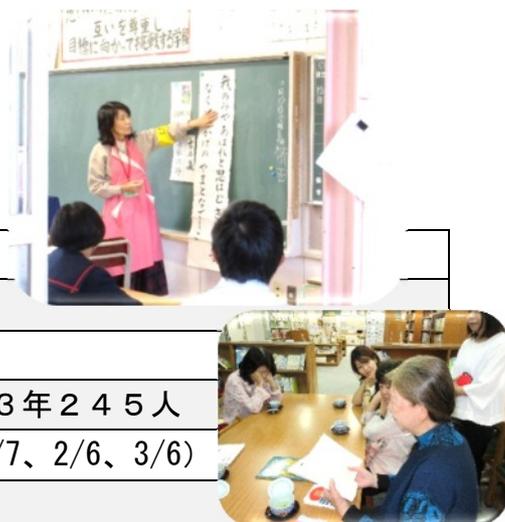
〈今後の取組〉

- ・ 支援内容の拡充を推進していきたい。保護者や教職員へのボランティア事業の理解と広報活動を充実させていきたい。
- ・ 支援内容に応じた新規登録者の募集を継続していきたい。

伊敷中学校【玉江・犬迫本部】

支援活動例

■活動名	朝の読み聞かせ
■活動分類	学習支援（読み聞かせ）
■場 所	各教室
■学年・人数	1年229人、2年223人、3年245人
■期 日	年6回（6/27、7/4、10/10、11/7、2/6、3/6）
■ボランティア数	毎回6人 延べ38人
■支援内容	読み聞かせ、本の紹介



〈生徒の感想〉

- ・ 毎回、テーマに沿った読み聞かせや本の紹介など、自分の読書の参考になっている。図書室にある本に挑戦したい。

〈ボランティアの感想〉

- ・ いつも気持ちよいあいさつや心温まる板書など、読み聞かせが気持ちよく実施できた。読み聞かせの最後に代表生徒によるお礼のあいさつにはびっくりした。
- ・ 読み聞かせ後の読書談議は、今後の自分の読み聞かせの参考になっている。

〈教職員の感想〉

- ・ 読み聞かせだけでなく、他の本の紹介や自分の考え方まで話して下さるので、生徒も真剣になって耳を傾けている。

〈成 果〉

- ・ 実際読み聞かせで読んだ本や紹介した本に興味をもち、図書室等で借りる生徒がいる。図書室にも紹介された本を揃えていきたい。（司書の先生談）
- ・ 毎回、落ち着いた雰囲気の中で読み聞かせがおこなわれ、生徒も真剣に読み聞かせに聞き入っている。読み聞かせ後の拍手やお礼の言葉などありがたい。

〈課 題〉

- ・ 読み聞かせ会員の増員を図っていきたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 「かえる」をテーマに、年間を通して本の選書や他の本の紹介を実施している。読み聞かせ後の図書室での読書談議では、「今日はどんな本を、どんな目的で選書したか」等意見交換をおこなっている。

〈今後の取組〉

- ・ 朝の読み聞かせ以外の分野で、支援可能な領域について、中学校と連携しながら、活動を広げていきたい。

吉田北中学校【吉田・本名・本城本部】

支援活動例

■活動名	郷土芸能伝承
■活動分類	学習支援（総合的な学習の時間）
■場 所	体育館・校庭
■学年・人数	全学年35人
■期 日	6月5日(水)～9月27日(金)
■ボランティア数	地域住民2人
■支援内容	棒踊りの指導



〈生徒の感想〉

- ・ 動きを覚えるのは大変だったが、指導者と先輩たちが丁寧に教えてくれたのでうれしかった。
- ・ 最上級生として見本になるようにがんばった。運動会も上手に踊れた。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 「イヤサー」など声掛けすると動きを合わせられ、楽しそうに踊っていた。
- ・ 上級者や上学年が指導する場面があり、微笑ましかった。

〈教職員の感想〉

- ・ 昨年度よりも踊りのレベルが向上してきている。
- ・ 来年度も更なる高みを目指していきたい。

〈成 果〉

- ・ 伝承活動には地域の人材が欠かせない。
- ・ 郷土芸能伝承は支援ボランティアとして指導者が定期的に訪問し指導していただくことで地域とのつながりができ持続できている。

〈課 題〉

- ・ これからの吉田北中の伝統になってくれればうれしい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 小学校、中学校が同じ敷地にあり、運動会の緑門作りや門松作りなどPTA活動が合同でおこなわれている。
- ・ 少人数の特徴を生かし、生徒、教職員、地域の一体的な取組がなされている。

〈今後の取組〉

- ・ 地域住民や生徒数の減少という課題はあるが、学校の要望に応える支援者の確保を働き掛けていきたい。

谷山中学校【谷山・錫山本部】

支援活動例



■活動名	朝の読み聞かせ
■活動分類	学習支援（読み聞かせ）
■場 所	教室
■学年・人数	全学年 963人
■期 日	7月4日（木）、11月7日（木）、1月23日（木）
■ボランティア数	保護者1人、地域住民15人 延べ人数26人
■支援内容	学期毎に決めたテーマに関する読み聞かせ

〈生徒の感想〉

- ・ とても上手に読んでくださって、穏やかな気分で一日をスタートさせることができた。絵本にもいい作品がたくさんあるそうなので、今度図書館で絵本を探して読んでみたいと思う。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 始業時間前に本を通して子供たちが和める時間をボランティア自身も共有できて、楽しんで活動している。
- ・ 多感な時期の中学生に、いろんな創造力で感じてもらえたらいいなと思う。

〈教職員の感想〉

- ・ 地域の方の支援によって、朝から豊かな時間を過ごした後、一日の学校生活がスタートできるのは生徒にとってよい経験になっている。

〈成 果〉

- ・ 図書館利用をはじめとする読書活動へのきっかけづくりになっている。

〈課 題〉

- ・ 教職員が朝の会議のため活動の場に同席できていないため、教職員内での認識や成果実感に差がある。できれば生徒と一緒に聞いて、感想を生徒と共有したい。
- ・ 継続的な読書活動の成果を得るためにも、実施回数を増やしていきたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 教職員が地域と連携を深め、魅力ある地域連携の教育活動を充実させることを目標にして、夏季休業中に谷山の歴史を学び、史跡をめぐる職員研修を開催した。その際の講師の選定や、史跡めぐりのコース選定を地域学校協働活動の一環として教職員と協議しながらおこなった。

〈今後の取組〉

- ・ さらに教職員へ本事業の周知を図るとともに、学校のニーズに合わせた人材活用ができるようボランティアの新規登録者募集に努めていきたい。

福平中学校【福平・平川本部】

支援活動例

■ 活 動 名	定植作業
■ 活 動 分 類	環境整備（緑化活動）
■ 場 所	校門前（花壇等）
■ 学 年 ・ 人 数	全学年 518人
■ 期 日	11月25日（月）
■ ボランティア数	地域住民2人
■ 支 援 内 容	花壇への定植作業と追肥作業



〈生徒の感想〉

- ・ 地域の方々が、新しい年を気持ちよく迎えられようと毎年、校門前花壇と大きな花鉢に苗の定植作業をしてくださっていると聞いた。急に寒くなって忙しい時なのにありがたいと思った。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 昨年から特に準備がよくて、土がホクホクしていて、とても植えやすかった。

〈教職員の感想〉

- ・ 以前は卒業式用の花の苗の仮植作業をしていただいていたが、天候不順により、昨年から校門前を整備していただいている。中学校に協力してくれるボランティアの方がいらっしゃる事がとてもありがたい。

〈成 果〉

- ・ 事前に用務主事さんとしっかり打合せができて、実施につながったので、今後も連携を密にして継続できるようにしたい。

〈課 題〉

- ・ 以前高校入試面接指導のボランティア事業を実施していたのですが、コロナ禍で中断してしまい、再開の目途がたない状況が続いているので、環境整備以外の事業もできるように学校側と連携を図っていく。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 環境整備やあいさつ運動、剣道部の指導補助に以前から地域人材の活用がなされており、PTAや地域とよく連携している。

〈今後の取組〉

- ・ 環境整備以外のボランティア事業ができていないので充実を図りたい。
- ・ 以前、面接指導の事業もできていたが、コロナ禍でできなくなったので、再開できるように働き掛けをしていきたい。

紫原中学校【紫原・向陽本部】

支援活動例

■活動名	学生による学習支援
■活動分類	学習支援（各教科）
■場 所	各教室
■学年・人数	各学年数名程度
■期 日	6月～12月
■ボランティア数	学生20人 延べ43人
■支援内容	各教科学習での支援



〈生徒の感想〉

- ・ 社会の授業のお手伝いがあった。分かりやすく教えていただいた。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 数学が苦手な生徒たちには、1年生のころの復習を交えながら分かりやすく教えることを意識した。英語が苦手な生徒は、一生懸命に取り組み、解説をきいてくれたので教えがいがあった。次回はより丁寧な解説ができるよう心掛けたい。

〈教職員の感想〉

- ・ 3年生の学習支援の方は懇切丁寧に指導をしてくださった。数学が苦手な生徒が多いので今後も数学の学習指導をしてくださると助かる。

〈成 果〉

- ・ わずかではあるが、不登校傾向等の生徒への寄り添いできた。
- ・ 教員をめざす学生は、学校現場の様子を体験することができた。
- ・ 学生による学習支援の有効性を教職員が認識しつつある。

〈課 題〉

- ・ 講義の合間に参加する学生の調整及び時間の確保をおこなう。
- ・ 年度によって参加学生の多寡があり、支援の時間も様々になる。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 校区内にある大学の学生が前期後期に分けて向陽小・紫原小・紫原中に学習ボランティアとして講義の合間を利用して取り組んでいる。
- ・ 地域とのつながりの深い郷土芸能等の保存に向けた活動に取り組んでいる。

〈今後の取組〉

- ・ 平成27年度から継続している大学との連携を引き続き図っていききたい。
- ・ 地域の活性化にむけた取組を引き続きおこなっていききたい。

吉野中学校【吉野・牟礼岡本部】

支援活動例

■活動名	書写（毛筆）学習支援
■活動分類	学習支援（国語科）
■場 所	1年生教室
■学年・人数	1年1組～8組 321人
■期 日	10月15日（火）・16日（水）・17日（木）
■ボランティア数	地域住民4人
■支援内容	毛筆行書体の特徴理解と技術の習得



〈生徒の感想〉

- ・ 初めての行書で楷書と違い、縦画の終筆をはねたり、画数や形が違ったり、知らないことだらけの特徴を教えてもらった。もっと知りたいと思った。
- ・ 上手に行書と楷書のお手本を示し、分かりやすく教えてくださったので、みんな、いつもより楽しくきれいに書けていた。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 皆、姿勢よくしっかり話を聞き、素晴らしく伸びた子がいて楽しく学習できた。
- ・ 忘れ物をなくし、筆の手入れが上手にできるともっとよい作品が書けると思う。

〈教職員の感想〉

- ・ 行書の基礎に関する理解が深まった。年間を通して来校してもらいたい。

〈成 果〉

- ・ 書家の直接の指導を受けることで、書に対する理解が深まり技術も向上した。
- ・ 支援者からの手を添えての指導や朱書、助言や賞賛で意欲的に活動できた。

〈課 題〉

- ・ 各学級1時間だけの指導であったが、2時間連続での時間を確保できると清書の完成までできるので、計画の調整をしていきたい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 月の半分ほど、期日を決めて生徒の下校指導ボランティアを実施している。青パトでの巡回や歩いての巡視などをおこない、学校と連携して下校時の課題解決に取り組んでいる。

〈今後の取組〉

- ・ 校区の方々に、学校支援ボランティア事業を詳しく知ってもらい、新しいボランティアを発掘していきたい。（PTAや校区コミュニティ協議会との連携）

松元中学校【春山・石谷本部】

支援活動例

■活動名	朝の読み聞かせ
■活動分類	学習支援（読み聞かせ）
■場所	1年生各教室
■学年・人数	1年 245人
■期 日	7月3日(水)
■ボランティア数	保護者2人、地域住民4人
■支援内容	朝の読み聞かせ



〈生徒の感想〉

- ・ 自分で読むのと、また違う楽しさがある。
- ・ 知っている絵本も改めて読んでもらうと、また新しい発見があっておもしろい。

〈ボランティアの感想〉

- ・ 中学生も静かに聞いてくれるので、やりやすかった。やってよかった。
- ・ 小学生みみたいな反応はないが、一生懸命聞いてくれるので達成感がある。

〈教職員の感想〉

- ・ 短い時間だが、心を落ち着かせるいい時間である。
- ・ 中には、読んでもらった本を図書室に探しに行く生徒もいて、心に響いているんだなと思う。

〈成 果〉

- ・ 生徒が、心を整える時間となっている。
- ・ ボランティアへの感謝の気持ちや聞くときのマナー等、様々な教育効果がある。
- ・ 本や読書活動に興味関心を示す生徒もいる。

〈課 題〉

- ・ 読み聞かせの時間を確実に確保できるようにしたい。回数をもう少し増やせたらよい。

本部の取組

〈特色ある取組〉

- ・ 3年生が、近くの幼稚園児との交流活動をおこなっている。
- ・ 各学年、年一回は「朝の読み聞かせ」活動ができるようにしている。
- ・ 学校運営協議会でも、ボランティア活動について協議している。

〈今後の取組〉

- ・ ボランティアの登録者を増やしていきたい。
- ・ ボランティアを招聘する活動を、さらに検討していきたい。

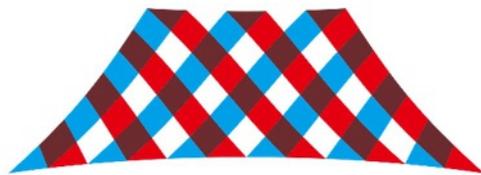
令和6年度 各地域学校協働本部連絡先

山下・城南本部	080-6449-8865
中郡・鴨池本部	080-6449-8866
西紫原・広木本部	080-6449-8867
明和・田上本部	080-6449-8868
和田・錦江台本部	080-6449-8870
大明丘・吉野東本部	080-6449-8872
西伊敷・皆与志本部	080-6449-8873
武岡・武岡台本部	080-6449-8874
桜洲・東桜島・桜峰・黒神本部	..	080-6449-8875
宮・川上本部	080-6449-8876
喜入・前之浜・生見本部	080-6449-8877
春山・石谷本部	080-6449-8878
郡山・南方・花尾本部	080-6449-8879
清和・西谷山本部	080-6449-8869
桜丘西・桜丘東本部	080-6449-8871
大龍・清水本部	080-6459-8538
荒田・八幡本部	080-6459-8539
宇宿・南本部	080-6459-8540
原良・草牟田本部	080-6459-8541
玉江・犬迫本部	080-6459-8542
伊敷・小山田本部	080-6459-8543
伊敷台・花野本部	080-6459-8544
武・中洲本部	080-6459-8545
吉田・本名・本城本部	080-6459-8546
中名・瀬々串・一倉本部	080-6459-8547
星峯西・星峯東本部	080-6459-8548
宮川・皇徳寺本部	080-6459-8549
谷山・錫山本部	080-5805-6685
東谷山・中山本部	080-5805-6686
福平・平川本部	080-5805-6687
紫原・向陽本部	080-5805-6688
吉野・牟礼岡本部	080-5805-6689
坂元・坂元台本部	080-5807-8262
名山・松原本部	080-5807-8263
西陵・西田本部	080-5807-8264
松元・東昌本部	080-5807-8265



〈地域本部
開設時間〉
平日(月~金)のう
ち4日
9時~16時

あなたとわくわく



マグマシティ
鹿児島市

〈発行元〉

鹿児島市教育委員会生涯学習課

〒890-0054

鹿児島市荒田一丁目4番1号

TEL 099-813-0851